

科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	10クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

ネイティブ・スピーカーがナチュラル・スピードで話す英語では、「綴りと音は一致しない」ということを知識として覚えるだけでなく、自らの耳と口を使って、音の連続を体系的に身に着け、リスニングの力及び話す力を向上させる。

#### 科目の概要

母音と子音の個々の音を正確に発音できるように練習することからはじめ、音が一塊になる現象をひき起こすいくつかのルールを学んでいく。

#### 学修目標

1. ネイティブ・スピーカーの発する生の英語を聞き取れるようになるための「音のルール」を理解する
2. TOEIC TESTの点数を上げる

#### 内容

第1回：イントロダクション（授業の目標、進め方、注意事項等を説明）

第2回：Unit 1: Box Stars

第3回：Unit 2: Tearing Down Language Barriers

第4回：Unit 3: Punching Back

第5回：Unit 4: Waking Up Sleeping Patents

第6回：Unit 5: Traditional Japanese Cuisine

第7回：Unit 6: The Cost of Convenience

第8回：Unit 7: New Look at Old Clothes

第9回：Unit 8: Operating Rooms on Wheels

第10回：Unit 9: Off the Tourist Trail

第11回：Unit 10: Blindness No Barrier

第12回：Unit 11: Against the Grain

第13回：Unit 12: Healthy Workers Paying Off

第14回：Unit 13: Japanese-style Halal

第15回：まとめ

\* 予定は変更されることがあります。

#### 評価

定期試験80%、授業貢献度20% 総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

予習；授業でやるunitの解説を読んでもらうこと

復讐；授業でやったところを発音し、練習すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Listening Trainer for English Communication 著者 S h u k e i Funada 南雲堂

科目名	インターンシップ入門		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本講義は「インターンシップ」及び「短期インターンシップ」履修の事前授業である（「インターンシップ」「短期インターンシップ」を履修する場合は原則として本講義を履修すること。

#### 科目の概要

企業が求めている人材像（ビジネスマナー、社会人としての基本動作他）について学び、インターンシップの受け入れ先である私企業、地方自治体などについての基本的な知識を身に付ける。インターンシップの内容、インターンシップに参加する意義を自ら探し、より良い体験の機会を得られるよう準備する。また、それらの体験をいかに活かしていくかを考え実践する準備を行う。

#### 学修目標

インターンシップとは学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一貫とし、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップは就職には必ずしも直結しないがインターンシップを経験することで積極的な就職活動が可能となる。

内容	
1	ガイダンス・インストラクション（インターンシップ入門で学びの構え、型を学ぶ）
2	ワークショップの型を学ぶ
3	キャリアデザインを考える、企業・社会が期待する女性社員とは
4	インターンシップ研究法（検索からエントリー、マッチングまで）
5	インターンシップ体験者から学ぶ 1
6	インターンシップ体験者から学ぶ 2
7	理想的なインターンシップを体験するために
8	企業ゲストから学ぶインターンシップ 1
9	自治体ゲストから学ぶインターンシップ
10	企業ゲストから学ぶインターンシップ 2
11	企業ゲストから学ぶインターンシップ 3
12	インターンシップ報告書作成とリテラシー
13	体験の言語化とoutput
14	より良いインターンシップを体験するために（応募手続きガイダンス）
15	学びの振り返り

#### 評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化（60%）、適宜行う課題の評価（30%）、最終テストの評価（10%）。以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1~7ポイント（提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント）

イント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度課す) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】各回の事前課題教材の学習。

【事後学修】振り返りとして48時間以内に学びの内容や各自の気づきをメールで提出。フォーマットはインストラクションで解説。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

その都度、掲示する。

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

#### 科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事を原則とする。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

#### 評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

#### 科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事を原則とする。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

#### 評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

#### 科目の概要

5日 ( 35時間 ) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 ( 心構え、情報や資料の収集等 ) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事が望ましい。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書は使用しない。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

#### 科目の概要

5日 ( 35時間 ) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

#### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 ( 心構え、情報や資料の収集等 ) をしっかり行うことが重要である。その為には前期に開設されるインターンシップ入門を受講する事が望ましい。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

教科書は使用しない。



科目名	キャリア基礎力応用		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。

#### 科目の概要

就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

#### 学修目標(=到達目標)

就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指す。

内容	
1	ガイダンス、チェックテスト、必ず受験してください
2	非言語1
3	非言語2
4	非言語3
5	非言語4
6	非言語5
7	非言語6
8	非言語7
9	非言語8
10	言語1
11	言語2
12	一般常識1
13	一般常識2
14	前期まとめ
15	文書力1

#### 評価

小テスト50点、期末テスト50点などをもとに、総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの未修ポイントの学習1時間

【事後学修】テキストを中心とした練習問題学習 1時間

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に指示

科目名	メディア文化論		
担当教員名	竹野 真帆		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

現代においては「メディア」は私たちの精神もしくは身体の一部と化している。かつてメディアとは、私たちに様々なもの (意味やメッセージ) を届ける「乗り物」であると思われてきた。CMであろうがコミックであろうが、新聞や小説や映画やインターネットなどなどであっても、その基本的な認識は変わっていないように思われる。つまり、「メディアはメッセージ」であり、メディアとは単なる情報伝達の道具だと考えられ、もちろん現代においてもなおその文言には十分に意義があり、また、正しいが、現代においては、「メディアはメッセージであるが、単なるメッセージではない」という方がより正しい。本講義においては、この「単なるメッセージではない」という部分が実際に何を意味しているのかを様々な現代的なメディアの事例を考えながら、紐解くための手法について講義する。

メディアとは何であるかを学ぶことを通して、講義で取り上げるテーマについて理解した上で、具体的なメディア分析を行いうる手法を修得することを第一の目的とする。そのため、当初においてはメディア文化論の文献の解説を中心とするが、それは、分析手法の習得において欠かすことのできない基礎であることによる。理論と技法の双方を得ることによって、一般的な研究機関もしくは企業の研究部署における報告書と同等もしくはそれ以上の品質の分析報告書を作成しうる技術と知識を習得することを目指す。

また、さらに第二として、メディア分析の結果を考察し、望ましいメディアのありかた、もしくは、社会のあり方について提案できる力を得ることを目標とする。

#### 内容

第1週 導入：メディアとは何か。

- マクルーハン『メディア論』を理解する。
- キットラー『グラモフォン・フィルム・タイプライター (上・下)』を理解する。

第2週 メディア論の背景      メディアと身体：音声と映像と文字 - キットラーの理解を通して

第3週 メディア論の背景      メディアと文化：アルヴァックス『集合的記憶』を通して

第4週 メディア論の背景      メディアと社会：コナトン『社会はいかに記憶するか』を通して

第5週 メディア論の背景      メディアと文字：オング『声の文化と文字の文化』 / ウォーフ『言語・思考・現実』を通して

第6週 マスコミと文化：新聞・雑誌・テレビなどのマスコミは文化的価値観にどのような影響を及ぼしているか

第7週 電子的通信網と文化：インターネットに代表される電子的通信網と文化的価値観との関係について考える

第8週 娯楽系メディアと文化：映画・コミック・アニメなどは、文化的価値観にどのような影響を及ぼしているのか

第9週 建築・芸術と文化：建築物や芸術作品によって醸成される文化的価値とは何か

第10週 音楽と文化：音楽メディアの現状と、文化的価値との関係について

第11週 メディア分析とは何か / メディア分析手法の概観

- グラウンデッドセオリーアプローチ / 内容分析 / ディスコース分析 / 構造分析 / テキスト分析 / 潜在意味分析

第12週 メディア分析の具体的手法      : 手法の選択と「分析の意義」について

第13週 メディア分析の具体的手法      : 対象の選択および分析上の留意点 / 分析手順の説明

第14週 メディア分析の具体的手法      : テキスト分析

第15週 分析報告書のまとめ方 / メディア分析の「意義」について

## 評価

出席20%、レポート80%で総合して評価する。

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

日常的にメディアの観察と収集に励むこと。文化現象を観察すること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要な教材については授業内で適宜、説明します。

科目名	放送概論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

暮らしの中のことば、とくに情報メディアで使われていることばに着目し、メディアの役割や課題について考察する。さらに個人とメディアとの関わり方を考える。

#### 科目の概要

私たちはマスメディアによって世の中の情報を入手している。一方インターネットを活用することで、私たち一人ひとりが情報発信者として世の中の動きに参加できる時代になっている。放送を取り巻く環境の変化や歴史を学び、放送の仕事の内容やことばに対する姿勢に着目する。さらに個人が放送とどのようにかかわれば良いのかを考えていく。課外授業や外部の講師を招く可能性もあるので、特に熱心な学生の参加を希望する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

自分の判断で放送やインターネットを上手に利用し情報社会と関わっていく姿勢を身につける。

#### 内容

1	ガイダンス 情報メディアとことば
2	放送の歴史とメディア・リテラシー
3	放送は何を伝えてきたか～テレビドラマを分析
4	テレビと視聴率
5	放送博物館について
6	コマーシャルのことば
7	番組制作とことば
8	ディレクターの仕事とことば
9	アナウンサーの仕事と日本語
10	記者の仕事と報道のことば
11	通訳・字幕・時代考証など
12	イベントとことば
13	アーカイブス事業と戦争証言
14	インターネットのことば～情報発信者として
15	まとめ

#### 評価

日頃の授業への取り組み(20%) ミニレポート(40%) 期末レポート(40%) などから総合的に判断し、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】資料を読む。指定された番組を視聴して疑問点などをまとめる。

【事後学修】ミニレポートなどを書く。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使わない。

【参考図書】『テレビ視聴の50年』NHK放送文化研究所編 NHK出版

『放送メディア研究』日本放送協会放送文化研究所

『放送ウーマンのいま』日本女性放送者懇談会編 ドメス出版

『テレビドラマを学問する（125ライブラリー）』宇佐美 毅著 中央大学出版部  
など授業で紹介する。

科目名	環境と社会		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1.2年生対象メディア群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球閉居問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム (生態系) という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

内容

1	地球環境問題をどう捉えるか
2	環境を考える4つの視点 ( 1 ) : 市場優先派と制度重視派
3	環境を考える4つの視点 ( 2 ) : 生態系優先派と緑の社会正義派
4	環境保護対策の考え方
5	国際協力体制の始まり
6	国際協力体制の発展
7	環境問題における国際対立
8	環境問題と経済格差
9	環境問題とジェンダー
10	環境問題と民主主義
11	環境NGO
12	環境倫理学
13	生態系を守る環境保護政策
14	環境学への視座
15	まとめ

評価

レポート ( 60% )、試験 ( 40% ) で総合評価。60点以上を合格とする。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】東京商工会議所編 『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善 2008年；関礼子他『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』明石書店 2003年



科目名	環境と社会		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

1. 2年生対象メディア群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球環境問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム (生態系) という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

内容	
1	地球環境問題をどう捉えるか
2	環境を考える4つの視点 ( 1 ) : 市場優先派と制度重視派
3	環境を考える4つの視点 ( 2 ) : 生態系優先派と緑の社会正義派
4	環境保護対策の考え方
5	国際協力体制の始まり
6	国際協力体制の発展
7	環境問題における国際対立
8	環境問題と経済格差
9	環境問題とジェンダー
10	環境問題と民主主義
11	環境NGO
12	環境倫理学
13	生態系を守る環境保護政策
14	環境学への視座
15	まとめ

評価

レポート ( 60% )、試験 ( 40% ) で総合評価。60点以上を合格とする。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】新聞・ニュース等で、環境関連の出来事について情報を集める。

【事後学修】授業で説明された政治経済社会的背景を踏まえて、集めた情報を整理する。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】東京商工会議所編 『eco検定公式テキスト』日本能率協会 2011年

【推薦書】京都大学地球環境学研究会 『地球環境学へのアプローチ』丸善 2008年；関礼子他『環境の社会学』有斐閣アルマ 2009年

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ 『生物多様性の危機』明石書店 2003年

科目名	アジア入門		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

韓国 ( 朝鮮半島 ) および中国を中心にしたアジアの近現代史を学ぶ

科目の概要

映画で学ぶ、アジア史。

学修目標 ( = 到達目標 )

現代社会に生きる日本人の基本的教養である、アジアにおける日本の歴史的な位置づけを理解する

内容

アジアと日本との国際的な近現代史を扱った、内外の映画資料を利用する。

基本的な進め方は、予習、映画視聴、映画の背景解説、というサイクルで行う。

1	はじめに
2	『安重根 伊藤博文を撃つ』 1
3	『安重根 伊藤博文を撃つ』 2
4	『プラザーフード』 1
5	『プラザーフード』 2
6	『JSA』 1
7	『JSA』 2
8	『希望の翼 あの時、僕らは13歳だった』 1
9	『希望の翼 あの時、僕らは13歳だった』 2
10	『阿片戦争』 1
11	『阿片戦争』 2
12	『北京の55日』 1
13	『北京の55日』 2
14	『南京1937』 1
15	『南京1937』 2 まとめ

評価

ほぼ毎回提出してもらった小レポートを100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】アジアに関するニュースや動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】玄武岩編著 『越境するメディアと東アジア』 勉誠出版

【参考図書】『あの時、ぼくらは13歳だった 誰も知らない日韓友好史』東京書籍 2011 [著]寒河江正、羅逸星

科目名	マンガ・アニメ論		
担当教員名	仁藤 潤、加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、マンガ、アニメ、映画に関心のある学生向けの内容である。

#### 科目の概要

国内外のマンガ、アニメ、映画を研究をする。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

今まで知らなかったマンガ、アニメ、映画の世界に触れ、最終発表会で研究発表を行う。

#### 内容

1	ガイダンス
2	世界の短編アニメーション1 ユーリーノルシュテイン 他
3	世界の短編アニメーション2 ヤンシュバンクマイエル 他
4	日本の短編アニメーション アニメーション作家の現状について
5	日本の長編アニメーション1 スタジオジブリ他
6	日本の長編アニメーション2 押井守 他
7	日本の長編アニメーション3 手塚治虫 他
8	世界の長編アニメーション ピクサー アードマンスタジオ 他
9	日本の映画1 黒澤明 他 ( 羅生門 七人の侍 ) 撮影、音響、動画編集の研究
10	日本の映画2 小津安二郎 東京物語 他 撮影、音響、動画編集の研究
11	世界の映画 映画祭について
12	マンガの世界 手塚治虫 赤塚不二夫 他
13	マンガの世界 サブカルチャーについて
14	最終研究発表会
15	最終研究発表会

#### 評価

課題点 : 80% 授業に対する意欲・関心・態度 : 20%

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】メモを取る為の筆記用具を準備する。パワーポイント等のプレゼンソフトの使い方を習得しておく。

【事後学修】研究発表会の準備を計画的に行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】授業内で提示

【参考図書】授業内で提示

科目名	インターネット社会論		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

インターネットによる社会の変化とその問題点を理解する

#### 科目の概要

インターネットの登場は、既存の通信のあり方、産業、社会と国家のあり方に大きな変化をもたらした。またインターネットが大きな位置を社会において占めると共に様々な問題も発生してきている。こうした社会の変化やインターネットの問題点について考察する。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

インターネットが社会にどのような変化や影響を与えているか・どのような問題が起こるかを理解し、インターネットの活用に資する思考力を身につけることを目標とする

#### 内容

- 1.オリエンテーション インターネット社会とは
- 2.インターネット社会の可能性 インターネット社会の未来、電子図書館、IoT
- 3.インターネット社会の危険性 インターネット依存症、知識の断片化・希薄化、情報漏えい
- 4.インターネットの影響1 ネットとメディア テレビはなくなるのか
- 5.インターネットの影響2 ネットとメディア 新聞はなくなるのか
- 6.インターネットの影響3 ネットと本、本屋・本はなくなるのか
- 7.インターネットの影響4 ネットと音楽、CDは売れなくなるのか
- 8.インターネット社会1 電子取引社会、eコマース・ネットショッピング、経済のグローバル化
- 9.インターネット社会2 情報無料社会-産業再編、貧者への福音か格差の拡大か
- 10.インターネット社会のあり方1 セキュリティ、パスワード、個人情報
- 11.インターネット社会のあり方2 監視社会、監視国家
- 12.インターネット社会のあり方3 ネットをめぐる法制度、ネットの規制・検閲
- 13.インターネットとグローバリズム・ローカリズム 国境はなくなるか・地域は結びつくか
- 14.インターネットと情報倫理 ネットケット、誹謗中傷、炎上現象
- 15.まとめ

ネットと世論形成、SNS・掲示板、電子政府等については現カリ「生活と政治行政」(新カリ2年以上履修科目「ネットと世論」)において取り上げる

#### 評価

授業での課題（40％）とレポート（40％）、授業への参加度（20％）を総合し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】事前に予告された授業内容、関連する時事問題等について予習する

【事後学修】授業で学習した内容について調べ、自分の意見・考え方をまとめる

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業において資料等を用意する。



科目名	メディア産業論		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

旧メディア4媒体 (新聞、出版、テレビ、ラジオ) のビジネスを軸とし、これと密接に絡む新領域メディアも俯瞰しながらメディアビジネスを概観しその理解に努める。メディアから発信されるコンテンツの重要性を押さえつつ、各メディア企業の良質のコンテンツ発信を支える「広告」の役割も見つめて、今後を展望する。

#### 科目の概要

新聞、テレビ、雑誌、ラジオという既存メディアの厳しいビジネス環境とともに、インターネット、電子書籍等の展開を学ぶ。これら新旧のメディア企業の生命線である広告ビジネスについても認識を深める。

#### 学修の目標

スマホが重宝される時代にあって、現代人が水のように接するメディアのビジネス構造を理解し、ビジネス的観点からメディアリテラシーを高める。メディアビジネスの現場で働く人の現実を的確に把握し、メディアへの就職を志向する学生のモチベーションをアップさせる。

内容	
1	ガイダンス ( ネット社会における新聞やテレビの明日から説き起こす )
2	メディアの変貌の中のロマンとソロバン ( 紙とネット課金との二刀流時代 )
3	広告会社あつてのメディア企業 ( 電通等 )
4	全国紙の今
5	地方紙の今
6	通信社の今 ( 共同通信、時事通信 ) と地方紙
7	雑誌・出版界と編集者
8	紙の本ができるまで
9	電子書籍と本の未来
10	テレビ概説 ( 民放とNHK )
11	テレビの番組制作と視聴率
12	テレビキー局と系列局、独立局
13	ラジオ概説
14	エンターテインメントビジネス
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題執筆30点の計100点で、60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示。

科目名	国際マスコミュニケーション論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目分類 メディアコミュニケーション学科選択科目

概要：「国際マスコミュニケーション」とは、マス・メディアを中心とした国を越えた社会の間のコミュニケーションをいいます。例えば、高校のときに韓国に旅行にいかれた方は、向こうでNHKを見ることが出来るのに驚いたのではないのでしょうか。また、今や日本のマンガやアニメは世界中で人気があるのはよくご存じだと思います。グローバル化の進展に伴い、こうした国際マスコミュニケーションは質・量共に増大しつづけており、それが国家および社会にとってどのような影響を与えているのかを考えるのが本講義の目的です。「国境を越えるマス・コミュニケーションのインパクト」が講義のサブタイトルです。

取り扱うテーマは、前半は、「国際マスコミュニケーション」を議論していく上で必要な、基本的な事象や概念について、具体的な事例を交えながら解説していきます。取り扱う主な事象・概念は、文化帝国主義、情報主権、国境を越えるテレビ、集团的帰属意識などです。後半は、ヨーロッパ・北米などにおける具体的な「国際マスコミュニケーション」の状況を紹介しながら、前半で解説した概念の理解を深めていきます。講義の締めくくりでは、現在の日本を含めたアジアを取り巻く「国際マスコミュニケーション」の状況を考えてみたいと思っています。

目標：現代における国際マスコミュニケーションの意義と問題点を理解する。

内容	
1	イントロダクション
2	現代の国際マスコミュニケーションの特徴
3	現代の国際マスコミュニケーションの特徴
4	マスコミュニケーションと国民的帰属意識
5	マスコミュニケーションと国民的帰属意識
6	国境を越えるマスコミュニケーション(TV)は何を伝えるのか
7	中間まとめ
8	「国境を越えるマスコミュニケーション」とステレオタイプ
9	「国境を越えるマスコミュニケーション」とステレオタイプ
10	世界情報秩序をめぐる議論と情報主権・文化帝国主義
11	北アメリカにおける国際マスコミュニケーション
12	ヨーロッパにおける国際マスコミュニケーション
13	日韓間の国際マスコミュニケーション
14	アジアにおける国際マスコミュニケーション
15	まとめ

評価

中間テスト ( 40% ) および期末レポート ( 60% )

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】国際ニュースや国際的なメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】ジョン・トムリンソン 『文化帝国主義』 青土社 361.6/T

田中浩編著 『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』 龍星出版、1996年

『メディア用語基本事典』（世界思想社）

科目名	コミュニケーションの心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門選択科目として、人間のコミュニケーション行動に興味をもつ学生を対象とする。コミュニケーション行動を科学的に理解する基礎を身につける。

#### 科目の概要

コミュニケーション活動とは、メッセージを送る人と受け取る人との共同作業であり、メッセージという情報が表現され伝達され受容され理解されるというプロセスからなるものである。このプロセスのなかで、人間がどのような行動を行っているのか、心や行動にどのような影響を及ぼすのか、について明らかにされている心理学的なメカニズムや法則性を中心に述べる。私たちが普通に行っている行動に影響を及ぼす心理的な要因について、論理的かつ分析的に理解する知識を身につけるとともに、行動の潜在的な意味や目的を客観的に考える態度や視点を養ってほしい。

#### 学修目標

評価基準ともなる学習到達目標は、1)教科書の記述内容を理解しようと努力したか、2)コミュニケーション行動に関するメカニズムや法則性を理解したか、3)コミュニケーション行動に関する理論を日常生活での行動に適用して説明できるかである。

## 内容

- 1．コミュニケーション行動と心理学
- 2．対人コミュニケーションの成立
- 3．対人コミュニケーションの特徴
- 4．言語とコミュニケーション
- 5．言語コミュニケーションの特質
- 6．非言語メディアによるコミュニケーション
- 7．自己開示の概念と領域
- 8．自己開示が果たす機能
- 9．自己開示を規定する要因
- 10．自己呈示と社会的スキル
- 11．防衛的自己呈示と主張的自己提示
- 12．他者を動かすコミュニケーション ( 要請承諾・説得 )
- 13．説得的コミュニケーションと態度変容
- 14．要請技法と心理的效果
- 15．まとめ

## 評価

授業内の小課題10点、テスト90点、の計100点満点により評価を行う  
総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】学習予定である教科書の該当章を読み、概要を理解するように努める

【事後学修】学習内容を整理し直すとともに、日常生活での身近な行動に当てはめてみる

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 深田博己著 『インターパーソナルコミュニケーション』 北大路書房

科目名	教育とメディア		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、メディアコミュニケーション学科専門選択科目である。教育分野とメディアに関わる内容となるので、教職履修者、あるいは教育分野でのメディア活用に興味関心のある学生に向いている。

#### 科目の概要

学校教育・生涯学習などの教育分野では、新しいメディア活用に関する研究やメディアリテラシー育成のための教育が実践されている。例えば、インターネットの活用、デジタル教科書、電子黒板、e-ラーニング、クラウドサービスの活用などがある。またICTの活用に伴い、メディアリテラシー教育なども重要な課題である。本科目では、教育メディアの歴史からはじめ、情報機器端末、アプリケーション、メディアリテラシー教育、最新のICTを利用した教育環境をテーマとして取り上げる。

また、ICTを活用した簡単な教材作成の方法と開発を行い、教育とメディアへの理解を深める。

#### 学修目標

- ・教育とメディアの関係やそれぞれの特徴が理解できる。
- ・メディアや情報に関わる教育の現状について考察を深めることができる。
- ・教材の開発を通して、ICTを活用した教育の理解を深める。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	メディアとメッセージ
3	教育モデルとメディア
4	教育とメディアの歴史と関係
5	子どもと情報メディア ( 1 )
6	子どもと情報メディア ( 2 )
7	情報教育とメディアリテラシ ( 1 )
8	情報教育とメディアリテラシ ( 2 )
9	メディアを活用した新しい学習 ( 1 )
10	メディアを活用した新しい学習 ( 2 )
11	メディアを活用した教材の設計
12	メディアを活用した教材の開発 ( 1 )
13	メディアを活用した教材の開発 ( 2 )
14	教材の評価
15	まとめ

#### 評価

各テーマ毎にレポート課題 ( 3 ~ 4 ) を合計 6 0 % と、教材開発 4 0 % とし、総合評価 6 0 % 以上で合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に提供するWeb教材での予習

【事後学修】事後に実施する課題レポートの実施

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指示する。



科目名	政治とメディア		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年生以上対象のメディア群科目として、政治についての情報の流れについて学ぶ。

人々が政治についての情報を入手する方法は色々ある。その中でも、職業として政治にかかわる人々 ( 政治家、官僚 ) も、素人として政治に参加する人々 ( 有権者 ) が最近特に注目しているのがマスメディアとインターネットメディアである。授業では、この2つを取り上げ、それぞれの特徴や問題点を議論する。また、情報のグローバル化が政治コミュニケーションに及ぼす影響についても考察する。

人々がメディアを通じてどのように政治情報を発信、受信しているか、発信している側の意図は何か、それを受信する側は何を感じるかなど、政治コミュニケーションの現状を理解する。

内容	
1	政治コミュニケーションとは何か
2	発信者と受信者の関係 ( 1 ) : 直接対話
3	発信者と受信者の関係 ( 2 ) : 間接対話
4	マスメディアの自由
5	マスメディアの制約
6	マスメディアと世論
7	インターネットメディアの発展
8	インターネットメディアの影響力
9	メディアの政治的影響
10	政治参加の方法としてのメディア ( 1 ) : 選挙キャンペーン
11	政治参加の方法としてのメディア ( 2 ) : 政治的動員
12	選挙報道
13	政治コミュニケーションの国際比較 ( 1 ) : 欧米諸国
14	政治コミュニケーションの国際比較 ( 2 ) : アジア諸国
15	まとめ

評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。総合評価60点以上を合格とする。再試験は行わない。

授業外学習

【事前予習】マスコミやネットで伝えられる政治ニュースをフォローする。

【事後学修】授業で説明された分析的視点からニュースを分析する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】蒲島郁夫他 『メディアと政治』有斐閣アルマ 2007年

【推薦書】遠藤薫 『間メディア社会における世論と選挙』東京電機大学出版局 2011年

【参考書】平田オリザ、松井孝治 『総理の原稿』岩波書店 2011年

科目名	地域メディア論		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

いわゆる全国紙 (新聞)、キー局 (テレビ) の購読・視聴率が高い大都市圏にあっては、それらがメディアの総称と受け取られがちだが、地方にあってはその地域の有力地方紙や民放などの影響力が強く、地域の世論形成の役割を担っている。また、県民・市民など地域住民の評価も高い。大都市圏の地域への愛着度と地方でのそれを比較した場合、濃淡の差はメディア状況と相関関係があるとの指摘もある。

本講義では、こうした実態が真に存在するか、存在するとしてその背景は何かを全国の地方紙を使いながら考える。その上で、本学キャンパスがある埼玉県メディア状況と県民意識 (愛県度) を解明していく。

さらに、埼玉県域の主要メディア企業 (埼玉新聞社、テレビ埼玉、FMNACK5、Jコムさいたま、地方出版社、コミュニティFM) の姿や取り組みを踏まえて地域メディアの意義、メジャーメディアとの違い、地域メディアが培う県民性などを学ぶ。

最近、webでも地域を限定した情報発信に取り組む媒体も出てきており、その実態や将来展望、SNSとの関連性などを学ぶ。

なお、埼玉にとどまらず首都圏エリア (関東地方) の地域メディアを必要に応じて取り上げていく。

内容	
1	授業ガイダンス
2	地域メディアと地域への愛着度の関係
3	首都圏のメディア状況と文化・県民性
4	地方紙の展開に見る地域メディア論 1
5	同 2
6	地方テレビ局の展開に見る地域メディア論 1
7	同 2
8	地方出版論 1
9	同 2
10	FMラジオ局の展開にみる地域メディア論 1
11	同 2
12	コミュニティFMの展開にみる地域メディア論 1
13	同 2
14	webを使った地域メディア、実態と展望
15	レポート作成

評価

毎回の授業出席と課題評価を80%とし、最終的なレポート作成と評価を20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前準備】提示する課題の予習を行う

【事後学修】学んだテーマを掘り下げる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて指示する。

科目名	生活と政治行政		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

## ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

### 科目の性格

政治行政、ネットと世論などに関わる基礎知識を日本の課題などの時事問題に関連付けながら学ぶ

### 科目の概要

政治的決定のルール、行政のしくみ、インターネットが世論、民主政治にどのような影響を与えるか、時事問題などを学ぶ。現在の課題(例えば、景気問題、少子高齢化と福祉の問題、財政赤字、憲法改正、原発再稼働、TPP、安全保障など)がどのように決められていくか、どのように決めていくべきかを考える。

### 学修目標(=到達目標)

現在の日本の課題を題材として政治行政、インターネットと民主政治の基礎知識を修得するのみでなく、その知識を生かしてものごとを把握する力、解決策を論じる力を身につけることを目標とする

## 内容

- 1 ガイダンス 現在の日本を取り巻く諸問題と政治行政、ネットと世論
- 2 現代日本政治の諸問題 安部首相の目指すもの-積極的平和主義、戦後レジームからの脱却、安全保障、国際協力、憲法改正
- 3 現代日本政治の諸問題 景気対策とアベノミクス、消費税増税と財政赤字、参議院選挙
- 4 財政赤字と諸問題 財政赤字、福祉国家論と小さな政府、財政危機と社会保障、地方自治体と社会保障
- 5 政治のしくみ-国会・内閣、議院内閣制・大統領制、行政のしくみ-中央省庁・地方自治体の役割
- 6 政策決定システム 選挙と政権交代、与党と野党、官僚制度、長期政権と1年で交代する政権の違い
- 7 政策決定システム 法律・予算ができるまで
- 8 前半まとめ
- 9 メディアと世論 世論とは、マスメディア、インターネット
- 10 SNSと世論 フェイスブック、ミクシィ、電子掲示板
- 11 インターネットと選挙 マスメディアと選挙、「ネット選挙」解禁、ネットの影響力、ネット選挙と法規制
- 12 ネットによる世論形成の問題点 誹謗中傷、エンブレム問題に見る「正義の鉄槌」、受けるための極論、当事者による世論操作、国家・政府の検閲、世論操作、コントロール
- 13 ネット世論と個別課題-憲法改正、原発再稼働、アベノミクス、ネットと政策評価
- 14 ネット世論の限界と可能性-匿名性と責任、政治行政のプレイヤーへの影響、情報発信による影響力-ウィキリークス・ウィキペディア、ネットメディア、個人の情報発信
- 15 後半まとめ

## 評価

小試験と課題など(70%)、平常点(30%)の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に予告された授業内容、政治行政に関連する論点・時事問題等について予習する

【事後学修】授業で学習した論点・内容について調べ、それらについての自分の意見・考え方をまとめる

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

レジュメ・資料などを配布する。

【推薦書】堀江湛『政治学・行政学の基礎知識 第3版』一藝社

岩井奉信『立法過程』東京大学出版会

科目名	国際関係論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

2年生以上対象のメディア群科目として、国際社会の全体像を理解する。

国際問題を、国際社会という舞台に現れる登場人物 ( アクター )、出来事 ( ストーリー ) という視点でとらえ、20世紀後半の国際問題の流れを再考する。その上で21世紀の国際社会が直面している問題の特徴を探る。新たな情報手段や科学技術の登場によって、これまでとは異なる国際問題が発生する可能性についても論じる。

国際社会の動きと日本、さらに日本国内で身の回りに起きている出来事との関連性を理解し、国際社会が日本から遠いところで、自分に関係なく動いているのではないことを学ぶ。

内容	
1	国際社会への視点：日本の役割
2	20世紀の国際関係 ( 1 ) : 冷戦の始まり
3	20世紀の国際関係 ( 2 ) : 冷戦の終結
4	地域紛争 ( 1 ) : 歴史
5	地域紛争 ( 2 ) : 現状
6	テロリズム
7	南北問題 ( 1 ) : 格差
8	南北問題 ( 2 ) : 貧困
9	環境問題 ( 1 ) : 地球環境問題
10	環境問題 ( 2 ) : 国際協力
11	人権問題
12	国際社会の協力関係 ( 1 ) : グローバリゼーション
13	国際社会の協力関係 ( 2 ) : リージョナリゼーション
14	21世紀の国際社会と日本
15	まとめ

評価  
レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。総合評価60点以上を合格とする。再試験は行わない。

授業外学習  
【事前予習】個々に選択した国あるいは指導者についてのニュースを集める。  
【事後学修】授業で説明された国際政治の背景に重ねて、選択した国・指導者の動きについて考える。

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】原彬久 『国際関係学講義（第4版）』有斐閣 2011年

【推薦書】渡邊啓貴編 『新版ヨーロッパ国際関係史』有斐閣アルマ 2008年

【参考図書】猪口孝 編 『国際関係リーディングズ』東洋書林 2004年

東大作 『平和構築 - アフガン、東ティモールの現場から』 岩波新書 2009年



科目名	映像文化論		
担当教員名	江藤 茂博		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 映像文化の成立と展開に、研究・批評的な観点の置き所を説明しながら、現代文化への理解を講義と映像資料とで手に入れてもらう科目である。

科目の概要 三部構成で、最初に映像文化史をジャンル別に資料を提示しながら講義する。次に、日本のアニメーション史の資料と話題を中心にした映像文化史を講義する。最後に、筒井康隆の小説「時をかける少女」の映像化作品を取り上げることで、研究・批評の方法を案内する。

学修目標 ( =到達目標 ) 映像表現の物語の歴史に関する知識と研究・批評の方法を身につけてもらう。

内容	
1	映像表現の歴史
2	写真表現の文化史
3	漫画とアニメーション
4	映画と文学
5	テレビ文化とゲーム文化
6	アニメの映像文化1 出発期の日本アニメーション史
7	アニメの映像文化2 東映アニメーションの時代
8	アニメの映像文化3 テレビアニメーションの登場
9	アニメの映像文化4 アニメブーム第一期と第二期
10	アニメの映像文化5 ジブリのアニメ映画
11	アニメの映像文化6 漫画・ゲーム・ライトノベルとアニメ
12	映像と文芸1 時をかける少女とテレビドラマ
13	映像と文芸2 時をかける少女と映画
14	映像と文芸3 時をかける少女とアニメ
15	まとめ 映像文化論

#### 評価

授業への関心・意欲 (20パーセント)、授業内での参加度 (20パーセント)、小テスト (20パーセント) や小レポート (40パーセント) を合計100点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】指示された作品を読む・観ること

【事後学修】指示された作品を読む・観ること

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しません

【推薦書】授業内で指示します

【参考図書】講義担当者の著作に映像文化関係のものが幾冊あります

科目名	雑誌文化論		
担当教員名	飯田 日出男		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

出版活動の中核をなす書籍出版、雑誌出版の現状と未来を、制作現場の具体的な仕事や実例を通して学ぶことで、業界をより具体的に把握・理解する。

#### 科目の概要

出版界の現状を大づかみすると同時に、とりわけ編集者の仕事について理解を深める。その一助として書籍や雑誌の模擬企画を立案、講評。ゲスト講師（現役編集者）の体験談を聞く機会を提供する。

#### 学修目標 (= 到達目標)

出版社などメディアにかかわる就職を希望する学生が業界やその仕事を理解できるようにする。さらに具体例を通して学ぶことでモチベーションのアップをはかる。

内容	
1	ガイダンス ( 出版界の現状 )
2	出版社の仕組み
3	私の書籍論
4	書籍はこうしてつくられる ( 課題「書籍の企画を立ててみよう！」 )
5	書籍編集の現場から ( ゲスト講師との対談 )
6	課題「書籍企画」の講評
7	私の雑誌論
8	雑誌はこうしてつくられる ( 課題「雑誌の企画を立ててみよう！」 )
9	雑誌編集の現場から ( ゲスト講師との対談 )
10	課題「雑誌企画の講評」
11	編集者とはなにか
12	出版に携わる様々な仕事
13	電子書籍の課題と問題点 ( 著作権と著作隣接権 )
14	出版界はこれからどうなる
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み70点、課題提出30点の計100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】片山一行 職業としての「編集者」 エイチアンドアイ

科目名	インターネットビジネス		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門科目である。

科目の概要

インターネット上では様々な経済取引が拡大している。そこで、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げる。

学修目標(=到達目標)

インターネットに関わるビジネスモデルを理解する。

内容	
1	ガイダンス
2	インターネットの歴史としくみ
3	情報通信産業の規制緩和と競争
4	スマートフォン
5	インターネットと広告
6	SNSと無料通話アプリ
7	検索サイトと広告
8	インターネットと政府
9	ビッグデータとビジネス
10	ポイントサービスとマーケティング
11	インターネットのショッピングサイト
12	仮想通貨
13	インターネットとセキュリティ
14	インターネットと法律
15	まとめ

評価

平常点(10%)、毎回の課題(30%)、最終レポート(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次週取り上げるテーマのサイト確認。

【事後学修】プリントやサイトで確認。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特にしていない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	ブランド戦略		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「ブランド」は現在の企業活動において、重要なテーマの一つですが、「ブランド」は今になって急に注目度を増したのではなく、古くは自らの保有物の証明書として捉えられていました。現在の「ブランド」への注目は、他の商品・サービスとの差別化を求める企業のマーケティング行動にのみ関係するのではなく、組織・商品や個人の「存在表明」として捉えられることにあります。

#### 科目の概要

「ブランド」を身近な事例に基いてわかりやすく説明していきます。「ブランド」とは何なのか。その機能や役割、管理について把握し、「ブランド」は消費者にとってどのように認知されるのか、消費者との関係についても理解を深めていきます。

#### 学修目標 (= 到達目標)

「ブランド」の基礎について理解を深め、具体例を基に「ブランド」の戦略や資産価値を述べるようにします。合わせて、自分自身の存在を「ブランド」と捉え、「ブランド」創造の手順を学習し、未来に向けた自らの将来ビジョンを設計する着眼力を高めるようにします。

## 内容

1	オリエンテーション
2	ブランドとは何か
3	マーケティング概念変遷とブランド
4	ブランドの構成要素 - 企業経営におけるブランドの果たす役割
5	ブランドの創造ものがたり
6	企業マーケティングとブランドの役割
7	地域ブランドとは何か
8	ブランド・エクイティ
9	新市場創造とブランド化計画
10	SWOT分析と自分自身のブランド化
11	ブランド確立に必要な「商品開発」の具体的手法・考え方について解説
12	開発したブランドの育成に関する考え方・手法について様々な角度から解説
13	ブランド・コミュニティ
14	ブランドのこれから
15	まとめ

## 評価

授業への参加30%・数回にレポート20%・筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

### 【事前予習】

毎回の講義終了時に、次回の講義内容を説明し、予習の要点を指示する。

### 【事後学修】

毎回配布する資料で、講義内容を復習する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。



科目名	広告デザイン		
担当教員名	星野 裕、加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

広告表現とその手法からコミュニケーション・デザインのやりかたを学ぶ。その習得により、これからの人や社会に対して自身がどんな価値を提供でき、影響を与えることができるのかを考えてゆく。

#### 科目の概要

今までの常識が覆される新しい時代の広告の役割、メディアの種類、コミュニケーションの基本戦略を理解し、広告表現とデザインの具体的な手法を視覚的に体験する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

毎回配布される画像資料や解説シートを確認しながら講義を進行し、ノートを取り、リテラシーを深める。出題された課題を次の講義までに仕上げ、学習効果を確認していく。

1. 広告の基礎と役割を理解する。
2. 表現手法としてのコミュニケーションデザインを理解する。
3. 知的、グッドセンス、お洒落をデザインから体感する。
4. 自らを知るためのデザインを体験する。
5. 自分自身を戦略的にデザインする。

受講人数によってシラバスの構成を若干変更することがある

## 内容

1	イントロダクション～広告に楽しく踊らされてみよう！
2	街を広告から見てみてみよう～私の好きな広告・嫌いな広告
3	広告ってどんな人が作ってるんだろう～広告ビジネスの概要と広告戦略
4	CMのやりかたをのぞいてみよう～日本篇
5	CMのやりかたをのぞいてみよう～海外篇
6	CMを音楽から観てみよう～CMは時間のデザイン
7	広告コピーって口説き文句のことなんだ～言葉のチカラを掴む
8	広告デザインってダイエットのことなんだ～デザインはコミュニケーション設計
9	広告アイデアってどうやって思いつくんだろう～発想は知識から生まれる
10	大学を広告してみよう～大学を一枚の写真に撮ってみる
11	大学を広告してみよう～大学を一行のコピーで書いてみる
12	私を広告してみよう～私らしい写真を撮ってみよう
13	私を広告してみよう～私らしいコピーを書いてみよう
14	「私の広告」～鑑賞・批評会
15	まとめ～広告のやりかたで自分の未来をデザインしよう！

## 評価

各回の課題レポート（50%）広告表現課題提出と質（40%）レポート（10%）により評価し、60点以上を合格とする。また、三分の二以上の出席をすることで評価を受けることができる。

## 授業外学習

【事前予習】随時出題された課題の調査・資料収集を行ない提出する。

【事後学修】講評からリメイクまたは新しいアイデアの蓄積を行ない、最終まとめ課題に応用する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない（配布するプリントのみ使用）

科目名	雑誌・ミニコミ編集		
担当教員名	大西 正行、石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

実際の新聞紙面を企画・執筆・レイアウトするリアリズムにあふれた制作プロセスを通し、対外的な取材を積極的に行う中で、メディアリテラシーと「文章力・編集力」を身に付ける。

#### 科目の概要

文章に見出しや写真を組み合わせることにより一覽性の紙面を作り上げる構成力を養う。取材対象 ( 埼玉のメディア企業等 ) 別にチーム編成し、「協働」作業の大切さを理解。全体の作業の流れを視野に置きニュースの価値判断力も養う。

#### 学修の目標

実際に即した企画力・取材力・編集力・文章力の陶冶によって、プレゼン能力・筆力を含めたコミュニケーション能力、洞察力を養う。受講学生のメディア業界をはじめとした就職力・就業力アップにも繋がる授業を展開し、DTP編集に対する認識も深める。

#### 内容

A2版4ページを基本ツールとして、埼玉県メディア企業を中心として首都圏の地域メディアの取り組みを取材し、成果物として「十文字メディアニュース夏季号」( 仮称 ) を受講者全員で作り上げる。執筆取材対象として埼玉新聞社、テレビ埼玉、FM NACK5、ジェイコムさいたまなどが考えられる。広告取材班のほか、広報取材班も必要に応じて設ける。( 履修の人数を制限します )

本学の学生が埼玉はもとより、東京、千葉・神奈川等からも通学していることも併せ、埼玉を軸とし地域メディアにこだわりつつ、視野を広げて取材にあたる。

学生はメディアの第一線で活躍する人たちに会い、緊張感がみなぎる仕事の現場でインタビュー。リアルな環境の中で「社会で通用する文章力」と「コミュニケーション力」を磨き、就職就業に大い役立つ「取材・執筆 ( 写真撮影も ) 」の醍醐味と、皆の英知と感性を頼りに多くの人に読んでもらえる完成物を作り上げた達成感を味わえるまたとない機会を得ることになる。

ここでは、通常授業の座学にとどまらず、キャンパスの外での取材 ( 交通費支給 ) も一時的に求められるため、スケジュールを守って成果物を出す実践的な授業であることを認識したうえで受講してほしい。

#### 評価

「授業に対する意欲・関心・態度」70点、「課題等執筆制作」30点で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】インタビュー前の下調べ等を行う。

【事後学修】取材を踏まえテーマを掘り下げさせる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：『新聞用字用語集（記者ハンドブック）』（共同通信社）

科目名	DTP基礎		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

グラフィックソフトウェアの基礎およびグラフィックデザインでの活用方法の基礎を学びます。

コンピュータによるグラフィックス技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆるデザイン分野で活用されており必要不可欠なものとなっています。2次元でのデジタル画像の加工・編集について学び、グラフィックソフトウェアの基礎を習得します。基礎作品制作、チームで印刷媒体の制作を行い、グラフィックデザインのワークフローの基礎を学習します。

ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、それぞれ目的に合致したソフトウェアとプロファイルを選択でき、目的に合致した作成手法やグラフィックデザイン技術の基礎を習得することを目標とします。

## 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていけません。

データを保存するUSBメモリ、アイデア用のスケッチブックを毎時間準備してください。

1	ガイダンス、2次元CGの基礎
2	Photoshop基礎 (ビットマップ画像、ピクセルと解像度、基本操作)
3	Photoshop基礎 (レイヤー、ペイント、移動)
4	Photoshop基礎 (色調補正、調整レイヤー、レタッチツール)
5	Photoshop基礎 (マーキーツール、切り抜き、マスク)
6	画像合成作品の制作(テーマあり)
7	Illustrator基礎 (ベクター画像、プロファイル、アートボード、定規とガイド、基本操作)
8	Illustrator基礎 (図解描画、線描画(オープンパスとクローズパス)、ベジェ曲線)
9	Illustrator基礎 (オブジェクト、パス調整、色調整)
10	Illustrator基礎 (文字ツール、パスファインダ)、基礎作品制作 (ネームカード)
11	Illustrator基礎 (画像配置、クリッピングマスク)基礎作品制作 (ポストカード)
12	デザイン基礎 (企画・構図・レイアウト・コピー)
13	デザイン基礎 (ペアによる制作、テーマあり)
14	デザイン基礎 (制作のつづき)
15	まとめ(作品発表・講評)

## 評価

制作作品・課題(80%)、受講態度(20%)などで総合的に判断し、60点以上を合格とします。

スケッチブック(企画、アイデア等)および作品が未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

【事前予習】配布資料をよく読み、演習用データを確認しておくこと。

【事後学修】配布資料や演習用データを使用して練習課題に取り組むことにより、学習した内容をしっかり身につける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じてプリントやPDFファイル、演習用データを配布します。

科目名	DTP基礎		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、メディアコミュニケーション学科専門選択科目である。コンピュータソフトを使用した、創作活動に関心がある学生向けである。

#### 科目の概要

各個人がコンピュータでアプリケーションを操作しながら、画像編集・加工ソフトであるAdobe「Photoshop」や「Illustrator」の操作方法を具体的に学んでいく。

他の演習系授業とも連携しつつ、Webデザイン、紙のデザイン、アニメーション等、各個人の今後の創作活動に有用な基礎を養っていく。

同週の「コンピュータグラフィックス」とは一部内容を反復させながら進めていく。

#### 学修目標

- ・「Photoshop」や「Illustrator」の基本操作ができる。
- ・「Photoshop」や「Illustrator」の活動場面を理解し、紙媒体やデジタル媒体を対象としたデザインを自分なりに創作できる。

履修者数等の都合により一部内容を変更する場合がある。

内容	
1	オリエンテーション
2	画像編集 (Photoshop) と画像描画 (Illustrator) の基本について
3	画像の編集 加工の基礎
4	画像の編集 合成の基礎
5	画像の編集 色調の基礎
6	--第一回 課題の制作--
7	画像の編集 レイヤーを利用した複合的編集
8	画像の編集 マスク等を利用した応用的編集
9	--第二回 課題の制作--
10	画像の描画 名刺
11	画像の描画 ポスター
12	画像の描画 エディトリアルデザイン
13	--最終課題の制作--
14	--最終課題の制作--
15	まとめ

## 評価

授業への参画、課題の取り組み状況などの平常点40%、課題の評価点60%で評価する。

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】各々、演習室にてAdobe「Photoshop」の操作にトライしておくことが望ましい。

【事後学修】基本、紙の教材は仕様しない。前回までの内容を復習した状態で授業に参加することが望ましい。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示する。



科目名	DTP応用		
担当教員名	木継 則幸、加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

InDesignを使った実習を通じ、DTP及びエディトリアルデザインの基礎を学ぶ。グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、編集志望者を対象とする。

#### 科目の概要

エディトリアルデザインとは、文字と画像を用いて、世界観、時間軸、メッセージ性、ユーザビリティ等の多様な観点から情報伝達を図る、総合的な視覚表現である。

本科目では、観察、発想、設計、評価のプロセスを通じ、アプリケーションの基本操作法と、デザインの基礎となる考え方を身につける。

#### 学修目標(=到達目標)

エディトリアルデザインの基礎的な理解とスキルを習得。雑誌制作、新聞制作など実践的なエディトリアルデザインの実習過程に進むためのベースとなる。

## 内容

### 1週

#### オリエンテーション

授業の説明、エディトリアルデザインの概要、インデザインの概要、事例紹介

### 2-6週

#### 基礎演習1(パターン制作)

制作のワークフロー、インデザインの基本操作、ドキュメント作成、レイアウトの基本、カラー設定、テキストの基本設定、画像配置、プレゼンテーション

### 7-10週

#### 基礎演習2(フライヤー)

タイポグラフィ、情報設計、ユーザビリティ、レイアウトバランス、プレゼンテーション

### 11-14週

#### 基礎演習3(書籍、雑誌)

ページの基本操作、各種応用操作、ビジュアル表現、プレゼンテーション・講評

### 15週

#### まとめ

## 評価

提出作品・課題（50点）、準備作業の内容・プレゼンテーション（20点）、授業中の姿勢（30点）などを総合的に判断 総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】良質なアウトプットのためには、日常における観察と発想が必要。

授業ではアウトプットとディスカッションに専念するため、実習のためのリサーチ、ラフ制作、レポート等の準備作業とそのプレゼンテーションを課す。

【事後学修】実習内容を身につけるための課題を課す。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示

科目名	Webデザイン基礎		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

##### 科目の性格

1年次の基礎的な情報処理演習を受けて、情報発信の手段のひとつとしてWebページによる表現力を身に着ける。

##### 科目の概要

Webページを自分でデザインし、それを実現する能力を養う。HTML言語とスタイルシートを自分で書くことにより、その仕組みを理解する。JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページをめざす。

##### 学修目標(=到達目標)

1. ホームページの仕組みを理解する。
2. HTMLとスタイルシートを使って、Webページのデザインができる。
3. JIS規格を考慮した、人にやさしく、多くの人にとって使いやすいWebページができる

#### 内容

1	HTMLの基本のおさらいと授業の進め方について
2	配色に関する基本的な考え方
3	Webページの配色の実習
4	段落の書き方
5	マージンとパディング
6	図と文章の回り込み
7	ナビゲーションの作成
8	1段組レイアウト
9	2段・3段組レイアウト
10	z-indexを使用した自由なレイアウト
11	表(table)の利用
12	ID・Classを使った統一的なデザイン
13	自由課題作成
14	自由課題作成
15	自由課題の相互評価, 課題に関する振り返りとまとめ

#### 評価

授業への参加度20%、毎回の授業時の提出課題60%、および最終課題への取り組み20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】ネットワークフォルダに置かれている解説を読み、難解な部分をチェックしておく

【事後学修】提出課題と学習内容を再度見直し、疑問点を解消しておく。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず，学内ネットワーク上に解説と課題を置く

【推薦書】日本工業規格、JIS X 8341-3

【参考図書】教室で紹介する

科目名	Webデザイン応用		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、メディアコミュニケーション学科専門選択科目である。コンピュータソフトを使用した、創作活動に関心がある学生向けである。

#### 科目の概要

「Webデザイン基礎」を踏まえ、より実践的なWebデザインを学習する。

HTMLに加えCSSを扱い、Webデザインの最適なプロセスを検討していく。また、ソースコード領域に加え、UI、UX等のインフォメーションアーキテクト領域、また、Web構築・運用にまつわる、ディレクション、マネージメント領域にも触れる。アプリケーションソフトは主に、Adobe「Dreamweaver」を中心とし、その他テキストエディターも利用する。他の演習系授業とも連携しつつ、Webデザインに限らず、各個人の今後の創作活動に有用な力を養っていく。

#### 学修目標

- ・Webサイトの基本構造を理解できる。
- ・「Dreamweaver」の基本操作が行える。

内容	
1	オリエンテーション
2	Web概論(フロントエンド・バックエンド)
3	Web構築手順(Dreamweaver)の基本について
4	HTMLとCSS基礎
5	HTMLとCSS基礎
6	--課題制作・ワイヤーフレーム制作--
7	HTMLとCSS基礎
8	HTMLとCSS基礎
9	--課題制作・サイトデザイン制作--
10	HTMLとCSS応用
11	HTMLとCSS応用
12	マルチメディア・アプリケーション連携
13	--最終課題制作・サイトデザイン制作--
14	--最終課題制作・サイトデザイン制作--
15	まとめ

## 評価

授業への参画、課題の取り組み状況などの平常点30%、課題の評価点70%で評価をおこなう。総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】前期・前年度以前に「Webデザイン基礎」「コンピュータグラフィックス」履修済であることが望ましい。

【事後学修】前回までの内容を復習した状態で授業に参加することが望ましい。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

オリエンテーション時に指示する。

科目名	映像編集		
担当教員名	北川 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

映像制作のセオリーや手法を学習して作品制作を行います。

#### 科目の概要

脚本執筆・絵コンテ作成等も含めた映像制作のワークフローを体験しながら、カメラワーク・映像編集ソフト ( Adobe Premiere ) の基本操作・編集技法等の映像制作における基本技術の習得を目指します。

本講義は、チームを構築し凝縮した制作演習を行う都合上、人数制限を行う可能性があります。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ビデオカメラの操作方法の理解
- ・映像編集ソフト ( Adobe Premiere ) の基本操作の理解
- ・基本的な撮影アングルや編集技法の習得
- ・映像制作のワークフローの理解

#### 内容

毎時間、課題があり新しいことを学習していきますので、欠席しないようにしてください。

基本的に資料に頼らないで授業を進めますので、欠席すると付いていけません。

データを保存するUSBメモリや外付けHDD ( USB3.0以上推奨 ) を毎時間準備してください。

1	イントロダクション
2	映像制作のワークフロー ( 企画・脚本 )
3	ビデオカメラ基礎
4	ビデオカメラ基礎
5	Premiereでの映像編集 ( 基本操作・素材取り込み )
6	Premiereでの映像編集 ( カット編集・トランジション )
7	Premiereでの映像編集 ( タイトル・BGM )
8	Premiereでの映像編集 ( ポスプロ・書き出し )
9	作品制作 ( 企画決定 )
10	作品制作 ( 撮影 )
11	作品制作 ( 撮影 )
12	作品制作 ( 撮影・編集 )
13	作品制作 ( 編集 )
14	作品制作 ( 編集 )
15	まとめ、合評会

## 評価

授業内課題（60点）、授業参加度（40点）の合計100点満点で採点し、60点以上を合格とします。  
作品が未提出の場合は評価しません。

## 授業外学習

- 【事前準備】授業前に、チームごとに企画立案・課題制作を積極的に進めておくこと。
- 【事後学修】授業内容をもとに、チームごとに企画立案・課題制作を深めておくこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

必要に応じて資料を配布します。



科目名	ラジオ番組制作		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

音声のみによるメディアであるラジオ。テレビの全盛期には長期的な凋落傾向にあったが先の震災をきっかけに再評価され、いままた注目されている。ネットラジオの普及により、スマートフォンやPCで無数のチャンネルにアクセスできるようになったことも大きい。この授業ではワークショップ形式でラジオ番組制作を体験することによって、あらためてラジオというメディアの特性や可能性を探っていく。

#### 科目の概要

- . 報道番組、紹介番組、解説番組、キャンペーン番組のなかからひとつを選び、番組を制作する。
- . 音楽番組を制作する。

制作した番組は試聴会を行い、相互に評価をする。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

ラジオ番組の特性を理解し、目的に沿った番組作りを考えて的確にメッセージを発信できるようになる。  
また、録音や編集を通じて音声制作ツールのスキルを高める。

## 内容

- 第1回 オリエンテーション ラジオの特性と可能性
- 第2回 番組制作 番組企画書
- 第3回 取材 録音
- 第4回 企画構成カード、放送原稿の作成
- 第5回 制作実習(1) 構成 音声編集
- 第6回 制作実習(2) BGM、SE (効果音) 作成
- 第7回 制作実習(3) BGM、SE (効果音) 作成
- 第8回 ミックスダウン エンコード 試聴会
- 第9回 番組制作 番組企画書
- 第10回 選曲 取り込み
- 第11回 企画構成カード、放送原稿の作成
- 第12回 制作実習(1) 録音
- 第13回 制作実習(2) 構成 音声編集
- 第14回 制作実習(3) BGM、SE (効果音) 作成
- 第15回 まとめ ミックスダウン エンコード 試聴会

授業の進度は作業の進捗状況などから判断して調整することがあります。

## 評価

平常点、授業参加態度など40%、提出物の評価60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

なお、規定の提出物が出ていない場合は評価できません。

#### 授業外学習

【事前予習】日常的にラジオ番組をよく聴きこんでおくこと。もしラジオを持っていなくても手持ちのスマートフォンアプリやパソコンなどで簡単に聴取できます。

【事後学修】取材や編集など、授業のペースに合わせて適宜行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使用せず、推薦書については随時紹介する。

科目名	ことばのしくみ		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門科目で、「コミュニケーション」枠の中の選択必修科目である。統語論・意味論・形態論・語用論等の言語学の諸分野については「英語学」で、音声学・音韻論の分野については「英語音声学」「ナレーションB (英語)」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となる。英語の教職課程を履修している学生はできる限り4科目すべてを履修すること。

#### 科目の概要

対象言語としては主に英語を取り上げながら、心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方を学ぶ。

#### 学修目標 (= 到達目標)

心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方が理解できる。

#### 内容

1	言語学のめざすもの
2	言語とは何か？
3	(人間)言語の特性
4	人間言語と動物言語
5	言語の習得<心理言語学(1)>: 心理言語学のめざすもの
6	言語の習得<心理言語学(2)>: 言語習得の特徴
7	言語の習得<心理言語学(3)>: 母語の習得 (英語の自然発話資料を中心に)
8	言語の習得<心理言語学(4)>: 母語の習得 (英語の実験発話資料を中心に)
9	言語の習得<心理言語学(5)>: 母語の習得 (形態論・統語論・意味論の各モジュールの習得)
10	言語の多様性<社会言語学(1)>: 社会言語学のめざすもの
11	言語の多様性<社会言語学(2)>: 使用地域による違い
12	言語の多様性<社会言語学(3)>: 使用者の性別による違い
13	言語の多様性<社会言語学(4)>: 使用者の年齢・属する社会による違い
14	言語と脳<神経言語学>: 人間は脳のどの部分を使ってことばを発し、理解するのか
15	まとめ

#### 評価

期末試験70%、小テスト ( 毎回授業のはじめに前回授業の復習テストを行います ) 30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に配布されたハンドアウトに目を通すこと。

【事後学修】ハンドアウトと授業用フォルダに保存されたパワーポイント資料を読み、復習をすること。また、深く学びたいと思った点については推薦書・参考文献を読むこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』，郡司隆男・西垣内泰介編，研究社，2800円． 801/K

『言語研究入門』，大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編，研究社，3500円． 801/G

【参考図書】『言語学の方法』，郡司隆男・坂本勉著，岩波書店，3000円．

『言語の科学入門』，松本祐治他著，岩波書店，3400円．

『言語の獲得と喪失』，橋田浩一他著，岩波書店，3400円．

科目名	ことばと文化		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング（学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」）による参加型授業です。おすすめです。

#### 科目の概要

母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で？ どうして？ を大切に

言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。

ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考える。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。

大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいです。

#### 学修目標 (= 到達目標)

単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。

#### 内容

- 第1回 インストラクション（授業の方法と評価の仕方）
- 第2回 言語とは何？
- 第3回 日本語っていつからはじまったの？
- 第4回 言語とコミュニケーション
- 第5回 音声言語としての日本語（音声記号を書けるようにしよう！）
- 第6回 日本語音声の特徴
- 第7回 日本語方言の音声
- 第8回 音響分析と日本語
- 第9回 アクセントとイントネーション
- 第10回 方言とアクセント
- 第11回 文字の歴史
- 第12回 変体仮名を読む（古今集の恋の歌を読む）
- 第13回 表記のゆれと変化
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

#### 評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化（60%）、適宜行う課題の評価（30%）、最終テストの評価（10%）

。以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1~7ポイント（提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポ

イント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度課す)とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】1週間の日本語やコミュニケーションについての疑問や発見をまとめておく。事前教材の確認。

【事後学修】\* 毎回授業後48時間以内に まとめ(何を学べたか)&感想(質問えを含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」を提出。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	異文化理解		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 = 専門選択科目

科目の概要 = 北米 (アメリカ合衆国) の歴史や社会、文化などについて日本との比較をしながら、総合的に学びます。

学修目標 = 北米 (アメリカ合衆国) についての理解を深めるとともに、日本についてもこれまでと異なった視座で考えられるようになること。

#### 内容

北米、特にアメリカ合衆国は、現在の日本にとっては最も関わりの深い国と言えます。この演習では、この国の歴史、そこに住む人々、社会、文化、習慣など様々な側面について、日本との関係にも目を向けながら理解を深めたいと思います。

第1週 授業紹介

第2週 アメリカの歴史

第3週 人種差別、公民権運動その1

第4週 人種差別、公民権運動その2

第5週 日系アメリカ人の歴史その1

第6週 日系アメリカ人の歴史その2

第7週 銃社会アメリカその1

第8週 銃社会アメリカその2

第9週 アメリカの裁判制度

第10週 アメリカの家族

第11週 アメリカの教育制度

第12週 ハワイの歴史、自然、文化

第13週 アメリカ・ポピュラー音楽の歴史その1

第14週 アメリカ・ポピュラー音楽の歴史その2

第15週 発表、まとめ

#### 評価

授業参加 ( 20点 )、期末試験 ( 80点 ) で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】次週学ぶ内容に関して、担当教員の指示に従い、教科書の指定箇所を熟読しておくこと。

【事後学修】本時で学んだ内容に関して、担当教員の指示に従い、新聞・雑誌・Webなど教科書以外の資料を利用し理解を深めること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】池上彰著 『そうだったのかアメリカ』集英社文庫



科目名	異文化コミュニケーション		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

学科選択必修科目として、異文化コミュニケーションの特徴を学ぶ。

異なる文化的背景を持つ人と出会ったとき、私たちはうまくコミュニケーションができないと感ずることがある。それは、手段 ( 言語、非言語 ) が充分でないからなのか、それとも、考え方 ( 文化 ) が違うからなのだろうか。授業では、コミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探る。さらに、「ネット社会」の急速な発展など最近の社会の変化が、異文化コミュニケーションのあり方に及ぼしている影響についても考えてみたい。

文化の違いとは何かを理解すると同時に、自文化についても考え直すきっかけとする。

内容	
1	異文化コミュニケーション研究の歴史 ( 1 ) : 外なる異文化
2	異文化コミュニケーション研究の歴史 ( 2 ) : 内なる異文化
3	コミュニケーション : 何を伝えるか
4	コミュニケーション : どうやって伝えるか
5	異文化 : 文化とは何か
6	非言語コミュニケーション ( 1 ) ; 動作
7	非言語コミュニケーション ( 2 ) : 外見
8	言語によるコミュニケーション ( 1 ) : 言語
9	言語によるコミュニケーション ( 2 ) : 思考
10	コミュニケーション・スタイル
11	異文化理解
12	メディアと異文化
13	国際社会における異文化コミュニケーション
14	多文化世界 : 異文化の融合と共生
15	まとめ

評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】身の回りで異文化と感ずたことを記録しておく

【事後学修】授業での説明を参考に、それが異文化と感ずた理由を確認する

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】石井敏他 『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』有斐閣 2013年

【推薦書】石井敏 他 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書 1997 年 361.54/I

【参考図書】古田暁 他 『異文化コミュニケーション・キーワード 新版』有斐閣双書 2001 年

科目名	サブカルチャー論		
担当教員名	竹野 真帆		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

私たちは様々な「文化」の中にいる。たとえ同じ文化圏に属する人間であっても、それぞれ異なる文化的な背景を持っている。文化とは「価値観」が集まってできたものである。様々な文化現象(カルチャー)を理解することの意義は、文化こそが私たちの価値観を形成する素地であることによる。そしてあらゆる文化は、その萌芽期において「小さな集団によって共有されていた価値観の集まり」だったという側面を持っている。そのような文化の伝播・波及の過程を知ることは、私たちの社会の成り立ちを知ることと等しい。また、今後のこの社会においてどのような価値観が生成されていくかを考える端緒ともなる。つまり、そのような(比較的)小集団の文化(サブカルチャー)について学ぶことは、私たちの文化そのものを知るための営みである。一方、文化理解においては、基本となる二つの軸がある。一つは「ポピュラーカルチャー」- 「マスカルチャー」の軸であり、もう一つは、「ハイカルチャー・メインカルチャー」- 「サブカルチャー」の軸である。このような「構造主義的」な思考の枠組みを理解し、まずはその方法に則って、様々な文化現象を分析する手法の習得を目指す。文化理解のための第一歩として、コスプレ、漫画、インディーズ音楽、など様々なサブカルチャーに分類される文化現象の分析を通して、私たちの社会の価値観の成り立ちについて理解することを主たる目的とする。また、最近の当該分野において、たとえばTwitter上のツイートなどの大量のテキストを分析するための計算機上の手法が整備されているため、それについても講義し、実際に分析しうるレベルまでの技法を習得を目指す。

#### 内容

第1週 導入：サブカルチャーとは何か。サブカルチャーを研究する意義とは何か。

第2週 文化研究の意義とは何か

- ブルデュール『ディスタンクシオン』について
- スチュアート・ホルのカルチュラルスタディーズについて

第3週 現代のサブカルチャー(現象)およびサブカルチャー論の概観

- 新しいサブカルチャー：コスプレ、廃墟、ライフハック、など
- 伝統的サブカルチャー：オカルト、SF、インディーズ音楽、など
- 現代のサブカルチャー論による分析の紹介と批判

第4週 個別の文化現象を理解するために手法 CM分析(シーン分析を学ぶ)

第5週 C分析についての合評会(もしくは講評と各自への問題点の指摘) 1

第6週 個別の文化現象を理解するための手法 コミック分析(シーケンス分析を学ぶ)

- レヴィ＝ストロースの「スキーマ分析」について

第7週 コミック分析についての合評会(もしくは講評と各自への問題点の指摘) 1

第8週 個別の文化現象を理解するための手法 古典的民話・神話分析

- レヴィ＝ストロース、バルト、グレマス、プロップの理論について

第9週 古典的民話・神話分析についての合評会(もしくは講評と各自への問題点の指摘) 1

第10週 文化研究の意義とは何か(再論)もしくはサブカルチャーを研究する意義とは何か

第11週 サブカルチャー分析演習 ゲームの訴求構造分析手法

第12週 ゲームの訴求構造分析についての合評会(もしくは講評、各自への問題点の指摘) 1

第13週 サブカルチャー分析演習 ネット上の商品レビュー・口コミのテキスト分析

テキストマイニングとは何か / 潜在意味分析とは何か

第14週 サブカルチャー分析演習 Twitter上のツイートのオピニオンマイニング

オピニオンマイニングとは何か

第15週 分析報告書のまとめ方 / 振り返り、および「この講義の意義」再論。

1 履修学生数によって、合評会ではなく、教員による講評と指示になる場合がある。

## 評価

出席20%、レポート80%で総合して評価する。総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

日常的に「分析対象となるデータ」の観察と収集に励むこと。CMをよく見ること。文化現象を観察すること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 参考

高田明典 2010 『物語構造分析の理論と技法』 大学教育出版

その他、必要な文献については授業内で適宜、説明する予定です。

科目名	音声表現論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「話す」「聞く」は、「読む」「書く」と並んでコミュニケーションの基本である。ところが、おしゃべりは得意でも、自分の考えや思いを的確に伝えることが苦手だという人が増えている。日本語の話しことばに着目し、理論と実践で音声表現の基礎を学ぶ。

#### 科目の概要

毎回声を出して日本語の「話す」「読む」という音声表現技術を磨く。また、「聞く」行為を中心に、教育・医療・介護の場でのコミュニケーションについて考察する。日本語を大切にしつつ言葉によって人と関わることの素晴らしさを伝えたい。課外授業を行うこともあり、クラスメートの前で発表する機会も多い。自分の音声表現を磨きたいという強い気持ちのある皆さんの、積極的な参加を希望する。

#### 学修目標 (=到達目標)

どんな社会にいても大切な「パブリック・スピーキング」の能力を高める。また、のびのびと自己表現できるように敬語の基本を身につける。

#### 内容

1	日本語の音声表現について基礎を学ぶ
2	わかりやすく「話す」「伝える」
3	タイトルをつけてスピーチする
4	スピーチの検討
5	現代の敬語 間違いやすい敬語
6	現代の敬語 「敬語の指針」で基本を学ぶ
7	現代の敬語 敬語とコミュニケーションについて
8	「子どもとことば」について考察する
9	教育の場でのコミュニケーションについて
10	「聞く」「聴く」「訊く」それぞれの違いとポイント
11	医療・福祉の場でのコミュニケーションについて
12	インタビューと報告
13	インタビューのポイント
14	パブリックスピーキングで「伝える」
15	まとめ

#### 評価

課題作成(30%) 口頭発表や実習(50%) クラスへの貢献度(20%) などから判断し、総合評価60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】授業のテーマについて準備や予習をする

【事後学修】ほぼ毎回出される課題に取り組む

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】教科書は使わない。

【推薦書】『新版NHKアナウンスセミナー』(NHK出版)

【参考図書】授業中に紹介する。

科目名	音声表現論		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

「話す」「聞く」は、「読む」「書く」と並んでコミュニケーションの基本である。ところが、おしゃべりは得意でも、自分の考えや思いを的確に伝えることが苦手だという人が増えている。日本語の話しことばに着目し、理論と実践で音声表現の基礎を学ぶ。

#### 科目の概要

毎回声を出して日本語の「話す」「読む」という音声表現技術を磨く。また、「聞く」行為を中心に、教育・医療・介護の場でのコミュニケーションについて考察する。日本語を大切にしつつ言葉によって人と関わることの素晴らしさを伝えたい。課外授業を行うこともあり、クラスメートの前で発表する機会も多い。自分の音声表現を磨きたいという強い気持ちのある皆さんの、積極的な参加を希望する。

#### 学修目標 (=到達目標)

どんな社会にいても大切な「パブリック・スピーキング」の能力を高める。また、のびのびと自己表現できるように敬語の基本を身につける。

#### 内容

1	日本語の音声表現について基礎を学ぶ
2	わかりやすく「話す」「伝える」
3	タイトルをつけてスピーチする
4	スピーチの検討
5	現代の敬語 間違いやすい敬語
6	現代の敬語 「敬語の指針」で基本を学ぶ
7	現代の敬語 敬語とコミュニケーションについて
8	「子どもとことば」について考察する
9	教育の場でのコミュニケーションについて
10	「聞く」「聴く」「訊く」それぞれの違いとポイント
11	医療・福祉の場でのコミュニケーションについて
12	インタビューと報告
13	インタビューのポイント
14	パブリックスピーキングで「伝える」
15	まとめ

#### 評価

課題作成(30%) 口頭発表や実習(50%) クラスへの貢献度(20%) などから判断し、総合評価60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】授業のテーマについて準備や予習をする

【事後学修】ほぼ毎回出される課題に取り組む

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】教科書は使わない。

【推薦書】『新版NHKアナウンスセミナー』(NHK出版)

【参考図書】授業中に紹介する。



科目名	ことばと社会		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日本語の面白さを知る！

この授業は、アクティブラーニング（学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」）による参加型授業です。おすすめです。

#### 科目の概要

母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で？ どうして？ を大切に

言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。

ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考える。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。

大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいです。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。

#### 内容

- 第1回 インストラクション（授業の方法と評価の仕方）
- 第2回 流行語・ことばの変化
- 第3回 正しいことば・間違ったことば
- 第4回 語彙1
- 第5回 語彙2
- 第6回 敬語・待遇表現
- 第7回 ことばのスタイル
- 第8回 ことばを調べる1
- 第9回 ことばを調べる2
- 第10回 ことばを調べる3
- 第11回 ワークセッション1
- 第12回 ワークセッション2
- 第13回 外国語と日本語
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

#### 評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化（60%）、適宜行う課題の評価（30%）、最終テストの評価（10%）

。 以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1～7ポイント（提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1～3

ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度課す)とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】1週間の日本語やコミュニケーションについての疑問や発見をまとめておく。事前教材の確認。

【事後学修】\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問えを含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」を提出。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に説明します。

科目名	情報とデザイン		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門科目である。主に情報をデザインする思考力を養う。

#### 科目の概要

情報デザインの誕生から背景、情報化がもたらしたものの、アフォーダンス、Webアクセシビリティ、新たな情報媒体としてのソーシャルメディアなどを中心に、主にインフォグラフィックスを中心に膨大な情報を整理し正確に伝える方法やコミュニケーションとデザインの関わりを学習する。同時にソーシャルメディアとメディアリテラシーとの関係や影響などについても理解を深める。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・情報化がもたらした歴史を理解
- ・新たな情報媒体としてのソーシャルメディアなどの理解
- ・インフォグラフィックスを中心とした情報を整理し正確に伝える方法の理解
- ・コミュニケーションとデザインの関わりを理解

#### 内容

進行具合により内容を変更する場合があります。

1	イントロダクション
2	情報デザインとは何か？
3	情報デザインの歴史
4	情報デザインの活用
5	社会と情報デザイン
6	組織と情報デザイン
7	情報デザインプロセス
8	情報デザインプロセス
9	ユーザ調査のための
10	ユーザ調査のための
11	コンセプトのための手法
12	コンセプトのための手法
13	視覚化のための手法
14	視覚化のための手法
15	まとめ

#### 評価

リアクションペーパー（15%）、課題レポート（40%）、GW（30%）、授業参加度（15%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】事前資料が必要な場合は準備しておく

【事後学修】課題がある場合は期限内に提出

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業内で提示予定

【推薦書】授業内で提示予定

【参考図書】授業内で提示予定

科目名	舞台表現A（日本）		
担当教員名	藤澤 茜		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

人々を魅了する演劇はどのように誕生し、継承されてきたのでしょうか。この問題を解明することは、日本の文化、風土、宗教観、国民性などを理解し、私たちのルーツを探ることにもなります。この授業では、能や狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃などの伝統芸能を取り上げ、現代の演劇にどう継承されているかを明らかにし、外国の演劇との比較により日本の演劇の独自性についても検証します。

特に注目するのは歌舞伎です。現代のメディアと同様に社会現象を敏感に反映し、小説や浮世絵、落語等に影響を与えた歌舞伎の検証は、大衆演劇の意義や鑑賞者が演劇に求めた要素の解明の手がかりになります。また神の祭りを起源とするため、信仰と演劇という不可分の問題も検討できると考えます。

#### 科目の概要

能や人形浄瑠璃、海外の演劇との比較を交え歌舞伎の本質を明らかにします。宝塚、ミュージカル、現代の舞台芸術、アニメーションも取り上げエンターテインメントとしての演劇のあり方を検証します。

#### 学修目標（＝到達目標）

- (1)日本の伝統芸能や演劇、世界の演劇についての基礎知識を学びます。文献調査などのレクチャーを経て、特に興味を持った演劇については各自が検証し、レポートとして提出します。
- (2)絵画資料を通じて歌舞伎の本質を探ります。浮世絵を持参する機会を設け絵画の造詣も深めます。
- (3)ビデオ観賞を通じて役者の演技、演出、舞台装置等の細かな部分に関しても理解を深めます。

内容	
1	ガイダンス・日本の伝統芸能の流れ
2	能・狂言の歴史と魅力
3	能から歌舞伎へ 「石橋」と「連獅子」
4	歌舞伎の舞台構造を知る～絵画資料による検証・現代のコクーン歌舞伎まで～
5	市川團十郎と江戸の信仰
6	歌舞伎と人形浄瑠璃 「義経千本桜」の狐忠信
7	歌舞伎と話芸 「仮名手本忠臣蔵」と落語
8	歌舞伎と広告 「外郎売」「助六由縁江戸桜」など
9	歌舞伎の海外公演 パリオペラ座公演・平成中村座ニューヨーク公演
10	歌舞伎と海外の演劇（1）京劇（中国）・パンソリ（韓国）等アジアの芸能
11	歌舞伎と海外の演劇（2）シェイクスピアと蜷川幸雄
12	海外の演劇 「ロミオとジュリエット」・ミュージカル「ウエストサイド物語」
13	現代の演劇 宝塚「ベルサイユのばら」に見る華麗な舞台
14	現代のアニメーション 「千と千尋の神隠し」「かぐや姫の物語」と日本文化
15	まとめ 伝統芸能の舞台と現代舞台芸術の比較

## 評価

毎時間の授業に関するコメント提出と、学期末にレポート提出を課します。配点の比率は、授業時のコメント30%、レポート70%とし、総合評価60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】次の授業で取り上げる演劇や具体的な演目について、辞書等で各自調べておくこと。特に歌舞伎の演目については、授業内で詳細にあらすじを述べる時間がとれないこともあるので、必ず事前に予習しておくこと。予習の際に有用な文献については、授業中に指示します。

【事後学修】授業内容の不明な点は、次回の授業で質問するかコメント用紙に質問を記載して下さい。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】なし

【推薦書】開講後に指示。授業時には毎回プリントを配布します。

【参考図書】渡辺保著『江戸演劇史（上下）』講談社、2009年

科目名	舞台表現 B (欧米)		
担当教員名	奈須 麻里子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、メディアコミュニケーション学科の選択必修科目である。本科目では、英語圏の演劇を扱い、歴史的、文化的背景と照らし合わせながら、個々の作品の社会的位置付けを概観する。

#### 科目の概要

本科目では、英米の演劇史の流れを概観しながら、代表的な作品をいくつか取り上げる。具体的な作品読解を通して作品ひとつひとつの魅力を味わいながら、作品とその舞台となる時代や、社会的、文化的背景について理解を深める。

#### 学修目標 (= 到達目標)

1. 英語圏の演劇についての基礎的な知識を身につける。
2. 授業で扱った主要な作品を歴史的、文化的背景と関連付けて解釈する。
3. できるだけ多くの演劇作品や理論に触れ、社会における演劇の位置付けを多角的に考察する。

#### 内容

- 第1回：イントロダクション ( 授業の目標、進め方、注意事項等を説明 )
- 第2回： エリザベス朝演劇：William Shakespeare
- 第3回： エリザベス朝演劇：William Shakespeare
- 第4回： エリザベス朝演劇：William Shakespeare
- 第5回：エリザベス朝演劇： William Shakespeare
- 第6回： 18世紀のイギリス演劇：John Gay
- 第7回： 18世紀のイギリス演劇：John Gay
- 第8回： 19世紀のイギリス演劇：Oscar Wilde、George Bernard Shaw
- 第9回： 19世紀のイギリス演劇：Oscar Wilde、George Bernard Shaw
- 第10回：20世紀のイギリス演劇：Noel Coward
- 第11回： 20世紀のイギリス演劇：Noel Coward
- 第12回：20世紀のアメリカ演劇：Edward Albee
- 第13回： 20世紀のアメリカ演劇：Edward Albee
- 第14回： ミュージカル
- 第15回：まとめ

\* 予定は変更されることがあります。

#### 評価

期末試験50%（持ち込み可）、各回のレスポンスペーパー25%、平常点25%（授業への参加姿勢、課題など）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】指定の作家について調べる。

【事後学修】授業の考察をまとめる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に適宜プリントを配布する。

【参考図書】授業中に適宜指示する。



科目名	文化と文学A（日本文学）		
担当教員名	赤間 恵都子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

日本文学の名作として『源氏物語』を取り上げます。千年前に成立した『源氏物語』は世界文学史上の傑作でもあり、後世の文学芸術に多大な影響を与えました。この作品は、文芸文化のあらゆる学びの世界と結びつく可能性のある作品です。

『源氏物語』の全体構成を把握したうえで、物語の概要を辿り、時には原文を音読し表現を味わいながら読んでいきます。時々、漫画資料や映像などの現代メディアも利用しつつ授業を展開します。

『源氏物語』全巻読破は難しくても、この授業を通して大体の内容を捉えることは可能です。まずは作品の内容を正しく知ること、そして、登場人物たちの生き方や考え方を知り、作者紫式部の思いをとらえて受講生それぞれの人生観を見つめ直す契機にしてくれることを願います。

#### 内容

使用するテキストは、物語中のいくつかの場面をピックアップしながら全体の概要がわかる形になっており、半期の授業では、光源氏の一生について扱います。これは、物語全体の3分の2にあたります。以下、物語の筋に沿って、各時間の授業内容を書いておきます。

- 1 ガイダンス・作者について    2 作品の概要    3 物語の始まり（桐壺巻）  
4 光源氏誕生（桐壺巻）    5 雨夜の品定め・空蝉（帚木巻）    6 中流女性との恋（夕顔巻）  
7 紫の君発見（若紫巻）    8 車争い（葵巻）    9 生霊出現（葵巻）  
10 須磨退去（須磨・明石巻）    11 六条院の栄華（初音巻）    12 女三宮降嫁（若菜巻）  
13 柏木の悲恋（柏木巻）    14 紫の上の死（御法・幻巻）    15 まとめ

#### 評価

毎回の授業でリアクションペーパーを、授業の途中でレポートを課します。  
リアクションペーパーを含む平常点40点、レポート60点で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

- 【事前予習】テキストで、物語の概要や現代語訳をあらかじめ読んでおく。  
【事後学修】授業で十分に読めなかったテキストの内容を自分で読み直し、また疑問点を調べておく。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【テキスト】ビギナーズクラシックス日本の古典『源氏物語』角川書店編  
【参考図書】『源氏物語』の参考文献はとてたくさんあるので、授業で適宜紹介します。

科目名	文化と文学B（英米文学の流れ）		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

英米の歴史を背景に両国の文学の流れを概観し、それぞれの時代の特徴と文学の関わりを、小説を中心にしながらいくつかの項目に絞って概説します。そして文学作品を単なる知識として歴史の中に位置付けるのではなく、各時代の潮流の中で作品が人間の生の営みをどのような形で反映し、また新しい時代をどのように切り拓いていったのかを探ってみます。とくに小説は結果が重要なのではなく、結末に至るまでの過程を味読しながら思索すべきものです。その意味からもこの講義が聞きっぱなしに終わらないで、実際に作品に当たってその面白さを直に味わいながら、さまざまな人間像についての理解を深める契機になることを望みます。そのために原則として邦訳のある作品で話を進め、また名場面をビデオで鑑賞したりして、作品を身近なものにします。

#### 内容

##### 《英文学》

- (1) 英米の歴史の流れおよび英語の特徴
- (2) 欽定英訳聖書と英文学
- (3) エリザベス朝演劇とシェイクスピア（人間の発見）
- (4) 18世紀・・・小説の始まり（写実と諷刺の精神）
- (5) ゴシックロマンスとジェーン・オースティン（非日常と日常）
- (6) ローマン派詩人（感情の解放）
- (7) ヴィクトリア朝の小説（ディケンズとブロンテ姉妹）
- (8) イギリス児童文学（ルイス・キャロルとベアトリックス・ポター）
- (9) 世紀末文学（審美主義）
- (10) 20世紀「意識の流れ」の小説（ジョイスとウルフ）
- (11) 生命の哲学（ロレンスとフォースター）

##### 《米文学》

- (12) 19世紀のピューリタニズムと小説（ホーソンとメルヴィル）
- (13) 20世紀初頭の自然主義文学（アメリカの悲劇）
- (14) 20年代の「失われた世代」（虚無と退廃の戦後文学）
- (15) 30年代の社会主義文学とその後（現代文明批判）

#### 評価

課題レポート50点、授業への参加状況50点の割合で評価をし、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】次回のテーマについてネット等を使い出来る範囲で調べ来て、それを一口感想の用紙に書いてもらいます。

【事後学修】授業で扱った内容について短い質問を出しますので、その返答を考えて来るようにします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

毎回、プリントを配布します。

参考書については授業時に適宜紹介します。

科目名	文化と文学C（英米小説と女性）		
担当教員名	島村 豊博		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

近代英米小説に見る女性像の変遷についての理解を深め、それぞれの時代に新しいタイプの人間像が誕生する経緯を捉えながら、その今日的な意味を検討する。

19、20世紀の英米小説に登場するヒロインだけでなく重要な役割を演ずる脇役の女性も取りあげて、女性としてのさまざまな生き様、有りようを、時代背景と照らし合わせながら、時代を牽引する新しい生き方のできる女性、逆に旧弊に囚われた遅れた生き方しかできない女性に焦点をしばって、具体的な場面設定の中で捉える。 その結果として人間の多様な生き様を実感しながら、今日に生きる英知をさぐる。

#### 内容

毎週、19、20世紀の英米小説を一作ずつ取り上げ、ストーリーの流れの中で女性の生き方を検討する。象徴的ないしは劇的な場面を映像で印象付けるようにする。

#### 授業計画

- 第1回： ガイダンス
- 第2回： ジェーン・オースティン『高慢と偏見』
- 第3回： シャーロット・ブロンテ『ジェーン・エア』
- 第4回： ウィリアム・メイクピース・サッカレー『虚栄の市』
- 第5回： チャールズ・ディケンズ『デイヴィッド・コパフィールド』
- 第6回： ナサニエル・ホーソン『緋文字』
- 第7回： ジョージ・エリオット『ミドルマーチ』
- 第8回： ヘンリー・ジェイムズ『ある婦人の肖像』
- 第9回： トマス・ハーディ『テス』
- 第10回： E・M・フォスター『ハワーズ・エンド』
- 第11回： D・H・ロレンス『息子と恋人』
- 第12回： D・H・ロレンス『チャタレー夫人の恋人』
- 第13回： ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』
- 第14回： マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』
- 第15回： マーガレット・ドラブル『礪白』

#### 評価

課題レポート50点、授業への参加状況50点の割合で評価をし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】次回のテーマについてネット等を使い出来る範囲で調べ来て、それを一口感想の用紙に書いてもらう。

【事後学修】授業で扱った内容について短い質問を出しますので、その返答を考えて来る。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキスト

毎回、プリントを配布する。

参考書・参考資料等

授業時に適宜紹介する。

科目名	文化と文学D（児童文学）		
担当教員名	奈須 麻里子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修* , 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

この科目は、人間生活学部メディアコミュニケーション学科の選択科目である。イギリスで書かれた作品を中心に、英語圏の児童文学を歴史的、文化的背景と照らし合わせながら概観する。

#### 科目の概要

イギリスを中心に、英語圏で書かれた児童文学を時系列に扱う。主要な作品を中心に、歴史的、文化的背景を踏まえて大まかに読解し、英語圏における児童文学の発展のプロセスや社会における個々の作品の位置付けについて考察する。

#### 学修目標（＝到達目標）

- 1．児童文学についての基礎的な知識を身につける。
- 2．主要な作品を歴史的、文化的背景と関連付けて解釈する。
- 3．できるだけ多くの児童文学作品と理論に触れ、個々の作品と英語圏の文化への理解を深める。

#### 内容

- 第1回：イントロダクション（授業の目標、進め方、注意事項等を説明）
- 第2回： 児童文学とは何か：英語圏児童文学史の流れと子ども像について
- 第3回：ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』
- 第4回：イーディス・ネズビット『砂の妖精』
- 第5回：ベアトリクス・ポター『ピーター・ラビットのおはなし』
- 第6回：フランシス・ホジソン・パーネット『秘密の花園』
- 第7回：A．A．ミルン『くまのプーさん』
- 第8回： 前半のまとめ
- 第9回： パメラ・トラヴァース『風にのってきたメアリー・ポピンズ』
- 第10回： J.R.R.トールキン『ホビットの冒険』
- 第11回： メアリー・ノートン『床下の小人たち』
- 第12回： フィリッパ・ピアス『トムは真夜中の庭で』
- 第13回： C．S．ルイス『ナルニア国ものがたり』
- 第14回： 後半のまとめ
- 第15回： 総まとめ

\* 予定は変更されることがあります

#### 評価

期末試験50%（持ち込み可）、各回のレスポンスペーパー25%、平常点25%（授業への参加姿勢、課題など）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】指定された作品を読み、作家について調べる。

【事後学修】授業後の考察をまとめる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に適宜プリントを配布する。

【参考図書】授業内で指示する。

科目名	文章表現（発展）		
担当教員名	大西 正行、石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

実際の新聞紙面を企画・執筆・レイアウトするリアリズムにあふれた制作プロセスを通し、対外的な取材を積極的に行う中で、メディアリテラシーと「文章力・編集力」を身に付ける。

#### 科目の概要

文章に見出しや写真を組み合わせることにより一覽性の紙面を作り上げる構成力を養う。取材対象（埼玉のメディア企業等）別にチーム編成し、「協働」作業の大切さを理解。全体の作業の流れを視野に置きニュースの価値判断力も養う。

#### 学修の目標

実際に即した企画力・取材力・編集力・文章力の陶冶によって、プレゼン能力・筆力を含めたコミュニケーション能力、洞察力を養う。受講学生のメディア業界をはじめとした就職力・就業力アップにも繋がる授業を展開し、DTP編集に対する認識も深める。

#### 内容

A2版4ページを基本ツールとして、埼玉県メディア企業を中心として首都圏の地域メディアの取り組みを取材し、成果物として「十文字メディアニュース冬季号」（仮称）を受講者全員で作りに上げる。執筆取材対象として埼玉新聞社、テレビ埼玉、FM NACK5、ジェイコムさいたまなどが考えられる。広告取材班のほか、広報取材班も必要に応じて設ける。冬季号では夏季号との連続性を意識しつつさらに守備範囲を広げる（履修の人数を制限します）。

本学の学生が埼玉はもとより、東京、千葉・神奈川等からも通学していることも併せ、埼玉を軸とし地域メディアにこだわりつつ、視野を広げて取材にあたる。

学生はメディアの第一線で活躍する人たちに会い、緊張感がみなぎる仕事の現場でインタビュー。リアルな環境の中で「社会で通用する文章力」と「コミュニケーション力」を磨き、就職就業に大い役立つ「取材・執筆（写真撮影も）」の醍醐味と、皆の英知と感性を頼りに多くの人に読んでもらえる完成物を作り上げた達成感を味わえるまたとない機会を得ることになる。

ここでは、通常授業の座学にとどまらず、キャンパスの外での取材（交通費支給）も一時的に求められるため、スケジュールを守って成果物を出す実践的な授業であることを認識したうえで受講してほしい。

#### 評価

「授業に対する意欲・関心・態度」70点、「課題等執筆制作」30点で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】インタビュー前の下調べ等を行う。

【事後学修】取材を踏まえテーマを掘り下げさせる。



教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：『新聞用字用語集（記者ハンドブック）』（共同通信社）

科目名	文章表現（発展）		
担当教員名	玉井 朋		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目ではエッセイや詩、小説など多様な文章形態の基礎を学び、文章表現に必要な知識と技術を養うことを目的とします。さらに国内外の文芸作品の読解を通じて、様々な価値観と世界観を理解し、視野と思考を広げることを目的とします。

創作を構造的に理解する一環として、物語について学びます。物語の成立に必要な要素を知ること、小説読解への思考を深めることを目指します。

これらを踏まえて、自分の考えを発信する方法の文章表現として、創作に必要な主題・構成についても学びます。さらに自分の選んだ文章形態で創作し、冊子としてまとめることを発展的目標とします。

科目の概要

創作することを念頭に様々なタイプの文章を読み、対象、内容、構成の違いを学びます。エッセイでは表記の基礎、テーマと構成（3, 4, 5）、詩では言葉の表現力（6）、小説では物語をベースに個々の作品読解を通じて構成、テーマ、描写（7, 8, 9, 10, 11）への理解を深めます。

学修目標（=到達目標）

多様な文章形態の構造を理解し、言葉による表現の特性を学びます。

物語の文法を理解し、創作に必要な構造的理解を深めます。

講義のアウトプットとして、創作作品を冊子にすることを目指します。

内容

1	ガイダンス	言葉による表現について
2	観察と写生	文章を書く
3	エッセイ	表記の基礎
4	エッセイ	テーマと構成
5	エッセイ	文体とエピソード
6	詩	イメージを言葉にする
7	小説	創作について
8	小説	構成を理解する
9	小説	テーマと材料
10	小説	関係性の描写と情景描写
11	小説	内面の描写
12	書評	客観性について
13	創作の構想	
14	演習	
15	まとめ	

## 評価

各回の授業取り組みと課題提出などで60点、演習で40点とし、総合評価60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】授業で取り上げる作品または関連する事項（作家や同じ文章形態の作品など）に当たってください。

【事後学修】授業および配布された資料を基に、興味関心を持った点（作品や作家、同時代の事象など）についてにアプローチをしてください。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特定せず、授業内でレジюмеおよび資料を配布します。

【推薦書】授業内で適宜紹介していきます。

【参考図書】授業内で適宜紹介していきます。

科目名	人間関係の心理学		
担当教員名	山下 倫実		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

対人魅力領域の話を軸として、その観点から人間関係について考える。よって社会心理学概論の知識が基礎となり、またコミュニケーションの心理学、対人社会心理学とも密接な関連を持つ。

われわれは人を好きになったり嫌いになったりする。人に対して好意を感じることは人間関係を成立させるきっかけとなり、さらにその関係を親密な関係へと進めていく力を持つ。この、人を好きとか嫌いとか感じることを社会心理学では「対人魅力」と呼び、それにまつわる多くの研究がこれまで行われてきている。この対人魅力は対人関係進展のために欠かせない要素である。本講義では、対人魅力を中心とした人間関係に関わる社会心理学的な実証研究について、その方法、実験結果などを詳しく解説し、その知見に基づき人間関係の形成、進展について解説をする。

対人関係領域の知識を身につけると共に、多彩な研究例から研究の考え方ややり方などの方法論についても理解を深め、受講生自身の問題意識の明確化に活かして欲しい。また受講を通して、日常生活においてよりよい人間関係をつくるためにどのようなことが重要であるかを考えるきっかけにもなるとよい。

内容	
1	ガイダンス：対人魅力とは何か
2	好意をどのようにして測定する？
3	側にいる人を好きになる？好きな人の側にいたい！
4	美しい人を好きになる！美しい人に幻滅する！
5	美しく装って魅力を高める - 被服・化粧と対人魅力 -
6	人の心をひきつける性格
7	自分と似た態度を持つ人を好きになる！
8	能力が高い人は本当に好かれる？
9	中間テスト
10	魅力を高める自己開示・自己呈示
11	傷ついた時に側にいてくれる人を好きになる？
12	相手から好かれることの効果
13	環境条件と魅力の関連
14	対人関係の親密化～魅力が力を発揮する時
15	対人関係の進展と崩壊

#### 評価

期末テスト70点+中間テスト30点により評価を行い、60点以上を合格とする。出席については、2/3以上の出席が必要。満たさない場合には、単位は取得できない。

## 授業外学習

【事前予習】次の授業のキーワードについて自分で調べて予習してくる

【事後学修】学習内容についてノートを整理し復習する

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定しない。必要に応じて資料を配付する。

科目名	グループダイナミクス		
担当教員名	風間 文明		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

メディアコミュニケーション学科の選択専門科目である。社会心理学の中の集団に関する研究領域を取り上げる。よって社会心理学概論の知識を基礎とする。また他の社会心理学領域の科目とも関連があり、特に産業・組織心理学との関連は密接である。

グループ・ダイナミクスとは、集団およびその成員の行動に関する一般的法則を明らかにしようとする社会科学の1分野で、心理学では主に社会心理学においてその領域の研究が行われている。具体的には、集団の形成過程、集団内の地位・役割分化、集団規範への同調と逸脱、集団での意志決定、集団の生産性、リーダーシップなどの諸問題を研究対象とする。この授業では、グループ・ダイナミクスに関する様々な領域の研究知見について日常的な集団経験と照らし合わせながら、わかりやすく解説する。

集団研究の方法、知識を身につけると共に、集団における人間の心理について理解を深め、教育組織、企業組織など実際の集団や組織にいかに応用できるかという実践的な観点も持てるようになることを目標とする。

#### 内容

グループ・ダイナミクスの主要な研究領域について講義形式で解説する。また講義内容と関連のある模擬的実験や心理尺度なども実施する予定である。以下の内容を予定。

- (1) 集団とは何か
- (2) 集団の形成過程
- (3) 集団の構造
- (4) 集団規範
- (5) リーダーシップ
- (6) 集団意思決定
- (7) 集団と個人
- (8) まとめ

#### 評価

期末テスト80点+授業内の課題20点により評価を行い、60点以上を合格とする

#### 授業外学習

- 【事前予習】次に取り上げる内容について書籍、検索などを使って自分で調べてくる
- 【事後学修】学習内容についてノートを整理し、復習する

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】指定しない。必要に応じて資料を配付する。

科目名	創作表現		
担当教員名	玉井 朋		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目ではエッセイや詩、小説など文芸作品に触れることで文章の基礎を学びます。文章形態に応じて、構成、内容の違いを学び、表現する際に最も適した言葉の表現形式について考えます。

さらに文学作品の読解を通じて、視野と思考を広げることを発展的目標とします。国内外の文学作品に触れることで、多様な価値観と世界観を学びます。

文学作品読解の一環として、作品の内容や構成に関する意見を交換しあうグループワークを行います。適宜、文章を書く課題を通じて、基礎的な項目をふまえた言葉によるコミュニケーション能力の向上を目的とします。

#### 科目の概要

様々なタイプの文章を読み、対象、内容、構成の違いを学びます。エッセイでは表記の基礎、テーマの選択、エピソードの構成 ( 3 , 4 , 5 , 6 )、詩では言葉の表現力 ( 7 , 8 )、小説では創作の構成 ( 9 , 10 , 11 , 12 ) を学びます。グループワークを通じて様々なアプローチについて学びます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

文芸作品に親しみ、様々な価値観や世界観を学びます。

文章の基礎的な知識を踏まえて、課題を通じて「表現する力」を養います。

他者との意見交換によって、異なる考え方を共有し、視野を広げることを目的とします。

## 内容

1	ガイダンス	言葉の表現形態について
2	自己紹介文	文章を書いている
3	エッセイ	文章表現の基礎
4	エッセイ	テーマと構成
5	エッセイ	材料の組み立て方
6	エッセイ	文体とエピソード
7	詩	イメージを言葉にする
8	詩	情景描写と表現力
9	小説	創作について
10	小説	出来事を描く
11	小説	関係を描く
12	小説	心情を描く
13	書評	読書体験の役割
14	演習	

## 評価

各回の授業取り組みと課題提出などで60点、演習で40点とし、総合評価60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】授業で取り上げる作品または関連する事項（作家や同じ文章形態の作品など）に当たってください。

【事後学修】授業内および配布された資料を基に、興味関心を持った点（作品や作家、同時代の事象など）についてアプローチをしてください。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特定せず、授業内でレジユメ及び資料を配布します。

【推薦書】授業内で適宜紹介していきます。

【参考図書】授業内で適宜紹介していきます。



科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目コミュニケーション科目群の科目である。コンピュータグラフィックスの知識を身につける。

#### 科目の概要

コンピュータグラフィックスに関する基礎的な事項を学習する。検定のテキストおよび問題を利用し、問題演習をこなしながら、知識の定着を図る。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

デジタル画像のしくみと特性がわかる

3次元グラフィックスの考え方が理解できる

3次元での質感の表現，構図の取り方，ライトの設定について理解できる

デジタルデータの特徴や情報モラルがわかる

内容	
1	コンピュータグラフィックス (CG) の歴史と利用のされかた
2	遠近法 / 動きの表現
3	2次元CGの基礎：デジタル画像のしくみ
4	写真撮影
5	写真のレタッチ
6	3次元CGの制作：モデリング
7	マテリアル
8	アニメーション
9	カメラワーク
10	ライティング
11	レンダリング手法
12	合成
13	知的財産権
14	画像，文書，音楽などのファイル形式
15	まとめ

#### 評価

毎時間の提出物70%，授業の参加度を30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】テキストを読み不明な点をチェックしておく

【事後学修】問題演習で間違えたものについてもう一度テキストを参照して復習しておく

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】入門CGデザイン,CG-ARTS協会

【推薦書】CGクリエイター検定公式問題集,CG-ARTS協会

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽（音声）コンテンツを作り、発信するというのがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase（キューベース）ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）の世界を体験的に学習します。

科目の概要...1.DTM（デスクトップ・ミュージック）＝コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2.このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標（＝到達目標）...1.MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習2.MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習  
3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。  
4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

#### 評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽（音声）コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではDTMソフトの定番、Cubase（キューベース）ファミリーの入門版であるCubase Elements 6を導入し、最新のDAW（デジタル・オーディオ・ワークステーション）の世界を体験的に学習します。

科目の概要...1.DTM（デスクトップ・ミュージック）＝コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。2.このコンピュータミュージック ではMIDIという規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作という手順でDTMの基礎を身につける。

学修目標（＝到達目標）...1.MIDI制作 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI 入力をつかった音楽制作の実習2.MIDI入力したデータをオーディオに変換。オーディオミックスダウンの実習  
3.オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。  
4.MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品制作

#### 内容

- 第1回 ガイダンス スタートアップ
- 第2回 新規プロジェクトの作成 プロジェクトおよびファイルの管理
- 第3回 コピーとペースト 削除と「元に戻す」
- 第4回 基本的操作の確認 テンポと拍子の設定 トランスポーズ
- 第5回 ドラムセットの入力
- 第6回 スコア課題(1)MIDI入力
- 第7回 スコア課題(2)MIDI入力
- 第8回 スコア課題(3)MIDI入力 強弱表現について
- 第9回 MIDIデータのオーディオ化 ミックスダウン
- 第10回 オーディオループ素材を活用したトラック制作
- 第11回 創作課題(1)MIDI入力
- 第12回 創作課題(2)MIDI入力 リズムトラック制作
- 第13回 創作課題(3)メロディパートの創作
- 第14回 ミックスダウン オーディオCD作成 試聴
- 第15回 まとめ

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

#### 評価

提出作品の評価40% 授業への参加度60%..... とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業用サイトの該当箇所を読み、用語などについて下調べをする。

【事後学修】課題のMIDI入力など、授業外の時間を活用して仕上げる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず、授業用に設けられたサイトを活用する。

【推薦書】Cubase6 Series 徹底操作ガイド (THE BEST REFERENCE BOOKS EXTREME) 藤本健 著 リットーミュージック

【参考図書】随時紹介

科目名	アニメーション制作		
担当教員名	仁藤 潤		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、短編アニメーション制作に関心のある学生向けの内容である。

#### 科目の概要

「プロット 絵コンテ 動画制作 ポスプロ ( 編集、サウンドデザイン ) 上映」という映像制作のプロセスを学んでいく。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

- ・短編アニメーション制作を1人で行えるようになる。

#### 内容

1	ガイダンス コンテについて
2	アニメーション基礎 グループ分け デジタル撮影基礎
3	制作 1
4	制作 2
5	制作 3
6	短編作品 発表会
7	最終課題 プロット作成
8	最終課題 コンテ作成
9	最終課題 コンテ作成
10	最終課題 制作 1
11	最終課題 制作 2
12	最終課題 中間発表会
13	最終課題 制作 3
14	最終課題 制作 4
15	最終課題 発表会 まとめ

#### 評価

課題点 : 80% 授業に対する意欲・関心・態度 : 20%

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】デジタル一眼レフカメラの操作に慣れておくことが望ましい。

Adobe Premiere Pro等の映像編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

サウンド編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

【事後学修】課題（プロット・コンテ作成）、作品制作をコツコツと計画的に進める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】授業時に指示する。

【参考図書】アニメーションの本 動く絵を描く基礎知識と作画の実際



科目名	ナレーションA（日本語）		
担当教員名	好本 恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

「朗読」は声で作品の内容を聞き手に伝える表現行為である。ナレーションや朗読の実践講座の中で、日本の文学や文芸を鑑賞する力を養う。

#### 科目の概要

文章は声に出して読むことによって、その内容をより深く理解できる。さらに、作者の呼吸や作品の奥深さに気づくこともある。日本語の音声表現の基礎を学びながら、様々な作品を読み、画面に合わせてのナレーションも体験する。授業は演習形式で行われ、外部講師を招くこともある。また下読みなどの予習も必要となるので、意欲のある学生の参加を希望する。

#### 学修目標

作品を深く理解し、声で伝える能力を身につける。さらに、日本語への関心を高め、ことばに対する感性を磨く。

#### 内容

1	「朗読」の基礎と魅力
2	伝わる読みのポイント
3	画面にあわせたナレーション
4	画面にあわせたナレーション
5	小説を朗読する
6	小説を朗読する
7	絵本の読み聞かせ
8	昔話の魅力
9	詩の朗読
10	調べを大切に古典作品を読む
11	調べを大切に古典作品を読む
12	間を生かして短歌や俳句を読む
13	音声表現の専門家に学ぶ
14	朗読発表
15	まとめ

#### 評価

日頃の授業への参加意欲・下調べや下読みが十分か（50%）発表の成績（50%）を総合して評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】その日の教材を熟読し、声に出して下読みする。

【事後学修】学んだことを発展させ、課題に取りくむ。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使わない。プリントを事前に配布する。

【参考図書】半谷進彦・佐々木端著『基礎から学ぶアナウンス』（NHK出版）  
河合隼雄・阪田寛夫・谷川俊太郎・池田直樹『声の力』（岩波書店）  
など、授業中に紹介する。

科目名	ナレーションB（英語）		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

メディアコミュニケーション学科の専門科目のコミュニケーション選択科目。話しことばに関心のある人や英語の発音をよくしたい方のほか、英語の教職課程を履修している学生にも履修をお勧めします。なお、ランゲージスキル選択科目の「英語音声学」では、この科目よりも時間の短い個々の音（母音・子音・半母音）を詳しくみます。

英語の自然なリズム・イントネーションは、子供か勘のいい人しか身につかないのでしょうか？ この科目では、英語音声学 の教科書の最後の3章でリズム・イントネーションを復習し、さまざまな音声を朗読練習していきます。紹介する音声を何度も朗読して、英語音声に親しみましょう。

英語らしい流暢な発音の修得を狙います。

#### 内容

この授業の教科書は、前期科目の英語音声学と共通です。最後の3章分を初めの3週でおさらい（英語音声学を取らなかった人は概観）します。

第4--7週は、英語の歌や、詩を朗読練習します。この時、韻を踏む練習を通して、英語の母音・子音・半母音のおさらいができます。

第8--11週は、英語の絵本を朗読練習します。

第12--14週は、イントネーションを専門に扱った教材（絶版の本）を紹介する予定です。

第15週は、まとめです。

#### 評価

以下の割合で点数化し、総合評価60点以上を合格とします。

- (1) まとめの成果： 60%
- (2) 平常点： 40% （小テスト（適宜）、予習、実技録音課題提出）

#### 授業外学習

【事前学習】初回から第3週までは、教科書の最後の3章を利用して、教科書付属CD音声の発音練習を行ってください。第4週以降は、教室で指示する英文の朗読練習をしてください。平均毎週1時間。

【事後学修】授業で指示した素材の復習発音練習に、毎週30分はかけて下さい。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子 著 『改訂新版 初級英語音声学』大修館書店.

科目名	手話		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

聴覚に障がいを持つ人たちのコミュニケーション手段を学びます。

聴覚障がいについて医学、社会、教育、福祉、文化など多角的に学びます。

#### 科目の概要

手話を中心に、それ以外のコミュニケーション手段について学びます。

具体的には筆談、読唇、補聴器、空書、触手話、指点字などの基礎を理解します。

#### 学修目標 (=到達目標)

NP0手話技能検定協会が定める手話検定5級レベルの単語や例文修得を目指します。

あいさつや自己紹介、簡単な日常会話が手話でできるようになることを目指します。

内容	
1	あいさつの表現
2	家族に関する表現
3	日時に関する表現
4	指文字(ア～サ行)
5	名前に関する表現
6	指文字(タ～ハ行)
7	趣味に関する表現
8	指文字(マ～ワ行)
9	地名に関する表現
10	自己紹介
11	表現力・実技試験
12	動物に関する表現
13	食べ物に関する表現
14	スポーツに関する表現
15	まとめ

#### 評価

手話による実技試験(50%)、学修目標に基づく筆記試験(40%)、通常の授業態度(10%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】予めテレビの手話ニュースや福祉番組などを見て手話の動きに慣れておくこと

【事後学修】授業で習った手話や指文字を滑らかに表現、読み取れるように復習しておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】実用手話ハンドブック/谷千春監修/新星出版/378.28/j

【参考図書】ゼロからわかる手話入門/谷千春監修/主婦の友社

科目名	手話		
担当教員名	谷 千春		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

聴覚に障がいを持つ人たちのコミュニケーション手段を学びます。

聴覚障がいについて医学、社会、教育、福祉、文化など多角的に学びます。

#### 科目の概要

手話を中心に、それ以外のコミュニケーション手段について学びます。

具体的には筆談、読唇、補聴器、空書、触手話、指文字などの基礎を理解します。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

NP0手話技能検定協会が定める手話検定5級レベルの単語や例文修得を目指します。

あいさつや自己紹介、簡単な日常会話が手話でできるようになることを目指します。

内容	
1	あいさつの表現
2	家族に関する表現
3	日時に関する表現
4	指文字 (ア～サ行)
5	名前に関する表現
6	指文字 (タ～ハ行)
7	趣味に関する表現
8	指文字 (マ～ワ行)
9	地名に関する表現
10	自己紹介
11	表現力・実技試験
12	動物に関する表現
13	食べ物に関する表現
14	スポーツに関する表現
15	まとめ

#### 評価

手話による実技試験 (50%)、学修目標に基づく筆記試験 (40%)、通常の授業態度 (10%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】予めテレビの手話ニュースや福祉番組などを見て手話の動きに慣れておくこと

【事後学修】授業で習った手話や指文字を滑らかに表現、読み取れるように復習しておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】実用手話ハンドブック/谷千春監修/新星出版/378.28/j

【参考図書】ゼロからわかる手話入門/谷千春監修/主婦の友社



科目名	ダンスパフォーマンス		
担当教員名	飯田 路佳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

ジャンルにとらわれない、楽しむダンスをめざす。

また、コミュニティダンス ( 地域の人々が健康のために行っているダンス ) を広め、指導にあたるインストラクター ( ダンスムーブメント ( ダンス的運動 ) インストラクターライセンスの受験資格 ) を目指す人のための授業内容をおりこむ。

#### 科目の概要

発展系であるこの授業では様々なダンスの特性や文化的背景を理解し、ジャンルにこだわらない実践を通すと同時に、自ら工夫し、新たな創作につなげることをねらいとする。

#### 学修目標

1. からだのすみずみまで感じながら踊ることにより、感性を磨き、音楽のフィーリングを感じ取り、自ら工夫できるようにする。
2. ダンスが不得意な人も、リズムを感じて動くことにより、リズム感を養う。からだがかたい人も、動いたことのない動作をすることによって、動かしたことのない関節や筋肉を柔軟にするように心がける。
3. ダンスが得意な人も、苦手な人も、工夫や創作に挑戦し、新たな自分の可能性を探る。

## 内容

### 1) 1 週目 授業内容についてオリエンテーション

#### 毎回

導入 ( 1: 本日の話題 2: グルーピング 3: グループワーク )

W-up リズムに乗ったエクササイズ

移動でロコモーション ( 様々なステップ )

その日の作品、部分練習

C-dn ストレッチまたはマッサージ

を行う。

### 2) 2 週目 ~ 5 週目 リズムエクササイズ

基本の練習、リズムに乗って動きを楽しむ。体力を高める。

### 3) 6 ~ 9 週目 リズムムーブメント

動きのバリエーションを広げる

### 4) 10 ~ 13 週目 ダンスムーブメント

フィーリングを感じながら 動きを大きく、みている人に伝えられるように

### 5) 14 ~ 15 週目 作品として、仕上げ、発表

技術や鑑賞能力を高める。

## 評価

平常点 ( 授業時の課題に対する意欲、関心、態度、毎回のまとめを含める ) 80%、作品の発表および鑑賞20%等から、

総合的に評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】シラバスを予め確認し、授業で扱う内容の前提となる事項に関連する資料に目を通し、レディネスを高める。

【事後学修】授業で学修した内容を確認し、指定された様式に従い学修内容をまとめる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で適宜指示する。

科目名	英語学		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科の専門科目で、「ランゲージスキル」枠の選択科目である。言語学の関連分野については「ことばのしくみ」で、音声学・音韻論の分野については「英語音声学」「ナレーションB (英語)」で扱うので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となる。英語の教職課程を履修している学生は4科目すべてを履修すること。

#### 科目の概要

英語を科学的に分析・研究する対象として扱い、英語学の中核をなす形態論 (英語の単語の構造)、統語論 (英語の文の構造)、意味論 (意味の構造) を中心に、さらに語用論などの分野も含めて、英語学の基本的な概念を学ぶ。適宜、大多数の学生の母語である日本語と比較することにより英語という言語の持つ特徴を浮き彫りにできるようにしたい。

#### 学修目標 (= 到達目標)

(i) 形態論、統語論、意味論、語用論の基本的な概念をまなぶ、(ii) 言語を学習の対象ではなく科学的な分析の対象として捉えることができる

#### 内容

以下の各トピックに関して基本的な概念・考え方等の説明を講義形式で行う。理解を深めるための演習や課題の提出、毎授業の最初に前回の授業の復習小テストを行う。

1	言語を科学的な分析の対象として捉える方法
2	形態論(1): 形態論のめざすもの
3	形態論(2): 語の内部構造、形態素
4	形態論(3): 形態素分析
5	形態論(4): 語形成規則 (偶発的な語形成規則)
6	形態論(5): 語形成規則 (少し規則的な語形成規則)
7	形態論(6): 語形成規則 (規則的な語形成規則)
8	統語論(1): 統語論のめざすもの
9	統語論(2): 句・文の内部構造
10	統語論(3): 句構造規則
11	統語論(4): 変形規則
12	意味論(1): 意味論のめざすもの
13	意味論(2): 語や文の意味の記述
14	語用論: 言語はどのように使用されるのか
15	まとめ

## 評価

期末試験70%，小テスト（毎回授業のはじめに前回授業の復習テストを行います）30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に配布されたハンドアウトに目を通すこと。

【事後学修】ハンドアウトと授業用フォルダに保存されたパワーポイント資料を読み、復習をすること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリントを配布する。

【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』，郡司隆男・西垣内泰介編，研究社，2800円． 801/K

『言語研究入門』，大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編，研究社，3500円． 801/G

『文法』，益岡隆志他著，岩波書店，3400円． 801.08/1/5

【参考図書】『言語学の方法』，郡司隆男・坂本勉著，岩波書店，3000円．

『言語の科学入門』，松本祐治他著，岩波書店，3400円．

科目名	英語音声学		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディアコミュニケーション学科の専門科目のランゲージスキル選択科目。なお、コミュニケーション選択科目の「ナレーションB(英語)」では、この科目よりも時間の長い発音 (音連続・リズム・イントネーション) に注目して応用練習をします。話しことばに関心のある人や英語の発音をよくしたい方のほか、英語の教職課程を履修している学生にも履修をお勧めします。

母語の個々の音 (母音・子音・半母音) の発音は無意識に習得している知識ですが、発音に障がいのある人の支援をする時や、外国語の学習・教育において、また、朗読など声を専門的に使う活動においては、音声学の知識が役立ちます。なじみ深い外国語である英語の発音を日本語と比較することにより個々の音の特徴を理解します。

英語と日本語の個々の音の発音をしているときの口の中の各部分の動きを考えて、図などで違いを説明できるようにし、発音記号も読み書きできるようにします。さらに、自らの英語の発音を改善し、英語の聞き取り力も向上させます。

#### 内容

第4, 5章の子音 (しいん) と母音 (ぼいん) をていねいに練習していきます。後半の音の連続・アクセント・リズム・イントネーションの部分も重要ですが、要点を押さえて速く進みます。

1	1. 現代英語の標準発音 -- 2. つづり字と発音
2	3. 音素
3	4. 子音 閉鎖音
4	4. 子音 摩擦音
5	4. 子音 破擦音・鼻音・促音
6	4. 子音 半母音
7	5. 母音 短母音
8	5. 母音 長母音
9	5. 母音 二重母音
10	5. 母音 弱母音と半弱母音
11	6. 音の連続
12	7. アクセント
13	8. リズム
14	9 .イントネーション
15	【まとめ】

#### 評価

以下の割合で点数化し、総合評価60点以上を合格とします。

(1) まとめの成果： 60%

(2) 平常点： 40% (小テスト(適宜)、予習、実技録音課題提出)

#### 授業外学習

【事前学習】毎週1時間程度の予習として、教科書付属CD音声の発音をまねてみてください。

【事後学修】授業で扱った部分の音声が無理なく発音できるようになるまで何度も発音練習して、映画やネット上の英語音声に親しんでください。人によりますが毎週30分は必要と思います。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子 著『改訂新版 初級英語音声学』大修館書店.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	ベッツィー テラダ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

The aim of this elementary-level English course is to help students gain confidence in their basic English communication skills. The focus will be on developing vocabulary and expression needed to talk about familiar topics.

#### 科目の概要

Two class periods will focus on a topic from the textbook which relates to students' lives, such as family, school life, and favorite things. Students will actively engage in a variety of speaking and short writing tasks.

THIS COURSE WILL BE TAUGHT IN ENGLISH ONLY.

#### 学修目標 ( =到達目標 )

Upon completion of this course, students should be able to express themselves more confidently in basic English.

内容	
1	Course overview, introductions, Unit 1 (Classroom English, Part 1)
2	Unit 1 (Classroom English, Part 2)
3	Unit 1 Vocabulary Quiz, Unit 2 (School Life, Part 1)
4	Unit 2 (School Life, Part 2)
5	Unit 2 Vocabulary Quiz, Unit 3 (Family, Part 1)
6	Unit 3 (Family, Part 2)
7	Unit 3 Vocabulary Quiz, Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 1)
8	Unit 4 (Neighborhood & Town, Part 2)
9	Unit 4 Vocabulary Quiz, Unit 5 (Friends, Part 1)
10	Unit 5 (Friends, Part 2)
11	Unit 5 Vocabulary Quiz, Unit 10 (Memories, Part 1)
12	Unit 10 (Memories, Part 2)
13	Unit 10 Vocabulary Quiz, "Show and Tell" mini-presentations
14	Speaking Test (Units 2, 3, 4, 5, 10)
15	Wrap-up

## 評価

Students will be evaluated on participation (25%), homework (25%), vocabulary quizzes (20%), final speaking test (30%).

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 Students will be assigned some light homework each week to strengthen vocabulary and expression.

【事後学修】 Students will be expected to review material covered in class each week and study for quizzes and tests.

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach by Cliffe, Svendson, Terada Nan'undo Publishing Co.

【推薦書】 B5 notebook

【参考図書】 paper or electronic English-Japanese, Japanese-English dictionary



科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective course.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

#### 学修目標 (=到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

#### 内容

1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 Outside lesson listening recommended.

【事後学修】 Review using the vocabulary lists provided in the text book.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective course.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

#### 学修目標 (=到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

内容	
1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

#### 授業外学習

【事前予習】Outside lesson listening recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary lists provided in the text book.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective course.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

#### 学修目標 (=到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

#### 内容

1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 Outside lesson listening recommended.

【事後学修】 Review using the vocabulary lists provided in the text book.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Spring Vacation

Week 2 Unit 1 Food

Week 3 Review

Week 4 Unit 2 Festivals

Week 5 Review

Week 6 Unit 3 Cities

Week 7 Review

Week 8 Unit 4 Jobs

Week 9 Review

Week 10 Unit 5 Music

Week 11 Review

Week 12 Festivals Abroad I

Week 13 Festivals Abroad II

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Spring Vacation

Week 2 Unit 1 Food

Week 3 Review

Week 4 Unit 2 Festivals

Week 5 Review

Week 6 Unit 3 Cities

Week 7 Review

Week 8 Unit 4 Jobs

Week 9 Review

Week 10 Unit 5 Music

Week 11 Review

Week 12 Festivals Abroad I

Week 13 Festivals Abroad II

Week 14 Presentations

Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet

【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

Inspire 2 by Pamela Hartmann

Cengage Learning



科目名	日常英会話入門		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective course.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics, the classroom, school, family, places and friends using simple vocabulary and grammar. They also develop their listening with natural listening materials, such as songs and stories.

#### 学修目標 (= 到達目標)

The goal is to activate the English language that the students already know by enabling them to talk about their own worlds. Students will gain in confidence because the topics are familiar and well-known to them.

#### 内容

1	Unit 1. Introduction. Learning names and items in the classroom.
2	Unit 1. Greetings and classroom management vocabulary. Listening with a song.
3	Unit 1. Classroom phrases and questions.
4	Unit 2. Learning timetables and time.
5	Unit 2. Learning to express likes and dislikes.
6	Unit 2. Using positive and negative adjectives. Listening with a song.
7	Unit 3. Learning about family trees and relations.
8	Unit 3. Forming yes/no questions. Listening with a story.
9	Unit 3. Asking and telling about each other's family.
10	Unit 4. Describing places using their is / are
11	Unit 4. Describing places using adjectives. Listening with song.
12	Unit 4. Explaining locations using maps.
13	Unit 5. Describing personalities.
14	Unit 5. Discussing activities together.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

Small review tests on each unit 30%, listening activities 30% final test 40%。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 Outside lesson listening recommended.

【事後学修】 Review using the vocabulary lists provided in the text book.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Within Your Reach. Cliffe, Svendon, Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

This class will focus on strengthening students' knowledge of everyday conversational English.

#### 科目の概要

Emphasis will be placed on idiomatic expressions, adjectives and verb tenses.

#### 学修目標 ( =到達目標 )

Students will use sample dialogues and new vocabulary to create original conversations.

#### 内容

Introduction. Course explanation.

TOPIC : At the cafeteria.Meeting new people.

Do you mind.....?

Using new idioms.

Original conversation.

Review of -ED /ING adjectives.

Making sentences.

Review Choose/Choice.

TOPIC: Making reservations.

Sample dialogue.

Customer complaint.

Review both/each other.

TOPIC: Shopping.(Buying gifts).

Sample dialogue.

Using... How about....?

Creating original conversations.Presentation.

#### 評価

総合評価60点以上を合格とする。Attendance/participation 20%. Pair/grou

p conversations 60%, vocabulary tests/ homework 20%.

#### 授業外学習

【事前準備】 Read sample dialogues. Check new words.

【事後学修】 Homework.

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Prints supplied.

科目名	日常英会話		
担当教員名	ベッツィー テラダ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

The aim of this course is to help students gain confidence in their basic English communication skills, especially with language they will need when they travel to a foreign country. The focus will be on developing vocabulary and expressions needed to enjoy their trips abroad.

#### 科目の概要

Each class period will focus on a travel situation in the textbook, such as ordering in a restaurant, reserving a hotel room, and asking for directions. Students will actively engage in a variety of speaking and short writing tasks, as well as role plays.

THIS COURSE WILL BE TAUGHT IN ENGLISH ONLY.

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

Upon completion of this course, students should be able to express themselves more confidently in basic English.

内容	
1	Class Overview, introductions, icebreaker
2	Unit 1 On the airplane
3	Unit 2 At immigration
4	Unit 3 Talking about family
5	Unit 4 Asking for things you need
6	Unit 5 Ordering in a restaurant
7	Test 1: Units 1-5
8	Unit 6 Asking for and giving directions
9	Unit 7 Getting money at a bank
10	Unit 8 Reserving a hotel room
11	Unit 9 Getting help for minor medical problems
12	Unit 10 Talking about your hometown
13	Test 2: Units 6-10
14	Review and prepare final speaking test
15	Final speaking test: role plays

## 評価

Students will be evaluated on participation (25%), homework (25%), unit tests (20%),  
Final role-plays (30%).

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 Students will be assigned some light homework each week to strengthen  
vocabulary and expression.

【事後学修】 Students will be expected to review material covered in class each week and  
study for tests.

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Passport 1: English for International Communication, Second Edition,  
by Angela Buckingham, Oxford Univ. Publishing Co.

【推薦書】 B-5 notebook

【参考図書】 paper or electronic English-Japanese, Japanese-English dictionary

科目名	日常英会話		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics such as vacations, favorite things, fashion, memories and stories, work and holidays. They practice listening with natural materials such as songs and stories.

#### 学修目標 (=到達目標)

Students will utilize the English that they already know and will gain in confidence by speaking about familiar and useful topics.

#### 内容

1	Unit 6. Discussing the summer vacation. Asking and answering questions.
2	Unit 6. Using the past tense to tell stories about the summer. Listening with a song.
3	Unit 7. Practicing listening comprehension with stories.
4	Unit 7. Story making workshop.
5	Unit 7. Reading stories to learn story telling techniques.
6	Unit 8. Comparing favorite things.
7	Unit 8. Using Wh questions. Comparing and contrasting.
8	Unit 9. Talking about clothes and trends.
9	Unit 9. Discussing trends. listening with a song.
10	Unit 10. Discussing schools and childhood. Using the past tense to tell stories.
11	Unit 11. Discussing different types of work and skills.
12	Unit 11. Listening to and making a resume.
13	Unit 12. Holidays: Christmas vocabulary, stories and listening activities.
14	Unit 12. Holidays: New Year vocabulary, game and listening activities.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small unit tests 30%, listening activities 30%, final test 40%.

#### 授業外学習

【事前予習】Listening outside the classroom recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary list provided in the textbook.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendsen and Terada. Nan'un Do.



科目名	日常英会話		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics such as vacations, favorite things, fashion, memories and stories, work and holidays. They practice listening with natural materials such as songs and stories.

#### 学修目標 (=到達目標)

Students will utilize the English that they already know and will gain in confidence by speaking about familiar and useful topics.

#### 内容

1	Unit 6. Discussing the summer vacation. Asking and answering questions.
2	Unit 6. Using the past tense to tell stories about the summer. Listening with a song.
3	Unit 7. Practicing listening comprehension with stories.
4	Unit 7. Story making workshop.
5	Unit 7. Reading stories to learn story telling techniques.
6	Unit 8. Comparing favorite things.
7	Unit 8. Using Wh questions. Comparing and contrasting.
8	Unit 9. Talking about clothes and trends.
9	Unit 9. Discussing trends. listening with a song.
10	Unit 10. Discussing schools and childhood. Using the past tense to tell stories.
11	Unit 11. Discussing different types of work and skills.
12	Unit 11. Listening to and making a resume.
13	Unit 12. Holidays: Christmas vocabulary, stories and listening activities.
14	Unit 12. Holidays: New Year vocabulary, game and listening activities.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small unit tests 30%, listening activities 30%, final test 40%.

#### 授業外学習

【事前予習】Listening outside the classroom recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary list provided in the textbook.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendsen and Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Summer Vacation  
 Week 2 Unit 7 Family  
 Week 3 Review  
 Week 4 Unit 8 Nature  
 Week 5 Review  
 Week 6 Unit 9 Happiness  
 Week 7 Review  
 Week 8 Unit10 Conservation  
 Week 9 Review  
 Week 10 Volunteer Abroad  
 Week 11 Music from Around the World  
 Week 12 Africa I  
 Week 13 Africa II  
 Week 14 Presentations  
 Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

Inspire 2 by Pamela Hartmann  
 Cengage Learning

科目名	日常英会話		
担当教員名	アナ ウォーカー		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

The focus will be on gaining confidence at speaking out in English on a range of topics, using a variety of sentence patterns and discussion strategies.

## 内容

Week 1 Summer Vacation  
 Week 2 Unit 7 Family  
 Week 3 Review  
 Week 4 Unit 8 Nature  
 Week 5 Review  
 Week 6 Unit 9 Happiness  
 Week 7 Review  
 Week 8 Unit10 Conservation  
 Week 9 Review  
 Week 10 Volunteer Abroad  
 Week 11 Music from Around the World  
 Week 12 Africa I  
 Week 13 Africa II  
 Week 14 Presentations  
 Week 15 Evaluation

## 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Grades will be based on course work (20%), homework exercises (15%), participation in class (15%), and a mini-presentation (50%).

## 授業外学習

- 【事前予習】 Students will be required to research the weeks topic on the internet
- 【事後学修】 Students will review the new vocabulary and sentences patternes.

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

Inspire 2 by Pamela Hartmann  
 Cengage Learning

科目名	日常英会話		
担当教員名	シーラ クリフ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

Elective.

#### 科目の概要

Students discuss familiar topics such as vacations, favorite things, fashion, memories and stories, work and holidays. They practice listening with natural materials such as songs and stories.

#### 学修目標 (=到達目標)

Students will utilize the English that they already know and will gain in confidence by speaking about familiar and useful topics.

#### 内容

1	Unit 6. Discussing the summer vacation. Asking and answering questions.
2	Unit 6. Using the past tense to tell stories about the summer. Listening with a song.
3	Unit 7. Practicing listening comprehension with stories.
4	Unit 7. Story making workshop.
5	Unit 7. Reading stories to learn story telling techniques.
6	Unit 8. Comparing favorite things.
7	Unit 8. Using Wh questions. Comparing and contrasting.
8	Unit 9. Talking about clothes and trends.
9	Unit 9. Discussing trends. listening with a song.
10	Unit 10. Discussing schools and childhood. Using the past tense to tell stories.
11	Unit 11. Discussing different types of work and skills.
12	Unit 11. Listening to and making a resume.
13	Unit 12. Holidays: Christmas vocabulary, stories and listening activities.
14	Unit 12. Holidays: New Year vocabulary, game and listening activities.
15	まとめ Evaluation activities.

#### 評価

総合評価60点以上を合格とする。

Small unit tests 30%, listening activities 30%, final test 40%.

#### 授業外学習

【事前予習】Listening outside the classroom recommended.

【事後学修】Review using the vocabulary list provided in the textbook.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Within Your Reach. Cliffe, Svendsen and Terada. Nan'un Do.

科目名	日常英会話		
担当教員名	グロリアプロフィラト		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

This class will focus on strengthening students' knowledge of everyday conversational English.

#### 科目の概要

Emphasis will be placed on idiomatic expressions, adjectives and verb tenses.

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

Students will use sample dialogues and new vocabulary to create original conversations.

#### 内容

Introduction. Course explanation.

TOPIC : At the cafeteria.Meeting new people.

Do you mind.....?

Using new idioms.

Original conversation.

Review of -ED /ING adjectives.

Making sentences.

Review Choose/Choice.

TOPIC: Making reservations.

Sample dialogue.

Customer complaint.

Review both/each other.

TOPIC: Shopping.(Buying gifts).

Sample dialogue.

Using... How about....?

Creating original conversations.Presentation.

#### 評価

総合評価60点以上を合格とする

Attendance/participation 20%. Pair/group conversations 60%, vocabulary tests/ homework 20%.

#### 授業外学習

【事前準備】 Read sample dialogues. Check new words.

【事後学修】 Homework.

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Prints supplied.



科目名	メディア英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

(科目の性格) 現在では、情報の多くが英語でやりとりされています。この授業では、英字新聞やそのホームページに頻出する企業に焦点を当て、グローバル化した現代社会を読み解くための基本的な知識を英語で学びます。

(科目の概要) テキストを読みます。必要に応じて、実際の英字新聞やホームページを閲覧します。テキストには、世界的な日本企業を題材としたエッセイを使用します。グローバル化した現代世界の様々な出来事や問題に対する知識、関心を深めながら読み進めていきます。授業では、毎週1つの企業について読み、内容についてのリスニングを行います。また、その企業について受講者各自が調査した内容を発表してもらう予定です。受講者の関心の高いユニットから順次読めるよう調整したいと思います。

(学修目標) 辞書を片手に、やさしい英字新聞が読めるようになること、および簡単なリスニングに慣れることが目標です。

選択科目ですので、以上のような内容に興味があり、自発的に情報を収集し、考える態度が望まれます。

内容

次のような企業が取り上げられます。どのUnitを読むかは受講者の希望を聞いて決定します。

1	ガイダンス
2	Unit 1: 美の世界基準をめざして 花王
3	Unit 2: 世界制覇をめざしたブランド統一 パナソニック
4	Unit 3: 自動車工場と自然環境の調和 トヨタ
5	Unit 4: 創業100年にむけたビジョン構築 三菱電機
6	Unit 5: 本業を活かした国際貢献 コマツ
7	Unit 6: フリート戦略: アジアNo.1の航空会社にむけて ANA
8	Unit 8: 店舗の多様化による顧客拡大 ローソン
9	Unit 9: フェアで便利なネット銀行 ソニー銀行
10	Unit 11: 地球温暖化への挑戦 東京海上グループ
11	Unit 14: TOPVALUE顧客の声から生まれたブランド イオン
12	Unit 15: 先端的研究開発で業界をリードする 参天製薬
13	Unit 16: 和風のうまみを西洋に キッコーマン
14	Unit 18: トрендを見通す独自の視点 博報堂
15	まとめ

評価

参加態度40%、発表等30%、テスト30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストを読み、わからない点をはっきりさせて授業に臨んでください。1時間程度の予習が必要と考えられます。また、発表担当者はプレゼンの準備をしてください。

【事後学修】テキストを読みなおし、学習した企業についてのニュースなどに注意する。時間は各受講生の理解度によります。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『世界で活躍する日本の企業 Styling Corporate Messages』

椋平淳、桐村亮、Bill Benfield著、成美堂、1900円

（授業内で使用する。）

科目名	メディア英語		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、メディアで使われている英語を基礎から学習するクラスです。

#### 科目の概要

英字新聞などで実際に使われている実戦的な英語の読解力を養成します。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

幅広い分野のニュース ( 例えば文化、社会、経済、科学技術など ) を題材にして、比較的短い時事的内容の文章が読めるようになることを目指します。

特に、(1) 英文記事に慣れること、(2) 英文を正確に読み取る力を身につけること、(3) 語彙や表現力を豊かにすることを、主な目標とします。

#### 内容

基本的な文法事項や語彙・表現を確認しながら、テキストの音読・和訳または要約を行うと共に、内容把握等の練習問題に取り組みます。1回の授業で、教科書2課分ずつ進む予定です。

語彙力を高めるため、3~4週ごとに、授業で使用するテキストから単語の小テストを行います。

1	英字新聞の読み方
2	IT Breathes New Life into Farming ほか
3	Education Ministry Contemplating Digital Textbooks ほか
4	Japan Will Be Last G-7 Country to Make Solar Power Economically Viable ほか
5	Expressive Emoji Win Over Merriam-Webster's Wordsmiths ほか
6	Survival of Kimono: Saving the Disappearing Fashion Goes Political ほか
7	Abe Voices 'Repentance' on WW2, Touts Japan's New Security Role ほか
8	Micro-apartments: a New Concept in New York ほか
9	Current Account Surplus Marks 1st Rise in 4 Years ほか
10	Mothers' Milk Bank to Support Preterm Babies ほか
11	New DNA Codes for Mammoths: Step Toward Bringing Them Back? ほか
12	Japan's Prisons are Turning into Nursing Homes ほか
13	JAXA Plans Japan's First Moon Shot in 2018 ほか
14	UK Police Arrest Pensioners Over Multi-Million Pound Gem Heist ほか
15	まとめ

#### 評価

以下の割合で点数化し、60点以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験：60%

(2) 平常点：40%（授業への参加度、小テスト、課題提出）

#### 授業外学習

【事前準備】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】高橋百合子『News Made Easy! First Steps in Reading Newspapers はじめての時事英語演習』金星堂

【推薦書】授業で適宜紹介します。

【参考図書】授業で適宜紹介します。

科目名	ライティング		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

(科目の性格)

英語は世界の共通言語ですが、言葉そのものだけでなくその論理展開の方法を学ぶことも重要です。特に文章を書くにあたっては、その傾向が顕著です。この科目では、読み手にわかりやすい英語の理論展開の仕方と文章を書く方法を学びます。

(科目の概要)

文章の種類に応じたライティング・パターンを学び、そのパターンに沿って文章を展開する練習を行います。取り上げるライティング・パターンは「意見とその理由を述べる文章」「原因分析の文章」「賛成・反対の意見とその理由を述べる文章」「物事を分類、比較する文章」「順序、時系列で各文書」などを予定しています。

(学修目標)

パラグラフ・ライティング、エッセイ・ライティングの知識を得て、英語の文章を論理的に書けるようになることです。

内容

1	ガイダンス
2	「意見とその理由を述べる文章」
3	「意見とその理由を述べる文章」
4	「原因分析の文章」
5	「原因分析の文章」
6	「意見とその理由を述べる文章」
7	「意見とその理由を述べる文章」
8	「原因分析の文章」
9	「原因分析の文章」
10	「賛成・反対の意見とその理由を述べる文章」
11	「賛成・反対の意見とその理由を述べる文章」
12	「物事を分類、比較する文章」
13	「物事を分類、比較する文章」
14	「順序、時系列で書く文章」
15	まとめ

評価

期末テスト50%、平常点 ( 課題、参加態度 ) 50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】モデルエッセイの未知語を調べ、文章の内容がわかるようにしておくこと。

【事後学修】学んだライティング・パターンを応用して書ける題材と理論展開を考え、アウトラインを作る。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ（改訂版）』（石谷由美子他、南雲堂、1900円＋税）

科目名	ライティング		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

##### 科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目の中のランゲージスキル科目である。選択科目であるが、英語教職課程の履修者は必修となる。

##### 科目の概要

短い英文のモデルエッセイを読み、その論理展開のパターンを学びます。そののち、そのパターンに従ってオリジナルエッセイを作成することにより、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とする。

##### 学修目標(=到達目標)

一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざす。

#### 内容

英文のモデルエッセイを読み、英語の論理パターンを学ぶ。授業では、「分類」「手順の説明」「言葉の定義」「意見と理由」「観察と分析」「データの説明」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習していく。また教室での演習に加えて、各パターンごとに自宅で課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていく。

1	ガイダンス・Unit 1. Conclusions/Reasons モデルエッセイの説明
2	Unit 1. Conclusions/Reasons オリジナルエッセイの作成
3	Unit 2. Analysis モデルエッセイの説明
4	Unit 2. Analysis オリジナルエッセイの作成
5	Unit 4. Controversy モデルエッセイの説明
6	Unit 4. Controversy オリジナルエッセイの作成
7	Unit 6. Classification モデルエッセイの説明
8	Unit 6. Classification オリジナルエッセイの作成
9	Unit 10. Process モデルエッセイの説明
10	Unit 10. Process オリジナルエッセイの作成
11	Unit 12. Definition モデルエッセイの説明
12	Unit 12. Definition オリジナルエッセイの作成
13	Unit 13. Explanation モデルエッセイの説明
14	Unit 13. Explanation オリジナルエッセイの作成
15	まとめ

#### 評価

期末テスト40%、平常点（課題、復習テスト、参加態度）60% とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】モデルエッセイを読み、その構成を予習する

【事後学修】モデルエッセイのパターンにしたがって、自分のエッセイを作成する

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ（改訂版）』，石谷由美子他，南雲堂，1900円＋税）  
その他適宜プリントを使用する

授業には必ず辞書を持参してください。



科目名	ライティング		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

共通外国語科目の中の選択科目である。ただし、英語教職課程の履修者は必修となる。原則として、「英語I」が履修済みであること、基本的な英語の構造を理解しており、構造的に正しい短文が書けることが前提となる。

#### 科目の概要

1パラグラフから成る短い英文のモデルエッセイを読み、主題文 指示文 結論文のパターンに従ってパラグラフが作られていることを学ぶ。さらに、このパターンに従ってオリジナルパラグラフを作成することにより、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をする。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

主題文 指示文 結論文のパターンの、小さいながらもまとまりのある内容を英文で書くことをめざす。一文ずつの独立したセンテンスに関しては、適格な構造で書けることが前提となる。

#### 内容

英文のモデルパラグラフを読み、主題文 指示文 結論文のパターンで書くことを学ぶ。授業では、「他人の言動で嫌なこと」「今凝っていること」などのテーマについて、主題文のパターンとミニエッセイの内容を確認した後、暗唱と暗写の演習を行う。次に、ミニエッセイを参考にしながら、オリジナルパラグラフを作成する。また教室での演習に加えて、各パターンごとに自宅で課題を行うことによって、実践的なリーディング・ライティングのスキルを身につけていく。

1	ガイダンス・英語のパラグラフとは・英語の基本語順
2	Unit 1: 他人の言動で嫌なこと
3	Unit 2: 他人の言動で嬉しいこと
4	Unit 4: もう一度生まれるなら
5	Unit 5: 今凝っていること
6	Unit 6: いつかやってみたいこと
7	Unit 7: 行ってみたい場所・国
8	Unit 8: やめようと思ってもやめられないこと
9	Unit 9: 私が～を好きなわけ
10	Unit 12: 自分に関して直したいところ
11	Unit 13: 私の理想の休日
12	Unit 14: 今までで最悪の出来事
13	Unit 15: 今までで最高の経験
14	間違いが多かった点の復習
15	まとめ

## 評価

期末テスト50%、平常点（課題、復習テスト、暗唱、参加態度）50% とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】モデルパラグラフを読み、内容を理解する。（約30分）正しい構造の英語が書けない学生については別途リメディアルセンターもしくは教職課程センターでの基礎講座の受講を勧める。

【事後学修】モデルパラグラフのパターンにしたがって、自分のエッセイを作成する（約1時間）

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】『50語のフリップライティング』(Write Your Ideas in 50 Words), 三修社, 1700円.

その他適宜プリントを使用する

科目名	ビジネス英語		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

この科目は、共通科目のうちの選択科目で、ビジネス英語を基礎から学習するクラスです。

#### 科目の概要

ビジネスの世界で必要とされる英語力を養成することを目標とします。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

様々なビジネスの場面で役立つ会話表現や英文ビジネス文書に関する基礎知識を習得し、実際に活用できるようになることを目指します

#### 内容

実物とTOEICで使用されるビジネスレター、メール、ファックスを利用しながら演習していきます。

1	ビジネス通信 (ファックス)
2	ビジネス通信 (電子メール・電話)
3	ビジネス通信 (手紙)
4	社交関連英語 (ホテルの予約)
5	社交関連英語 (移転通知)
6	社交関連英語 (招待)
7	社交関連英語 (面会)
8	社交関連英語 (会議の通知)
9	社内の英語 (資料の送付 )
10	社内の英語 (購入)
11	社内の英語 (報告)
12	取引関係の英語 (引合い)
13	取引関係の英語 (注文)
14	雇用関係の英語 履歴書・応募の手紙
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み(20%)、平常点(20%)、最終チェック(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】最低30分で課題を解いておく

【事後学修】間違えた箇所をチェックし、次回からクリアできるようにする

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 Andrew Vaughan, Dorothy Zemach, Get Ready for Business, Book 2, Macmillan

科目名	ビジネス英語		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

基本的なビジネス英会話を学習する

挨拶から始まり、注文の受け方や顧客とのミーティング、取引相手の出迎えなど実際の場面でやくだつ表現を学んでいく

科目の概要

各ユニットのモデルの会話を暗記で覚えるのではなく、あくまでもどういう風に、どういう流れで会話すれば良いかのモデルとして使い、自分の言葉で話せるようになるよう訓練していく

学修目標 ( =到達目標 )

オフィスでの様々な出会い、取引、交渉などの中で、より上手に英語でコミュニケーションできるようになることを目標とする

内容

1	Introduction 本科目のテーマ、目的、概要、成績評価基準等を確認する
2	Unit 1 Welcome to the office
3	Unit 2 What time dou you close ?
4	Unit 3 I'd like to change an order
5	Unit 4 May I take a message ?
6	まとめ Review
7	Unit 5 Ring that up fior you ?
8	Unit 6 This way, please
9	Unit 7 I'd like to make a complaint
10	Unit 8 Could you fill out this form ?
11	まとめ Review
12	Unit 9 Welcome to Japan
13	Unit 10 What's your background ?
14	Unit 11 Here's your schedule
15	Unit 12 I'll see you tomorrow

評価

定期試験80%、授業貢献度20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】事前に単語の意味は調べておくこと

【事後学修】復習をしっかりとやること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Business Encounters 著者 Michael P Critchley 南雲堂

科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

**科目の性格** 27年度新カリ (1年生) では、「共通科目」の「外国語」選択科目、旧カリではメディアコミュニケーション学科の「専門科目」内の「ランゲージスキル」選択科目です。

**科目の概要** 主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキストを選び、トップダウン (概要理解) とボトムアップ (語彙、表現、語法など) の両面から英語のリスニングを高めます。

Advanced (上級) のリスニングですので、英検 2 級程度を目標とします。

**学修目標 (= 到達目標)** 英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどにあるある程度まとまった英語を聴き、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

内容	
1	イントロダクション
2	ウェブサイト上の記事 1
3	ウェブサイト上の記事 2
4	ウェブサイト上の記事 3
5	ウェブサイト上の記事 4
6	ウェブサイト上の記事 5
7	ウェブサイト上の記事 6
8	ウェブサイト上の記事 7
9	ウェブサイト上の記事 8
10	ウェブサイト上の記事 9
11	ウェブサイト上の記事 1 0
12	ウェブサイト上の記事 1 1
13	ウェブサイト上の記事 1 2
14	ウェブサイト上の記事 1 3
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み (30%)、課題 (20%)、期末試験 (50%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

- 【事前予習】 指定された英文を聴き、概略をつかむこと。
- 【事後学修】 学習した英文の語彙や表現を復習し、定着させること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。



科目名	アドバンスト・リスニング		
担当教員名	奈須 麻里子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

本科目は、共通科目の選択・選択必修科目で、英語での受信力・発信力の基礎となるリスニング力を養成することを目的としている。

#### 科目の概要

NHKの海外向けニュースを扱ったテキストを使用し、自然な英語を聞き取る力を養う。そのため各回で、ニュース英語のリスニングに必要な語彙や文法事項などの確認を行う。そのうえで、英語を理解する楽しさを味わいながら、日本の文化について考え、発信する力を総合的に身につけることを目指す。

#### 学修目標（=到達目標）

1. ニュース英語のリスニング力を向上させ、要点を理解できるようにする。
2. ニュースで扱う時事問題に対する意識を高め、国際的な視野を広げる。
3. ニュース英語の理解に必要な語彙力を伸ばす。

#### 内容

第1回：イントロダクション（授業の目標、進め方、注意事項等を説明）

第2回：Unit 1: Box Stars

第3回：Unit 2: Tearing Down Language Barriers

第4回：Unit 3: Punching Back

第5回：Unit 4: Waking Up Sleeping Patents

第6回：Unit 5: Traditional Japanese Cuisine

第7回：Unit 6: The Cost of Convenience

第8回：Unit 7: New Look at Old Clothes

第9回：Unit 8: Operating Rooms on Wheels

第10回：Unit 9: Off the Tourist Trail

第11回：Unit 10: Blindness No Barrier

第12回：Unit 11: Against the Grain

第13回：Unit 12: Healthy Workers Paying Off

第14回：Unit 13: Japanese-style Halal

第15回：まとめ

\* 予定は変更されることがあります。

#### 評価

定期試験60%、平常点40%（質疑応答、授業中の小テスト、授業への参加姿勢等）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】テキストの予習

【事後学修】テキストの復習と授業後の課題

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】山崎達朗・他著 『What's on Japan 9』金星堂

【参考図書】授業中に、適宜指示する。

科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

シェイクスピアの名作、「ロミオとジュリエット」を読み、至福の新床から死へと転がり落ちる若い二人の悲恋物語のあらすじを追います。

#### 科目の概要

平易な英語で書かれた「ロミオとジュリエット」を通じて、イギリスを代表する劇作家シェイクスピアの世界に足を踏み入れていきます。

#### 学修目標(=到達目標)

1. 読解力を身につける
2. 語彙力、イデオムの強化をはかる

#### 内容

- 1 週目 本科目のテーマ、目的、概要、成績評価基準等を確認する
- 2 週目 Chapter 1 Love's Transgression
- 3 週目 Chapter 2 My Life Is My Foe's Debt
- 4 週目 Chapter 1 と 2 の内容を見直し、語彙、語句の再確認
- 5 週目 Chapter 3 Parting Is Such Sweet sorrow
- 6 週目 Chapter 4 The Measure Of Thy Joy
- 7 週目 Chapter 3 と 4 の内容を見直し、語句、語彙の再確認
- 8 週目 中間まとめ
- 9 週目 Chapter 5 O, I Am Fortune's Fool
- 1 0 週目 Chapter 6 Take Heed, For Such Die Miserable
- 1 1 週目 Chapter 5 と 6 の内容を見直し、語彙、語句の再確認
- 1 2 週目 Chapter 7 A Cold And Drowsy Humour
- 1 3 週目 Chapter 8 Never Was a Story Of More Woe
- 1 4 週目 Chapter 7 と 8 の内容を見直し、語彙、語句の再確認
- 1 5 週目 まとめ

#### 評価

試験 80%、授業貢献度 20% とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】単語を調べそのChapterを読んでくこと

【事後学修】特になし

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Simply Shakespeare (Jim Knudsen / Takao Taguchi 著) 南雲堂

科目名	アドバンスト・リーディング		
担当教員名	福田 仁		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 27年度新カリ (1年生) では、「共通科目」の「外国語」選択科目、旧カリではメディアコミュニケーション学科の「専門科目」内の「ランゲージスキル」選択科目です。

科目の概要 主にインターネット上のウェブサイトから興味深い、または新鮮で話題となっている事柄の英文テキストを選び、トップダウン (概要理解) とボトムアップ (語彙、表現、語法など) の両面から英語の読解力を高めます。

Advanced (上級) のリーディングですので、英検 2 級程度を目標とします。

学修目標 (= 到達目標) 英語新聞、雑誌、ウェブサイトなどに書かれている英文テキストを読み、比較的短時間で概要を理解できる英語力を身に付ける。

内容	
1	イントロダクション
2	ウェブサイト上の記事 1
3	ウェブサイト上の記事 2
4	ウェブサイト上の記事 3
5	ウェブサイト上の記事 4
6	ウェブサイト上の記事 5
7	ウェブサイト上の記事 6
8	ウェブサイト上の記事 7
9	ウェブサイト上の記事 8
10	ウェブサイト上の記事 9
11	ウェブサイト上の記事 1 0
12	ウェブサイト上の記事 1 1
13	ウェブサイト上の記事 1 2
14	ウェブサイト上の記事 1 3
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み (30%)、課題 (20%)、期末試験 (50%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

- 【事前予習】 指定された英文テキストを読み、概略をつかむこと。
- 【事後学修】 学習した英文テキストの語彙や表現を復習し、定着させること。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

- 【教科書】 教科書は使用しません。プリントを配布します。

科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	谷 洋子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

TOEIC (Test of English for International Communication )は、仕事や日常生活におけるコミュニケーションを英語で行うことを想定して開発されたテストです。また、そのスコアはしばしば社会で英語力を客観的に判断するための基準として用いられます。

授業では、スコアアップを目指して学習しながら、コミュニケーションに必要な英語表現を習得し、自然なスピードの聞き取りに慣れることを目的とし、各テーマの関連語彙や文法を確認しながらTOEIC形式のリスニング、リーディングの練習問題に取り組みます。また、実際に使える英語力をつけることを目指し、速読や口頭練習も行います。

#### 内容

各授業のテーマ、関連語彙、文書のフォーマットなどを学び、それらを使用したTOEICのリスニング、リーディングの練習問題に取り組みます。

スコアアップを意識した講義や練習を行うと同時に、TOEICの学習を実際のコミュニケーションに活かせるよう4技能 ( 聴く・話す・読む・書く ) につなげるための学習法を学び実践します。

1	オリエンテーション U1 Daily Life
2	U2 Places
3	U3 People
4	U4 Travel
5	U5 Business
6	U6 Office
7	U7 Technology
8	U8 Personnel
9	U9 Management
10	U10 Purchasing
11	U11 Finance
12	U12 Media
13	U13 Entertainment
14	U14 Health
15	総括

#### 評価

試験70点、小テスト20点、授業への取り組み10点の合計で評価を行い、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】各課の新出語彙を予習しておくこと (Check Your Vocabulary! Words in Context)

【事後学修】各課の Self-study quizzes (p.99~) に取り組む。 各課パート3、4のシャ

ドウイングを行う。(シャドウイングの方法については、授業で指導します。) 各課の授業内で終了しなかった問題に取り組み、復習まで行う。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】水本篤, Mark D. Stafford, Successful Keys to the TOEIC Test 1 (3rd Edition), 桐原書店

【参考図書】『TOEICテスト新公式問題集』(Vol.5) Educational Testing Service

小石裕子 『新TOEIC(R) TEST 英単語 出るところだけ!』アルク



科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

TOEICを受験したことのない人、受験したけど点数が伸びず、どのように勉強してよいかわからないという人たちの為に開講される科目

##### 科目の概要

Chapter 1 ~ 7 はTOEICの各Partについての基礎的なことを学ぶ。各Partがどのような問題形式なのか、またどの程度の時間で一門を解かねばならないのかについて知る

Chapter 8 ~ 13 はTOEICの各Partを効率よく解くための基本的なストラテジー ( 戦略 ) を学んでいく

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

リスニング問題への取り組み方や文法及び読解問題における「押さえどころ」を学び、演習問題を通じてそれらを身につけることで、より効果的に各Partを攻略することを目指す

#### 内容

- 1 週目 本科目の目的、概要、成績評価基準等を確認する
- 2 週目 Part1の主な特徴&Part5の頻出問題；形容詞と副詞
- 3 週目 Part2の主な特徴&Part5の頻出問題；名詞と代名詞
- 4 週目 Part2の主な特徴&Part5の頻出問題；時制
- 5 週目 Part3の主な特徴&Part5の頻出問題；時制「完了形」
- 6 週目 Part4の主な特徴&Part5の頻出問題；受動態と動詞の形
- 7 週目 Part6の主な特徴&Part5の頻出問題；to不定詞
- 8 週目 Part7の主な特徴&Part5の頻出問題；接続詞と前置詞
- 9 週目 Part1の攻略法&Part5の復習問題
- 10 週目 Part2の攻略法&Part5の復習問題
- 11 週目 Part3の攻略法&Part5の復習問題
- 12 週目 Part4の攻略法&Part5の復習問題
- 13 週目 Part6の攻略法&Part5の復習問題
- 14 週目 Part7の攻略法&Part5の復習問題
- 15 週目 まとめ

#### 評価

試験90%、授業貢献度10%とし、総合評価60点以上を合格とする

## 授業外学習

【事前予習】該当するChapterに目を通してくること

【事後学修】該当するChapterの語彙、語句を復習すること

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】Strategic Learning for the TOEIC Test(森田光弘他2名著) 松柏社

科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この科目は、英語能力試験の1つであるTOEICテスト受験のための、初級レベルの学生を対象とした準備クラスです。語彙、文法、リスニング、読解を総合的に学習して、実用的な英語運用能力を向上させ、TOEICテストに対応できる力を養成します。

TOEICテストにおいて、350点以上のスコア取得を目指します。

#### 内容

授業ではユニットごとに、TOEICテストの出題形式に沿った問題を解きながら、語彙、基本的な文法事項、リスニングとリーディングのためのストラテジーなどを学んでいきます。

知識の定着を図るために、授業で使用するテキストから隔週で語彙に関する小テストを実施します。

授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

#### 講義計画

- 第1週 TOEICテストとは？
- 第2週 オフィスで / 自動詞と他動詞
- 第3週 買い物 / 形容詞・副詞・前置詞
- 第4週 食事 / 名詞と冠詞
- 第5週 観光 / 進行形
- 第6週 宣伝・広告 / 完了形
- 第7週 数字 / 不定詞
- 第8週 日常生活 / 動名詞
- 第9週 エンターテイメント / 関係代名詞と関係副詞
- 第10週 交通 / 複文
- 第11週 職業 / 受動態
- 第12週 いろいろな国の英語 1 / 分詞
- 第13週 いろいろな国の英語 2 / 比較表現
- 第14週 まとめ (1)
- 第15週 まとめ (2)

#### 評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験： 60%
- (2) 平常点： 40% ( 授業への参加度・小テスト・課題提出 )

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】田辺正美・湯本久美子・Geoffrey Tozer・George W. Pifer 『THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 350 Revised Edition』Cengage Learning

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。

科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	島田 美織		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 英語 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 英語 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

こちらは、選択専門科目「英語資格試験準備講座」が複数開講されている中の、「英検対策」の講座です。既にTOEIC対策の講座を受講した人でも履修可能ですが、同時に2種類の準備講座は履修できません。(英検対策の準備講座の既習者も受講不可。)

この授業では、英検2級取得を目指し、予想問題を解きながら語彙力を伸ばして合格のコツを学んでいきます。

多くの単語問題やリーディング問題に触れ、英検2級合格レベルの語彙力を身につけます。また、面接に備えた対策も行います。

\* 授業の特性上人数制限をかける事があります。(その場合は最大30名)

#### 内容

1	コース説明と紹介、1st day 筆記試験 ( 1 ) 3 A , 3 Bまで。
2	1st day 残り部分
3	2nd day 筆記試験 ( 2 ) 3 A , 3 Bまで。
4	2nd day 残り部分
5	3rd day 筆記試験 ( 3 ) 3 A , 3 Bまで。
6	3rd day 残り部分
7	4th day 筆記試験 ( 4 ) 3 A , 3 Bまで。
8	4th day 残り部分
9	5th day 筆記試験 ( 5 ) 3 A , 3 Bまで。
10	5th day 残り部分
11	6th day 筆記試験 ( 6 ) 3 A , 3 Bまで。
12	6th day 残り部分
13	7th day 筆記試験 ( 7 ) 3 A , 3 Bまで。
14	7th day 残り部分、面接対策と心構え
15	内容確認、まとめ

#### 評価

以下の割合で点数化し、総合評価60点以上を合格とします。

(1) Final test : 60%

(2) 平常点 : 40% (小テスト、授業参加度、課題など)

## 授業外学習

【事前学習】授業でカバーできなかった部分を課題として出すので、毎回やってくる事。

【事後学修】解答を参考にそれぞれの問題を理解し、コツをつかむ。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】7日間完成英検2級予想問題ドリル（旺文社）

科目名	演習		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目 ( 必修 )

科目の概要

卒業研究につながる演習として、メディアと教育、社会に関する様々な事柄を幅広く学びます。

学修目標

- ・メディアと教育に関する理論背景を理解する
- ・関連するICT技術を習得する

#### 内容

ICT ( 情報通信技術 ) の普及により、教育分野 ( 学校、生涯学習 ) では、e-learningに代表される様々な教育方法が実践されています。その目的は、メディアは情報を伝えるコミュニケーションの手段と捉え、それを効果的活用することにより如何に高い教育効果をあげることができるか、ということです。そのためには、単にコンピュータやインターネットを活用することだけでなく、対象となる学習者の状況を知ること、どのような教材 ( コンテンツ ) であればいいのか、活用の方法はどうか等、様々なこと ( 要因 ) を検討する必要があります。ゼミでは、こうしたICT活用に関する教育の背景や理論とICT活用の技術 ( Webページ、アニメーション、編集 ) を学びます。

演習は、毎回のテーマに沿って担当学生を決め、その担当学生がレポートする形式で進める予定である。

空き時間などは積極的に学習の機会を作り、目的意識を持って問題に取り組んでほしい。

#### 評価

レポートの状況、および日常の学習の状況で判断する。当然のことながら、毎回出席すること。

日常のゼミでの取り組み状況30%、ゼミでの課題50%、プレゼンテーション20%とし、合計60%以上で合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テーマに関する資料の準備

【事後学修】事後評価

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

指定しない

科目名	演習		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次演習として、卒業論文執筆の準備を行う。

この演習では、国際社会の諸問題を取り上げる。グローバル化が進む中、国際社会の出来事と日本国内の動きが密接な関係を持つようになってきた。政治、経済、社会、文化の側面で今何が起きているのか。地域社会、国、国際社会などのレベルでの動きを検討し、個々の問題の特徴を捉えていく。個人のレベルでの行動が国や国際社会の動向にどのように関連しているか、現代社会の問題を体系的に捉える視点を重視したい。

テーマ設定と同時に、問題設定から調査法、結果のまとめ方など、レポート、論文の書き方の基本について学ぶ。

#### 内容

第1回～第5回：基本的文献についての討論

第6回～第10回：参考文献、情報の収集方法

第11回～第13回：論文のまとめ方（ゼミ・レポート執筆）

第14回：ゼミ・レポート提出

第15回：レポート講評

#### 評価

発表、討論への参加（30%）、レポート（70%）で総合的に評価。総合評価60点以上を合格とする。再試験は行わない。

#### 授業外学習

【事前予習】課題の文献を読んで、内容をまとめ、わからなかった点をメモしておく。

【事後学修】演習での議論を参考にして、わからなかった点についての説明を加える。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】阿部和重 『幼少の帝国 - 成熟を拒否する日本人』新潮社、2012年

【参考書】大澤真幸、姜尚中（編）『ナショナリズム論・入門』有斐閣アルマ、2009年

加藤陽子 『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』朝日出版社、2009年



科目名	演習		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

受動的に授業を受けるのではなく、自分の興味・関心からテーマを選び問題点を把握、調べ、議論、問題提起していく。

##### 科目の概要

時事問題の検討、現場訪問としてのフィールドスタディ、本を読みレジюмеを作成しての発表、自分の関心により選んだテーマで論文の技法に則ってのレポート作成などを予定している。

##### 学修目標 (=到達目標)

自分の興味・関心からテーマを選び、自分で調べ考え文章にまとめていく力を身につける。自分の視点でものを見ること・考える力を身につけることをねらいとする。

#### 内容

- ・時事問題-各自の関心に沿ってテーマを選び、議論を行う事によって理解を深める。
- ・学外訪問-少子高齢化に関わるサービス事業者や介護・保育の現場、裁判の傍聴など学生の関心によって訪問先を決め現場の人に学ぶ
- ・本を読みレジюмеを作成しての発表-学生の関心に沿って本を選び発表する。著者の主張の理解、自分の視点からの問題提起を行う。
- ・レポート-自分の関心によりテーマを選定、論文・レポートの技法に則ったレポートの作成

#### 評価

平常点 (40%) とゼミでの発表・提出物 (60%) の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】時事問題の学修、授業テーマの予習
- 【事後学修】授業内容の整理、更なる問題意識の涵養

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

- 【推薦書】山田昌弘「新平等社会」文春文庫
- 沢木耕太郎「旅する力」新潮文庫

科目名	演習		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年の必修科目

担当教員の専門である、国際コミュニケーションやトランスナショナル・ジャーナリズムについて、講義では詳しくできなかった部分を、ビデオ、インターネット、現地で蒐集した資料などを見せながら、より深く学んでいきます。最終的には、マスメディアと社会、文化の関係を理解して、マスメディアと賢く付き合えるための能力＝メディア・リテラシーを身につけることができれば、と考えています。

## 内容

3年生の前半は各人の問題関心に関連する書籍を各人がこちらの指定する図書の中から選び、それを順番に発表してもらいます。

3年生の後半では、「マスメディアやマスコミをどのようにすれば研究できるか」という方法論＝産業研究、ジャーナリスト研究、送り手研究（メディア組織論）、内容分析（量的・質的）、受け手研究など＝を身につけてもらいます。同時進行で夏合宿で発表した卒論のテーマに関連する資料の発表をしてもらい、卒業論文のテーマを絞っていきます。

## ゼミイベント計画

3年春学期：

新歓！

夏合宿（伊豆）

3年秋学期：

課外学習(映画)？

卒研発表会参加＋最終コンパ！

## 評価

ゼミでの発表(40%)、提出物(40%)、ディスカッション(20%)。

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】国際ニュースや国際的なメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 推薦書

『メディア用語基本事典』（世界思想社）

「情報化社会をめぐる諸相 - 国境を越えるコミュニケーションのインパクト」（共著、田中浩編著『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』所収、P.216-232龍星出版、1996年）

「グローバル・ジャーナリズム」（共著、田村、林、大井編『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』所収、p.178-195.世界思想社、2004年）

「“違い”に注目すると見えてくる - 比較研究の必要性と考え方」『テレビニュースの解剖学 - 映像時代のニュース・リテラシー』 p. 40-54. 小玉美意子編著（新曜社、2008年）

科目名	演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

**科目の性格** 日常の道具の使いやすさを対象にする。心理学では人間を対象にするが、ユニバーサルデザインでは、道具と人間の両方を視野に入れる点が、心理学と異なる。

**科目の概要** 情報社会が発展すればするほど、高齢者や障害者が取り残されてしまう、デジタルデバイドと言われる現象が問題になってくる。それゆえに、情報弱者となりやすいユーザのために、情報環境を整備する必要がある。情報環境に限らず、具体的な道具を取り上げ、有効な道具の条件について考察したい。

**学修目標** 使いやすく、わかりやすく、使ってみたくなる、具体的な道具を制作したい。実際に制作する過程で、使いやすくする工夫が難しいことを理解して欲しい。さらに、弱者の立場に立ってものを見る視点を養いたい。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

事前準備 日常生活における道具の観察。1時間

事後学修 自分の作成したレポート、作品と他者のものとの比較を行う。1時間

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

推薦書かつ参考図書 野島久雄 ( 訳 ) 誰のためのデザイン 新曜社

科目名	演習		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

2年次に専門科目の「ことばのしくみ」「英語学」を履修していない学生は、できるだけ3年次に履修してください。この演習を通して各自興味のあるテーマを見つけ、4年次の卒業研究につながるようにします。

##### 科目の概要

言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、ことばを科学的に分析する力を養います。

##### 学修目標 (=到達目標)

(i)形態論、統語論、意味論、語用論の基本的知識を身につける、(ii)資料を自分で集め、整理、分析できることを目標とします。

#### 内容

基本文献の内容をレポーターが報告し、全員で問題点を検討するという形式で演習を行います。また、コーパスを使った資料の検索の方法、インフォーマントチェックの方法を実際の作業を通して身につけることも行いたいと思います。

#### 評価

(1) 期末レポート： 50%

(2) 授業内での発表： 50%

とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】次回読む部分の事前準備シートを各自準備すること。

【事後学修】読んだ部分に関する疑問点をメモすること。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】授業内で指示します。

科目名	演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

マスメディアコース専門必修科目。

言語音声やその習得・パーソナルコミュニケーションに関するについて自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、結論を出し、それを文章で表現することを通して、自分で思考する練習をする。

研究日誌を付ける習慣をつくる。

## 内容

もし、言語音声に関連する科目である「英語音声学」をまだ履修していなければ、演習Iと並行して履修してほしい。

本科目と演習IIとを合わせて、4年次の卒業研究へとつなげられるようにしたい。

【3年次前期】： 紙のノート(ルースリーフでないほうが望ましい)でもパソコンのファイルのプリントアウトでも良いので、ゼミ研究日誌をつける。このようなノートは、就職活動でゼミでは何をしているかと聞かれたときに役立つであろう。ゼミ担任と関心が合わない場合は、研究日誌は自分の関心に沿ったことだけを書いてもよろしい。

これまでの演習Iでは日本語音韻に関する本を読んだり、英語の絵本で朗読CDがついているものを使って、英語の学習を兼ねて朗読の練習をしたりした。また、TOEICの問題集にゼミの時間を割いたこともある。就職活動を前に、基礎的な学力の養成にも力を入れたいものである。

なお、設楽ゼミではこれまで懇親会や旅行を催して、協力関係を育てている。

【3年次夏休み】： 次年度の卒業研究のための実験・調査を行うことが望ましい。

## 評価

研究日誌を50点、授業中のゼミへの積極的な参加度を50点として、合計60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】1時間程度を考えています。教材をゼミ生と話し合っ決めてのち、指定します。

【事後学修】30分程度を考えています。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教材】ゼミ生と話し合っ決めてます。

【推薦書】川越 いつえ 著(2007)、『英語の音声を科学する』新装版、大修館書店。

窪園 晴夫 著、西光 義弘 編(1998)、『音声学・音韻論 (日英語対照による英語学演習シリーズ)』、くろしお出版.

ジョン・カニソン キャットフォード 著、竹林 滋・設楽 優子・内田 洋子 訳 (2006)、『実践音声学入門』、大修館書店.

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

脳の認識機能を中心に学んでいくゼミです。認知心理や神経心理の手法を取り入れ、私たちが物事を認識していくしくみと構造を理解します。

#### 科目の概要

まず、心理学の基礎知識をはじめ、神経心理、脳機能研究を加えていきます。言語、音楽、数学、社会、図形、絵、などの認識プロセスを理解します。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

自分でテーマを見つけられるよう、脳の基本的な知識を整理します。

#### 内容

1	導入
2	脳と身体
3	脳の解剖学
4	脳と感覚
5	脳と運動、コントロール
6	脳と情動、感情
7	社会脳
8	記憶
9	思考
10	意識
11	脳の個別生
12	脳の発達と老化
13	脳と脳の病気
14	異常性
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み20%、平常点20%、レポート60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習



【事前予習】教科書の指定箇所を読んでおく。

【事後学修】既習事項を整理して、演習全体との関連、自分の興味と結びつける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリント

科目名	演習		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この演習では、日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

方言調査旅行研修や新語流行語の収集分析など実際にフィールドワークを行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ ( 就活での自己PRの内容 ) を作ります。Mind-Map思考法、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。

体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得！」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 言語研究とは何か
- 第3回 プレゼンテーション、レジメ、論文作成法
- 第4回 自己分析の実際
- 第5回 プレゼンテーション1
- 第6回 プレゼンテーション2
- 第7回 フィールドワーク方法論1
- 第8回 フィールドワーク計画
- 第9回 ライフビジョンとキャリアビジョン
- 第10回 調査データ分析法
- 第11回 目標設定と達成のための方法
- 第12回 研究計画作成1
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成1
- 第14回 研究計画作成2
- 第15回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成2

#### 評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化 ( 60% )、適宜行う課題の評価 ( 30% )、最終テストの評価 ( 10% )。以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1~7ポイント ( 提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント ( 6回以上 [ 授業2回につき1つ程度課す ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】1週間の中での体験経験を言語化、その中からPDCAサイクルを導き出す。事前課題の確認。

【事後学修】毎回授業後48時間以内に まとめ&感想（質問えを含む） Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ（具体的な修正アイデア）」をメールで送信。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で指示します。

科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Lクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

卒業研究の前段階として、各自今後の学習テーマを考える。また、ゼミナール内での議論を通し、各自の学習内容について検討する。

##### 科目の概要

自由な学習活動、ゼミナール内での意見交換により、自分の興味ある学習テーマを見出す。

##### 学修目標 (= 到達目標)

1. 自己を振り返り、今後の学習テーマを探することができる。
2. グループで議論ができる。

#### 内容

各自の学習活動を通して、卒業研究に向けた学習テーマの候補を考える。

##### 例として

- ・ コンピュータを利用した作品制作。
- ・ アプリケーションの制作
- ・ 自然環境に関する学習
- ・ 身の回りの環境調査 など。

関連する参考文献、参考図書を各自探し、学習を進める。

ゼミナール内で興味ある学習内容について議論し、再検討する。

ゼミナールのまとめとして今後の学習の方向について文書化し、この時間に行った活動について報告書を作成する。

#### 評価

授業への参加度40%、最終時の報告書60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】 前回までの進捗を確認し、今回やるべきことを整理しておく
- 【事後学修】 調査結果等について再確認し、資料を整理しておく

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】 使用しない
- 【参考図書】 教室で紹介する

科目名	演習		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Mクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

東日本大震災の発生直後から地域FMや地域新聞など限定されたエリアを発信対象とした地域メディアが、安否確認や身近な生活情報の提供などで重要な役割を担ったことは記憶に新しい。また被災地エリアを対象にした日刊地方紙新聞や地域紙、ローカルテレビ局、ラジオ局は被災地復興を応援する姿勢で日々報道を続けている。震災報道は一例だが、身近な生活の場、日常生活の場で地域メディアが果たす役割が見直された機会にもなった。本授業では、新聞、テレビ、ラジオといった一方通行型のメディアと双方向型の特徴を持つインターネットメディアについて、各メディアの歴史、それぞれの差異、役割を全般的・横断的に学ぶ。さらに限定された地域を対象にしたいいわゆる「地域メディア」（主に新聞、テレビ、ラジオ、フリーペーパー等）に焦点を当てて、地域社会でメディアが果たす役割について学んでいく。また、新聞を読み込み、意見発表や表現活動に取り組みながらニュース感覚を養い、さらにはコミュニケーション能力の向上にもつなげる。将来の職業について受講生が意識できるテーマにも取り組む。

#### 内容

本ゼミでは、マスコミ4媒体（新聞・テレビ・ラジオ・雑誌）およびインターネットメディアのそれぞれの歴史、役割、特徴を大枠で理解する。その上で、限定したエリアを対象とした「地域メディア」を取り上げ、地域性とメディアの関連性、生活とメディアの関係性などを全国各地の具体的な事例を調べながら理解を深めていく。また、コミュニケーション能力や表現力を養うため、ゼミ新聞等の制作にも取り組む。

さらに、現場感覚を理解するため実際に新聞社、出版社、テレビ局等の見学に加え、本学で展開しているフリーペーパー制作やWEB制作等の取材にゼミ生の立場から学生記者として積極的に関わる。これら座学・学外授業の連環性と相乗効果の中で、一年後の「卒業研究」テーマの構築深化はもとより、一生の一大事である「就職力・就業力アップ」を図り、「社会で逞しく生きる力」を身に付ける。

#### 評価

授業への参加度50点、課題への意欲・関心・態度50点とし、合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。日々のニュース報道に自主的に接すること。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。ニュースを通じて社会の動向、事象の背景などを考察する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の時に随時提示。

科目名	演習		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Nクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

卒業研究に向けての応用力を高める。

科目の概要

ゼミのテーマである音楽、音響コンテンツ制作のためのより専門的な知識と技術を獲得しつつ、作品制作を行います。

学修目標 ( =到達目標 )

音楽制作のプロセスを理解し、制作ツールを使いこなしてコンテンツを制作することができる。

情報発信者としてのリテラシーを身につける。

内容

- 1.MIDI入力とエディット
- 2.音源 (ソフトシンセ) のエディット
- 3.オーディオ素材のエディット
- 4.エフェクト研究
- 5.ミキシング、エンコード
- 6.SoundCloudへのアップロードとシェア スマートフォンアプリとの連携
- 7.ブラウザによる音楽制作  
...Webアプリ、audiotoolを用いた音楽作品制作
- 8.ボーカロイド演習  
...ボーカロイドのエディット、作品制作、アップロード
- 9.BGM制作  
...映像付随音楽の研究。オーディオループ素材、MIDI入力などを総合的に活用して動画に対してBGMを制作する

進度は各自の学習状況に合わせて調整します。

評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】日常的にクリエイター目線で能動的かつ分析的に音楽作品を聴きこむ。

【事後学修】課題に取り組むことによって技術をしっかりと身に付ける。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】いちばんわかりやすいDTMの教科書 松前公高 著 リットーミュージック

科目名	演習		
担当教員名	小笠原 典子、石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Pクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

## ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

### 科目の性格

メディア・コミュニケーション学科3年生留学生を対象とする演習授業で、日本語能力とコミュニケーション能力の向上を第一の目的とし、4年次の卒業論文作成につなげる。同時に日本の新聞、テレビ、雑誌、ネット情報などを教材にし、日本社会におけるメディアの役割などを学ぶ。

### 科目の概要

メディアから伝えられる情報の理解を深めると同時に、ニュースの背景を学ぶことで、一段上の日本語能力及びコミュニケーション能力を習得する。また、日本の文化、特に四季を題材にした俳句作成に挑戦し、一方、客観的表現、主観的表現に留意した文章作成、作文などにも取り組む。

### 学修目標 (=到達目標)

日本語能力を向上させ、日本語能力試験などの検定試験の上位級取得を目指す。日本文化、日本社会を学びながら、卒業後の進路をも視野に入れ、就職、キャリアアップにつなげる。また、さまざまなグループ活動に取り組み、近隣地域の人々との交流を進めることも目標とする。

## 内容

自然の変化が著しい日本の四季、旅情を掻き立てる日本の風景を題材に、日本文化への理解を深める一助として、歳時記を参考に俳句制作に取り組む。同時に、母国の生活様式や文化との違いを意識し、国際感覚を豊かに表現するコミュニケーション力を養う。

日本の新聞、テレビ、雑誌、ネットなどで発信される情報を教材にし、日本社会の現状、課題を学びつつ、国際理解を深めることで、メディアの役割を学ぶ。

卒業論文の作成を念頭に置きつつ、日本語文章力向上を目指す。日本語能力試験、ビジネス日本語テスト、時事問題検定試験などに積極的に挑戦する。

新座市、埼玉県、また、民間団体との連携を図り、教場を離れた場での発表力を培うと同時に、卒業後の進路選択を幅広く考えられるような機会を作る。

## 評価

授業への参加度40%、毎回の課題完成40%、授業を踏まえたキャリアアップの達成度20% とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習



【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】学習したテーマ、および添削された提出物について復習を行う。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業時に指示。

【推薦書】授業時に指示。

【参考図書】授業時に指示。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	1Qクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

卒業研究の前段階として、ひとつのテーマについて必要な情報・資料を収集し、調査・発表・議論する力を身につける。また、そこにおける表現の方法としての「制作」の手法を学んでいく。

#### 科目の概要

「メディア」に関するテーマを設定して、実際に調査・発表・議論を行う。各々の手法についてはゼミの中で議論し、より良いものにしていく。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

1. 「メディア」に関して問題意識を持ってテーマを見つけ、それについて調査する意義を見出すことができる。
2. 調査・発表・議論の方法を理解し、よりよい結果に向けてグループで議論ができる。
3. また、表現としての「制作」の手法を自分で選択し、専門知識を得ること。

#### 内容

15回のゼミを、以下のスケジュールで行う予定である。

- ( 1 ) イントロダクション 1
- ( 2 ) イントロダクション 2
- ( 3 ) ~ ( 14 ) メディア研究
- ( 15 ) まとめ

#### 評価

参加態度 ( 50% ) 調査・発表における評価 ( 50% )

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

各前週に指示がある場合は、

少量コンテンツ ( 動画・新聞記事等 ) についての予習が必須となり、それを前提に議論を始める。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業時に指示

科目名	演習		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

メディアコミュニケーション学科専門科目 ( 必修 )

科目の概要

卒業研究につながる演習として、メディアと教育、社会に関する様々な事柄を幅広く学びます。

学修目標

- ・メディアと教育に関する理論背景を理解する
- ・関連するICT技術を習得する

#### 内容

ICT ( 情報通信技術 ) の普及により、教育分野 ( 学校、生涯学習 ) では、e-learningに代表される様々な教育方法が実践されています。その目的は、メディアは情報を伝えるコミュニケーションの手段と捉え、それを効果的活用することにより如何に高い教育効果をあげることができるか、ということです。そのためには、単にコンピュータやインターネットを活用することだけでなく、対象となる学習者の状況を知ること、どのような教材 ( コンテンツ ) であればいいのか、活用の方法はどうか等、様々なこと ( 要因 ) を検討する必要があります。ゼミでは、こうしたICT活用に関する教育の背景や理論とICT活用の技術 ( Webページ、アニメーション、編集 ) を学びます。

演習は、毎回のテーマに沿って担当学生を決め、その担当学生がレポートする形式で進める予定である。

空き時間などは積極的に学習の機会を作り、目的意識を持って問題に取り組んでほしい。

#### 評価

レポートの状況、および日常の学習の状況で判断する。当然のことながら、毎回出席すること。

日常のゼミでの取り組み状況30%、ゼミでの課題50%、プレゼンテーション20%とし、合計60%以上で合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テーマに関する資料の準備

【事後学修】事後評価

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

指定しない

科目名	演習		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

演習 に続けて履修し、卒業研究の準備を行う。

国際社会における政治、経済、文化の動きに関連したテーマを取り上げて話し合い、個々に論文のテーマになりそうな分野を絞り始める。それぞれのテーマについてさらに話し合い、卒業論文につながる研究、調査の計画を立てていく。個々のテーマ、調査法について互いに意見を述べ合う機会を重視して、議論中心に演習を進める。

学期末に発表する論文を、卒業研究の第1段階と位置づけられるものとする。要望があれば、学園祭等でそれまでの調査結果を発表することも支援する。

#### 内容

第1回～第4回：後期ゼミ・レポートのテーマ選択、問題提起

第5回：テーマ発表

第6回～第13回：リサーチの経過報告・卒論への展開

第14回：レポート体裁確認・提出

第15回：レポートの最終発表

#### 評価

発表・討論への参加(30%)レポート(70%)で総合的に評価。総合評価60点以上を合格とする。再試験は行わない。

#### 授業外学習

【事前予習】 それぞれのテーマについての情報を集める。

【事後学修】 発表に対するコメントを参考に、情報を整理、分析する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】 白井利明・高橋一郎 『よくわかる卒論の書き方』第2版 ミネルヴァ書房 2013年

【参考図書】 藤田真文 『メディアの卒論』 ミネルヴァ書房 2011年

科目名	演習		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

時事問題等の議論により時代の変化をとらえ、レポート作成を通じて自分の考えをまとめる力を身につける。

#### 科目の概要

時事問題の発表、ディベート、ゼミ論と呼ぶ卒論のひな形としてのレポートの作成・発表などを予定している。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

議論やレポート作成等を通じて、自分の視点でものを見ること・考えること、卒業論文を作成する技法を身につけることをねらいとする。

#### 内容

- ・時事問題 - 各自の関心・視点による切り口から問題提起を行い質問・議論を行う事によって理解を深める。
- ・ディベート - 効果的な討論の仕方を学ぶ。
- ・ゼミ論 - 自身の関心によりテーマを選びレポートを作成、その内容をゼミで発表・議論する。

#### 評価

平常点 ( 40% ) とゼミでの発表・提出物 ( 60% ) の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】時事問題を学修し、授業課題を予習する
- 【事後学修】授業で得た知識を踏まえて問題意識を進展させる

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【推薦書】池上彰「ニュースの読み方使い方」新潮文庫

科目名	演習		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディアコミュニケーション学科3年の必修科目

担当教員の専門である、国際コミュニケーションやトランスナショナル・ジャーナリズムについて、講義では詳しくできなかった部分を、ビデオ、インターネット、現地で蒐集した資料などを見せながら、より深く学んでいきます。最終的には、マスメディアと社会、文化の関係を理解して、マスメディアと賢く付き合えるための能力＝メディア・リテラシーを身につけることができれば、と考えています。

## 内容

3年生の前半は各人の問題関心に関連する書籍を各人がこちらの指定する図書の中から選び、それを順番に発表してもらいます。

3年生の後半では、「マスメディアやマスコミをどのようにすれば研究できるか」という方法論＝産業研究、ジャーナリスト研究、送り手研究（メディア組織論）、内容分析（量的・質的）、受け手研究など＝を身につけてもらいます。同時進行で夏合宿で発表した卒論のテーマに関連する資料の発表をしてもらい、卒業論文のテーマを絞っていきます。

## 評価

ゼミでの発表(40%)、提出物(40%)、ディスカッション (20%)。

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】国際ニュースや国際的なメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

### 推薦書

『メディア用語基本事典』（世界思想社）

「情報化社会をめぐる諸相 - 国境を越えるコミュニケーションのインパクト」（共著、田中浩編著『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』所収、P.216-232龍星出版、1996年）

「グローバル・ジャーナリズム」（共著、田村、林、大井編『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』所収、p.178-195.世界思想社、2004年）

「“違い”に注目すると見えてくる - 比較研究の必要性と考え方 」（『テレビニュースの解剖学 - 映像時代のニュース・リテラシー 』 p. 40-54. 小玉美意子編著（新曜社、2008年）

科目名	演習		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

**科目の性格** 日常の道具の使いやすさを対象にする。心理学では人間を対象にするが、ユニバーサルデザインでは、道具と人間の両方を視野に入れる点が、心理学と異なる。

**科目の概要** 情報社会が発展すればするほど、高齢者や障害者が取り残されてしまう、デジタルデバイドと言われる現象が問題になってくる。それゆえに、情報弱者となりやすいユーザのために、情報環境を整備する必要がある。情報環境に限らず、具体的な道具を取り上げ、有効な道具の条件について考察したい。

**学修目標** 使いやすく、わかりやすく、使ってみたくなる、具体的な道具を制作したい。実際に制作する過程で、使いやすくする工夫が難しいことを理解して欲しい。さらに、弱者の立場に立ってものを見る視点を養いたい。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

事前準備 日常生活における道具の観察。1時間

事後学修 自分の作成したレポート、作品と他者のものとの比較を行う。1時間

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

推薦書かつ参考図書 野島久雄 ( 訳 ) 誰のためのデザイン 新曜社

科目名	演習		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

2年次に専門科目の「ことばのしくみ」「英語学」を履修していない学生は、できるだけ3年次に履修してください。この演習を通して各自興味のあるテーマを見つけ、4年次の卒業研究につながるようにします。

#### 科目の概要

言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、ことばを科学的に分析する力を養います。

#### 学修目標 (=到達目標)

(i)形態論、統語論、意味論、語用論の基本的知識を身につける、(ii)資料を自分で集め、整理、分析できることを目標とします。

#### 内容

基本文献の内容をレポーターが報告し、全員で問題点を検討するという形式で演習を行います。また、コーパスを使った資料の検索の方法、インフォーマントチェックの方法を実際の作業を通して身につけることも行いたいと思います。

#### 評価

(1) 期末レポート： 50%

(2) 授業内での発表： 50%

とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】次回読む部分の事前準備シートを各自準備すること。

【事後学修】読んだ部分に関する疑問点・コメントなどをメモすること。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】授業内で指示します。



科目名	演習		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Hクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディアコミュニケーション学科専門必修科目。

言語音声やその習得・パーソナルコミュニケーションに関するについて自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、結論を出し、それを文章で表現することを通して、自分で思考する練習をする。

研究日誌を付ける習慣をつくる。

## 内容

もし、言語音声に関連する科目である「ナレーションB (英語)」をまだ履修していなければ、演習IIと並行して履修してほしい。

本科目の研究内容を4年次の卒業研究へとつなげるために、演習Iに引き続いてゼミ研究日誌をつけ、それを使って学期末のレポートを作成する。

これまでの演習Iでは日本語音韻に関する本を読んだり、英語の絵本で朗読CDがついているものを使って、英語の学習を兼ねて朗読の練習をしたりした。また、TOEICの問題集にゼミの時間を割いたこともある。就職活動を前に、基礎的な学力の養成にも力を入れたいものである。

【3年次夏休み】：各自、自分の関心を第一に考えて、演習Iのレポートのテーマを考え、4年次の卒業研究の一部とするように心がける。自分の好きな事柄でないと卒業論文につながらないので、言語音声に関係ないテーマでもよい。テーマをきめるために、当然この時期の読書や取材・実験・調査も必要である。

【3年次後期】：ゼミ生の関心にできるだけ沿った書籍の一部分や論文を数点読む。ゼミ生はその都度研究日誌に書き足していく。研究日誌を使って、演習Iの最終レポートをつくる。これは、卒業研究論文の一部とすることが望ましい。

なお、最近は3年次後期にはゼミ旅行は企画しないようにしているが、以前は一泊旅行をしたこともある。つらい就職活動の合間に、簡単な懇親会をして激励しあうのはいいと考える。

## 評価

最終レポートを60点、研究日誌を40点として、合計60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】1時間程度を考えている。ゼミ生と決めた教材により指定する。

【事後学修】30分程度を考えている。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】川越 いつえ 著(2007)、『英語の音声を科学する』新装版、大修館書店

窪園 晴夫 著、西光 義弘 編(1998)、『音声学・音韻論（日英語対照による英語学演習シリーズ）』、くろしお出版

ジョン・カニソン キャットフォード 著、竹林 滋・設楽 優子・内田 洋子 訳 (2006)、『実践音声学入門』、大修館書店

科目名	演習		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Jクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

脳の認識機能を中心に学んでいくゼミです。認知心理や神経心理の手法を取り入れ、私たちが物事を認識していくしくみと構造を理解します。

#### 科目の概要

まず、心理学の基礎知識をはじめ、神経心理、脳機能研究を加えていきます。言語、音楽、数学、社会、図形、絵、などの認識プロセスを理解します。

#### 学修目標(=到達目標)

自分でテーマを見つけられるよう、脳の基本的な知識を整理します。

内容	
1	導入
2	脳の背景と方法論
3	認知心理の歴史
4	人経過色の構造と機能
5	認知神経学の方法
6	コアプロセス
7	脳の半球の機能
8	感覚と認識
9	物体認識
10	注意
11	行動
12	情動コントロール
13	言語
14	社会認識
15	まとめ

#### 評価

授業根の取り組み20%、平常点20%、レポートの完成度60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所をあらかじめ読んでおく。

【事後学修】既習事項を整理し、演習全体のなかでの位置づけ、興味との関連を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリント

科目名	演習		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Kクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

この演習では、日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

方言調査旅行研修や新語流行語の収集分析など実際にフィールドワークを行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ ( 就活での自己PRの内容 ) を作ります。Mind-Map思考法、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。

体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得！」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 言語研究とは何か
- 第3回 プレゼンテーション、レジメ、論文作成法
- 第4回 自己分析の実際
- 第5回 プレゼンテーション1
- 第6回 プレゼンテーション2
- 第7回 フィールドワーク方法論1
- 第8回 フィールドワーク計画
- 第9回 ライフビジョンとキャリアビジョン
- 第10回 調査データ分析法
- 第11回 目標設定と達成のための方法
- 第12回 研究計画作成1
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成1
- 第14回 研究計画作成2
- 第15回 ライフビジョン・キャリアビジョン作成2

#### 評価

授業への参加度：振り返りメールをポイント化 ( 60% )、適宜行う課題の評価 ( 30% )、最終テストの評価 ( 10% )。以下、提出物等の評価は、振り返り・・・1~7ポイント ( 提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント ( 6回以上[授業2回につき1つ程度課す) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】1週間の中での体験経験を言語化、その中からPDCAサイクルを導き出す。事前課題の確認。

【事後学修】毎回授業後48時間以内に まとめ&感想 ( 質問えを含む) Self-evaluationクラスの「良

い点」「気になる点」「ネクストステップ（具体的な修正アイデア）」をメールで送信。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の中で指示

科目名	演習		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Lクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

卒業研究の前段階として、仮の研究テーマを決める。また、レポートの書き方について、その作法を確認する。

##### 科目の概要

卒業研究に向けて、テーマを決め、研究方法についておおよその計画を立てる。また、研究に必要な参考文献、アプリケーションなどを揃える。

##### 学修目標 (=到達目標)

1. 卒業研究の(仮の)テーマを決める
2. 研究方法について見通しを立てることができる
3. レポートの作法を身に着ける

#### 内容

前期のゼミナールで考えた今後の学習テーマの候補のうちから、(仮の)卒業研究のテーマを決める。

さらに、

- ・研究の結果について予想を立てる
- ・研究の方法についておおよその計画を立てる
- ・研究に必要な参考文献・アプリケーション等を探し、揃える
- ・レポートの書き方についてもう一度見直し、作法を確認しておく

このゼミナールが終了するまでに、テーマ、研究結果の予想、おおよその計画について文章化する。

#### 評価

授業への参加度40%、最終時の報告書60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】前回までの進捗を確認し、今回やるべきことを整理しておく
- 【事後学修】調査結果等について再確認し、資料を整理しておく

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】使用しない
- 【参考図書】教室で紹介する

科目名	演習		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Mクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

東日本大震災の発生直後から地域FMや地域新聞など限定されたエリアを発信対象とした地域メディアが、安否確認や身近な生活情報の提供などで重要な役割を担ったことは記憶に新しい。また被災地エリアを対象にした日刊地方紙新聞や地域紙、ローカルテレビ局、ラジオ局は被災地復興を応援する姿勢で日々報道を続けている。震災報道は一例だが、身近な生活の場、日常生活の場で地域メディアが果たす役割が見直された機会にもなった。本授業では、新聞、テレビ、ラジオといった一方通行型のメディアと双方向型の特徴を持つインターネットメディアについて、各メディアの歴史、それぞれの差異、役割を全般的・横断的に学ぶ。さらに限定された地域を対象にしたいいわゆる「地域メディア」（主に新聞、テレビ、ラジオ、フリーペーパー等）に焦点を当てて、地域社会でメディアが果たす役割について学んでいく。また、新聞を読み込み、意見発表や表現活動に取り組みながらニュース感覚を養い、さらにはコミュニケーション能力の向上にもつなげる。将来の職業について受講生が意識できるテーマにも取り組む。

#### 内容

本ゼミでは、マスコミ4媒体（新聞・テレビ・ラジオ・雑誌）およびインターネットメディアのそれぞれの歴史、役割、特徴を大枠で理解する。その上で、限定したエリアを対象とした「地域メディア」を取り上げ、地域性とメディアの関連性、生活とメディアの関係性などを全国各地の具体的な事例を調べながら理解を深めていく。また、コミュニケーション能力や表現力を養うため、ゼミ新聞等の制作にも取り組む。

さらに、現場感覚を理解するため実際に新聞社、出版社、テレビ局等の見学に加え、本学で展開しているフリーペーパー制作やWEB制作等の取材にゼミ生の立場から学生記者として積極的に関わる。これら座学・学外授業の連環性と相乗効果の中で、一年後の「卒業研究」テーマの構築深化はもとより、一生の一大事である「就職力・就業力アップ」を図り、「社会で逞しく生きる力」を身に付ける。

#### 評価

授業への参加度50点、課題への意欲・関心・態度50点とし、合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。日々のニュース報道に自主的に接すること。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。ニュースを通じて社会の動向、事象の背景などを考察する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の時に随時提示。



科目名	演習		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Nクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

卒業研究に向けての応用力を高める。

##### 科目の概要

ゼミのテーマである音楽、音響コンテンツ制作のためのより専門的な知識と技術を獲得しつつ、作品制作を行います。

##### 学修目標 ( =到達目標 )

音楽制作のプロセスを理解し、制作ツールを使いこなしてコンテンツを制作することができる。

情報発信者としてのリテラシーを身につける。

#### 内容

##### 1. ブラウザによる音楽制作

...Webアプリ、audiotoolを用いた音楽作品制作

##### 2. ボーカロイド演習

...ボーカロイドのエディット、作品制作、アップロード

##### 3. BGM制作

...映像付随音楽の研究。オーディオループ素材、MIDI入力などを総合的に活用して動画に対してBGMを制作する

進度は各自の学習状況に合わせて調整します。

#### 評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】日常的にクリエイター目線で能動的かつ分析的に音楽作品を聴きこむ。また、映画鑑賞やテレビ番組を視聴する際も背景の「音」に着目してみることを習慣にする。

【事後学修】課題に取り組むことによって技術をしっかりと身に付ける。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【推薦書】いちばんわかりやすいDTMの教科書 松前公高 著 リットーミュージック

ボーカロイドを思い通りに歌わせる本 Nagie 著 リットーミュージック

科目名	演習		
担当教員名	小笠原 典子、石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Pクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

メディア・コミュニケーション学科3年生留学生を対象とする演習授業で、日本語能力とコミュニケーション能力の向上を第一の目的とし、4年次の卒業論文作成につなげる。同時に日本の新聞、テレビ、雑誌、ネット情報などを教材にし、日本社会におけるメディアの役割などを学ぶ。

#### 科目の概要

メディアから伝えられる情報の理解を深めると同時に、ニュースの背景を学ぶことで、一段上の日本語能力及びコミュニケーション能力を習得する。また、日本の文化、特に四季を題材にした俳句作成に挑戦し、一方、客観的表現、主観的表現に留意した文章作成、作文などにも取り組む。

#### 学修目標 (= 到達目標)

日本語能力を向上させ、日本語能力試験などの検定試験の上位級取得を目指す。日本文化、日本社会を学びながら、卒業後の進路をも視野に入れ、就職、キャリアアップにつなげる。また、さまざまなグループ活動に取り組み、近隣地域の人々との交流も進めることも目標とする。

#### 内容

自然の変化が著しい日本の四季、旅情を掻き立てる日本の風景を題材に、日本文化への理解を深める一助として、歳時記を参考に俳句制作に取り組む。同時に、母国の生活様式や文化との違いを意識し、国際感覚を豊かに表現するコミュニケーション力を養う。

日本の新聞、テレビ、雑誌、ネットなどで発信される情報を教材にし、日本社会の現状、課題を学びつつ、国際理解を深めることで、メディアの役割を学ぶ。

卒業論文の作成を念頭に置きつつ、日本語文章力向上を目指す。日本語能力試験、ビジネス日本語テスト、時事問題検定試験などに積極的に挑戦する。

新座市、埼玉県、また、民間団体との連携を図り、教場を離れた場での発表力を培うと同時に、卒業後の進路選択を幅広く考えられるような機会を作る。

#### 評価

授業への参加度40%、毎回の課題完成40%、授業を踏まえたキャリアアップの達成度20% とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】提示される課題について予習を行う。

【事後学修】学習したテーマ、および添削された提出物について復習を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 授業時に指示。

【推薦書】 授業時に指示。

【参考図書】 授業時に指示。

科目名	演習		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	3	ク ラ ス	2Qクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

卒業研究の前段階として、ひとつのテーマについて必要な情報・資料を収集し、調査・発表・議論する力を身につける。また、そこにおける表現の方法としての「制作」の手法を学んでいく。

#### 科目の概要

「メディア」に関するテーマを設定して、実際に調査・発表・議論を行う。各々の手法についてはゼミの中で議論し、より良いものにしていく。

#### 学修目標(=到達目標)

1. 演習 で各々扱ったテーマを、卒業研究のテーマとして進展させる。
2. 各々が選択した「制作」の手法をもって、卒業研究の中に組み込む。

#### 内容

15回のゼミを、以下のスケジュールで行う予定である。

- (1) イントロダクション1
- (2) イントロダクション2
- (3)～(14) メディア研究
- (15) まとめ

#### 評価

参加態度(50%) 調査・発表における評価(50%)

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

各前週に指示がある場合は、

少量コンテンツ(動画・新聞記事等)についての予習が必須となり、それを前提に議論を始める。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業時に指示

科目名	卒業研究		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

学科専門科目の必修科目である。

##### 科目の概要

3年次までに修得した知識・技術に基づき、学生自らが特定の具体的課題に対して主体的に取り組み、最終的にその成果を卒業研究としてまとめる。学部での学修の集大成として、この1年間を実りあるものにすることを期待する。

##### 学修目標 (= 到達目標)

卒業研究、卒業論文を仕上げる。

#### 内容

内容としては、メディア、インターネットなどといった情報技術を応用して、主に教育分野 ( 学校、生涯 ) へ適応できる情報システム、コンテンツのあり方、及び開発を念頭に置く。

方法は、実験を主とした研究、調査を主とした研究、測定を主とした研究、資料・文献による研究、作品・コンテンツを中心とした研究、などによる。

いずれも論文と成果物 ( 作品、コンテンツ、プログラム ) を必要とし、研究にあたり各自テーマを設定し、計画的に進めることが必要である。

3年次終了時に、仮テーマを決定する。

4年前期は、基本的な情報収集、開発するコンテンツやシステムの設計、研究テーマ、目的・研究方法の確立をし、夏休み前には具体的な計画に従って研究が遂行できるように準備を進める。

4年後期は、それぞれの計画に従って研究を進め、最終的な研究を仕上げる。

研究テーマは、学生各自で異なるので、適当な時間を使いながら定期的のうち合わせ、進捗状況の報告などを行うこととする。

#### 評価

卒業研究として内容・方法が適切なものであるか、また、論文・作品が期日までに提出され、卒研発表会でのプレゼンテーションが適当であったかを評価の対象にする。論文の内容・成果物を60%、発表会でのプレゼンテーション40%とし、合計評価が60%以上で合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】卒業研究に必要な調査、実験、制作などをおこなう

【事後学修】論文等の形式で正課をまとめる

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

指定しない

科目名	卒業研究		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

3年次の「演習・」で学んだ日本及び国際社会の特徴についての知識をさらに発展させ、個々のテーマに焦点を当てた調査、研究を行う。単なる情報収集の段階から、集めた情報の体系的整理・分類と分析へ進み、分析結果の社会的及び学問的意義の検証の段階へと発展させていく。

前期は情報収集と整理、後期は集めた情報の体系的分類と分析に重点を置き、分析結果の社会的及び学問的意義の検証を行う。適宜発表を行い、発表者の論文を読者として読み、理解しにくい点を指摘し、改善のための議論を行う。

議論を通じて明確な文章を備えた、わかりやすい文章作成を行う。

#### これまでの卒業論文のテーマ

「食と地球環境問題」、「エコロジー流行の実態」、「企業の社会的責任」、「自然と共存する経済」、「異文化理解と教育」、「イラク戦争開戦の背景」、「小国の独立 - 少数民族の民族意識」、「ディズニーの買わせる技」、「ジブリとディズニーから見る現代に息づく日本の思想」など。

#### 内容

##### 前期

第1回～第5回：個々のテーマ選択、問題提起

第6回～第11回：テーマに関する情報収集

第12回～第14回：テーマ発表会用のプレゼンテーション準備

第15回：テーマ発表会

##### 後期

第1回～第5回：リサーチの経過報告

第6回：テーマの最終決定

第7回～第11回：リサーチ及び論文執筆

第12回～第14回：論文形式の最終確認

第15回：卒論発表会

#### 評価

発表・討論への参加(25%)、中間報告(25%)、卒業論文または制作物(50%)で総合的に評価

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 それぞれのテーマについて情報を収集し、発表の準備をする。

【事後学修】 発表後の議論で指摘された点を参考に、文章化する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業で指示。



科目名	卒業研究		
担当教員名	川口 英俊		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

自分の興味関心・問題意識によりテーマを選定し、卒業研究としての卒業論文を完成させていく

#### 科目の概要

卒業論文のテーマ、問題意識、目次構成、参考文献を記した卒論中間報告を作成、その上で卒業論文を作成していく

#### 学修目標 ( =到達目標 )

十文字学園女子大学において学んできて培った問題意識、研究手法、情報ツールの活用などを卒業論文を完成させることによって結実させ、4年間の総括とする

#### 内容

- ・資料収集 基本的文献、論文、ホームページなどを調べ集めていく。
- ・卒業論文の作成 校正、添削などを通じて推敲していく。
- ・発表 自分の卒業論文について発表し、議論する。

#### 評価

卒業論文(70%)、卒業論文の発表と平常点(30%)の総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】卒業研究作成の上での問題点、相談事項などをまとめておく
- 【事後学修】授業での指導を踏まえて卒業研究についての自分の考え・方向性を明確にする

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【推薦書】白井利明・高橋一郎「よくわかる卒業論文の書き方」ミネルヴァ書房

科目名	卒業研究		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究を完成させる中で、自分の企画力、計画性、行動力、構成力、克己心などを向上させます。

## 内容

各人の研究成果の進捗状況を報告し、指導を受けます。

## 評価

プレゼン内容 ( 70% ) および討論内容 ( 30% )

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】国際ニュースや国際的なメディアの動きに関心を持つ

【事後学修】授業で習ったことを、現代におけるニュースなどで確認する

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

### 推薦書

『メディア用語基本事典』 ( 世界思想社 )

田中浩編著 『現代思想とはなにか - 近・現代350年を検証する』 所収、P.216-232 龍星出版、1996年 )

田村、林、大井編 『現代ジャーナリズムを学ぶ人のために』 所収、p.178-195. 世界思想社、2004年 )

『テレビニュースの解剖学 - 映像時代のニュース・リテラシー 』 p. 40-54. 小玉美意子編著 ( 新曜社、2008年 )

科目名	卒業研究		
担当教員名	飯田 路佳、設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

身体表現ゼミであるが、ダンスにとらわれず身体活動を通して人間のあらゆる角度から幅広く表現することの意味、実践することの意義に焦点をあて、各人が興味を持って調べ、4年間の集大成として卒業研究をまとめる。

#### 内容

自分の興味のあることを楽しみながら調べ、知識を深めていくことが重要である。前期はそのための知識や情報を収集する期間として、各自の参考文献や共通な文献の読み合い、意見の出し合いなどしながら各自の考え方を固めていくことも同時に行っていく。

1. 研究テーマの設定
2. 研究計画作成 ( 卒業研究提出日までの内容計画、中間発表、研究発表 )
3. テーマに応じ、文献等を活用し取り組む
4. 卒研発表パネルセッションでのプレゼン
5. 身体表現ゼミ卒業研究会における発表

( 以下は、平成27年度の卒研課題例 )

- 股関節の柔軟性～効果的な柔軟トレーニングを探る～
- メイクアップは人を変えられるか？～自分を実験台として～
- 恋愛観と人生観～ある少数派からの見方～
- プロフェッショナル～あるアーティストとダンサー～
- 女性警察官からみる職業のやりがい
- 人に伝える難しさ～アサーティブネスをてがかりに～
- スマートフォンと健康～スマホと共存する道～
- サブカルチャーの影響力
- 日本人の宗教観～一年(縦)×一生(横)～

#### 評価

準備状況等 50% 卒業研究内容 50% その他桐華祭参加状況、その他ゼミイベント参加状況、下級生教育等 総合的に評価し、6割以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】自らの研究テーマに関連する内容に関連する資料を準備し、研究の進行を予習の中で進め、授業時間帯には、質問や意見、ゼミ生同士の討議ができるよう準備する。

【事後学修】授業で確認した内容を研究に反映し、進行のスピードが遅くならないようにする。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

適宜指示する

科目名	卒業研究		
担当教員名	角田 真二		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格 日常の道具の使いやすさを対象にする。心理学では人間を対象にするが、ユニバーサルデザインでは、道具と人間の両方を視野に入れる点が、心理学と異なる。

科目の概要 情報社会が発展すればするほど、高齢者や障害者が取り残されてしまう、デジタルデバイドと言われる現象が問題になってくる。それゆえに、情報弱者となりやすいユーザのために、情報環境を整備する必要がある。情報環境に限らず、具体的な道具を取り上げ、有効な道具の条件について考察したい。

学修目標 使いやすく、わかりやすく、使ってみたくなる、具体的な道具を制作したい。実際に制作する過程で、使いやすくする工夫が難しいことを理解して欲しい。さらに、弱者の立場に立ってものを見る視点を養いたい。

#### 内容

##### 1. 研究

各自が選択した研究テーマについて考察を進め、論文や試作品を作成する。

世の中には、使いにくい道具、わかりにくい表現があふれている。自分の興味のある道具や表現などを一つ選択し、そのテーマについて、人間の心理過程の考察を行ない、道具のデザインについて考える。学習、思考といった高次認知機能だけでなく、視聴覚機能、運動機能、まで含めて総合的な考察を行なう。

例えば、高齢者が情報機器の使い方を学習する場合に生じる問題、がある。

##### 2. コミュニケーション

自分一人で自分の研究テーマについて考察を進めるだけでなく、他の学生の研究テーマの発表を聞いて、積極的にコメント、質問をして欲しい。それによって、他の学生の研究を促進させる、自分の研究を別の角度から考察するきっかけとして欲しい。

#### 評価

提出してもらった論文で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

事前準備 日常生活における道具の観察。1時間

事後学修 自分の作成したレポート、作品と他者のものとの比較を行う。1時間

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

推薦書かつ参考図書 野島久雄 ( 訳 ) 誰のためのデザイン 新曜社

科目名	卒業研究		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「ことばの心的メカニズムA」、「演習I・II」の内容が基礎となります。

#### 科目の概要

前期は言語学の研究領域のうち、形態論、統語論、意味論、語用論を中心に、各自が興味を持った分野について、基本的な文献を読むことに加え、資料を集め、整理・分析するといった作業を通して、卒業論文の執筆を始めます。後期は前期で学んだことを発展させ、各自の選んだテーマに沿った卒業論文の指導を行います。

#### 学修目標 (=到達目標)

前期は、(i)研究テーマの設定ができる、(ii)先行文献を批判的に読み、研究テーマの方向性を決める、(iii)先行文献の内容をまとめることができることを目標とします。後期は、(i)研究テーマに沿った資料を自分の手で集めることができる、(ii)集めた資料を分析し、自分なりの主張を論じることができることを目標とします。

#### 内容

前期は、研究内容にかかわる先行研究を丁寧に読み、まとめるという作業を行いません。

後期は、卒研究に向けて、テーマの立て方、参考資料などの文献検索の方法、卒業論文の書き方などを指導します。卒業研究では、学生各自のテーマを設定し、それに添った形で発表をしてもらいます。毎週、それを添削します。積極的な授業参加が望まれます。

#### 評価

(1)平常点 ( レジюме、毎授業での発表 ) ( 40% )

(2)卒業論文 ( 60% )

とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】参考図書の指定された箇所を読んでおくこと。論文作成に入ったら、執筆予定箇所の原稿をプリントアウトしてくこと。

【事後学修】論文作成に入ったら、添削、コメントの入った部分を次回までに修正してくこと。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

【推薦書】なし

【参考図書】各自の卒業研究のテーマに合わせて授業内で指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

メディアコミュニケーション学科専門必修科目。

メディアやコミュニケーションについて自分なりの疑問・問題を発見し、仮説をたて、事実を観察したり実験を行ったりし、結論を出し、それを文章で表現することを通して、自分で思考する練習をする。

情報や考え方の出典の明記に特に注意する。

## 内容

近年の3年次演習I, IIでは、英語の映画を通して、英語表現やその音声について観察を行った。ゼミ研究日誌を奨励し、早くゼミレポートに着手し、卒業研究へと発展させたい。

これまでの設楽ゼミ生の卒論の例は次の通り。

- \* 中国のテレビ放送文化について
- \* 久石譲が作るジブリ作品の曲
- \* 文科省の学校英語教育方針について、社会の変化との兼ね合いを調べた論文
- \* 映画『ハリーポッター』の面白さの分析
- \* 日本の戯曲とその英訳の比較
- \* 80年代、90年代、2000年代のテレビドラマのせりふに現れる日本語の男女差を終助詞に注目して分析した論文
- \* 英語の同音異義語が聞き取り問題に与える影響を実験した論文

卒業研究の進捗状況のチェックは次のように行う。

- \* 4年次4月～6月： 問題の分析、先行研究の分析、問題の修正、仮説の明確化、観察・実験の計画
- \* 4年次7月～10月： 観察・実験・取材
- \* 4年次11月～12月初旬： 文章化・添削

卒業論文執筆・就職活動・内定先研修・卒業旅行などの時間配分を計画的に行っていただきたい。就職活動との兼ね合いを考えて、早いうちに執筆時間を確保していただきたい。

## 評価

卒業研究ノートの評価を60点、卒業研究論文(作品制作)の評価を40点とし、計60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】とにかく早期に仮説を立て、検証方針を考え、専攻研究に当たってください。就職活動で忙しいときも週1時間は最低必要です。

【事後学修】ゼミ生やゼミ担任からの意見を考慮して、仮説や検証方針を修正して研究を続行してください。週30分は最低必要です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】授業中に指示します。



科目名	卒業研究		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

卒業論文を書き上げるために必要な知識を整理し、修得します。

#### 科目の概要

データ分析と理解、論文の構成を扱います。

#### 学修目標 (=到達目標)

論文完成

内容	
1	導入
2	論文の構成要素
3	論文の構造
4	経験的方法の利用
5	古典的手法、統計的手法
6	論文構成の時間
7	常識と主題の選択
8	対象としての常識
9	物事の整理
10	判断
11	反省的方法
12	肯定と知識
13	客観性の成立
14	方法論
15	まとめ

#### 評価

授業への取り組み20%、平常点20%、論文の作成過程60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 予定箇所のプリントを読んでおく。

【事後学修】 既習事項を整理しておく

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】プリント

科目名	卒業研究		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

日本語の変化やバリエーションなど言語研究を通しての専門的知識獲得と、社会に出てから必要とされる「自ら問題を発見し、解決する能力」を身につけることを目標とします。

##### 科目の概要

卒業論文作成を行いながら自ら発信できるオリジナルコンテンツ（就活での自己PRの内容）の完成を目指します。Mind-Map思考法の発展、プレゼンテーションなどPCを用いた技能も併せて身につけ、言語化、可視化の訓練を行います。自らの変化を希望しそれに向かって努力する学生をサポートし育てます。

##### 学修目標 ( =到達目標 )

体験重視型自己成長促進ゼミを目指します。ゴールは「人としての素敵さの獲得！」です。

#### 内容

- 第1回 自己分析と現状分析
- 第2回 論文作成技法
- 第3回 卒論プレゼンテーション1
- 第4回 就活サポート1
- 第5回 卒論プレゼンテーション2
- 第6回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画1
- 第7回 ゼミ共同プロジェクトフィールドワーク計画2
- 第8回 調査データ分析法1
- 第9回 調査データ分析法2
- 第10回 卒論プレゼンテーション3
- 第11回 共同プロジェクト準備1
- 第12回 共同プロジェクト準備2
- 第13回 ライフビジョン・キャリアビジョン完成
- 第14回 PC論文作成サポート
- 第15回 フィードバック

#### 評価

卒業研究中間発表提出物による評価...30%、授業への参加態度...20%

卒業研究最終提出物・卒業研究発表会...30%、授業への参加態度...20%

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】個人の卒業研究テーマの進捗報告準備。ゼミでのプロジェクト進捗報告準備。

【事後学修】獲得したポイントにより下記のように評価します。\*毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問えを含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」「次回までの各自の課題」をメールで送信。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に説明します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	北原 俊一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Lクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は卒業論文、または卒業制作を行っていく科目である。卒業研究とは、自分でテーマを選んで目標を設定し、その目標に向けて自分で資料を探して読みこなし、目標を達成していくものである。これまでの4年間で学習したことを十分に生かすことが期待される。

##### 科目の概要

卒業論文の執筆、または卒業制作を行う。年間でスケジュールをたて、目標設定から調査、章立て、執筆と計画的に行う。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

1. 3年の演習時にたてた筋道に従い、計画的に卒業論文を書き進めることができる。
2. 卒業論文を論文の体裁に則って作成することができる。
3. 卒業論文作成後、推敲を行い、完成度を高めることができる。

#### 内容

- ・漠然としたテーマでなく、どこまでを明らかにするのか明確な目標を設定する。
- ・仮説をたてる。その仮説に関して調査を進めることが望ましい。
- ・様々な文献を調査して、客観性の高い結論を導く。
- ・論文の体裁を理解して、それに則って書き進める。
- ・自分で推敲することができるよう、余裕をもって卒業論文の作成をする。  
推敲には書き上げたのち、少し期間をおいてなるべく客観的に読むことが必要である。
- ・議論を通して、より良いものを目指していく。
- ・締め切りに間に合うよう、計画的に研究を進めていく。

#### 評価

卒業論文または卒業制作への取り組み80%、授業への参加度20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前予習】前回からの進捗についてまとめておく。
- 【事後学修】自分の計画に従って研究を進める。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

- 【教科書】使用しない
- 【推薦書】木下是雄、理科系の作文技術、中公新書
- 【参考図書】教室で紹介する

科目名	卒業研究		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Mクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

メディアはよく「第四権力」と言われるが、この言葉の響きを必ずしもマイナスイメージだけでなく「国会・行政・司法」という3権をより成熟して自由な民主主義社会に導くための大切なもの」と捉えたい。そのためにはジャーナリズムが日々の活動を通して生み出す「コンテンツの質」と「メディアの屋台骨を支えるビジネス（いわばメディア産業論的視点）」の二面性（ロマンとソロバン）の吟味が欠かせない。より実際に即して、その具体的な理解を図る。

折々に広告も含めたマスメディアの現場にも出向くことにより、卒業研究はもとより、就職活動の参考にも資する。

## 内容

現代において、政治・経済・文化・国際分野で生起する出来事（時事問題）は、一見、それぞれが無関係のように思えても、人間の歴史と深く関わっていることが少なくない。その問題意識と洞察力こそ、コンテンツの社会への発信を担うメディアに問われているのであり、ゼミではニュースを掘り下げる双方向の学びをさらに追究したい。

3年次のゼミでは、マスコミ媒体の動静や時事問題、メディアビジネス（広告等）を中心に据えて各自が関心を持つ事象について、「卒業研究を意識し研究したいと考えているテーマ」を開陳しあった。これら（新テーマも含め）をさらに吟味し本格的な「卒業研究」に仕上げる。

卒業研究の内容をより重厚なものとするため、メディア企業への見学等を通してマスメディアで働く人の肉声に触れる。このほかフリーペーパー制作やWEB制作等にも関わり、社会で問われる総合的なコミュニケーション能力の土台となる（書く力・読む力・話す力・聞く力）を向上させる。

大学時代にこれをやった、と誇ることのできる「集中的な知的作業の達成感」は社会へ巣立つ時の大事な評価である。社会で競争に勝つ文章力 バランス感覚豊かな編集力から生まれる企画力 人間洞察と数字に裏打ちされた交渉力 日程を踏まえた確かな段取りの力 を能動的な授業を通して総合的に磨き上げ、「卒業研究」の完成自体も、「就職力・就業力」に収斂させていく。

## 評価

「授業に対する意欲・関心・態度」60点、「論文・課題等執筆」40点で、60点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の時に提示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	加藤 亮介		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	00クラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

卒業研究として、各々ひとつのテーマについて、調査・制作・発表等を繰り返す。また、最終的なアウトプットとして「論文執筆」または「制作・副論文執筆」を行う。

#### 科目の概要

「メディア」に関するテーマを設定して、調査・制作・発表等を行う。各々の手法についてはゼミの中で議論し、より良いものにしていく。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

演習で各々扱ったテーマを、卒業研究として「論文執筆」または「制作・副論文執筆」のいずれかでアウトプットする。

## 内容

15回のゼミを、以下のスケジュールで行う予定である。

- (1)イントロダクション1
- (2)イントロダクション2
- (3)~(10)各々の、研究論文・制作等について進捗をプレゼンテーションし、フィードバックを行っていく。

(11)-(14)

論文、制作物についての仕上げ、並びに最終プレゼンテーションの準備を行っていく。

(15)総括

## 評価

参加態度 ( 50% ) アウトプットにおける評価 ( 50% )

総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

毎週、進捗報告が必須となり、それを前提に指導を受ける。

## 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業時に指示

科目名	卒業研究		
担当教員名	大西 正行、池間 里代子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Pクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

前年度の演習で学んだ「日本の四季(俳句制作)」やデジタル新聞を教材にした読解力・文章力向上をもとに、各自がテーマを設定し、日本文化についての研究を進める。

参考文献・先行研究の収集、取材、考察を経て文章化する。

以上のことを通して、日本の文化やこれを伝える日本のメディアに対する理解を深める。

これらの作業の集大成として、各自が論文を執筆する。

論文作成と併せ、前年度から取り組んでいる日本語能力(文章力と話す力)のさらなる向上に特段の努力を重ねるプロセスの中で各種資格取得にも積極的に取り組み、就職はもとより、大学院進学の実現できるよう指導する。

#### 内容

留学生からみた日本文化を考察し、異文化理解の視点からテーマを設定する。既に3年次の演習においても、サブカルチャー・テレビドラマ・コマーシャル・旅行広告などに関心を深めている学生も少なくなく、さらにゼミ生が具体的なテーマを精査し、中間報告会などを設定し、論文化へのきめ細かな作業を進める。

互いの報告を聞き、批評し合うことにより、テーマへのアプローチを確かなものとする。

テーマがゼミ生全員が共有すべき内容として評価される場合や、テーマの深化がゼミ生全員の知的陶冶に結びつく場合は、共同で調査研究を進めることも展望する。かねて留学生は、雑誌やフリーペーパー、WEB等の成果物作成に高い関心を寄せ、言語のみならず編集スキルを日本で身に付けようとするモチベーションが高いことから、本学に設けられたクリエイティブな授業や活動にも積極的に参加する機会を持つよう促す。

留学生という立場を踏まえた就職相談、大学院への進学相談の機会を多く持ち、希望する進路に少しでも近づける道筋を教員とゼミ生と一緒に探る。

#### 評価

「授業に対する意欲・関心・態度」60点、「論文・課題等執筆」40点で、60点以上を合格とします。

#### 授業外学習

【事前予習】提示する課題の予習を行う。

【事後学修】学んだテーマを掘り下げさせる。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業の時に提示。



科目名	卒業研究		
担当教員名	棚谷 祐一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) -メディアコミュニケーション学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Nクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

卒業研究に向け、目標を定めて課題制作に取り組む。

#### 科目の概要

ゼミのテーマである音楽、音響コンテンツ制作のためのより専門的な知識と技術を獲得しつつ、作品制作を行います。

#### 学修目標 ( =到達目標 )

音楽制作のプロセスを理解し、制作ツールを使いこなしてコンテンツを制作することができる。

情報発信者としてのリテラシーを身につける。

#### 内容

1. オーディオ編集のテクニック
2. エフェクト研究～応用編その1
3. エフェクト研究～応用編その2
4. 理論実習
5. スタイル別アレンジ講座
6. 卒業作品制作、副論文作成

進度は各自の学習状況に合わせて調整します。

#### 評価

テーマ毎に演習課題を提出する。その内容を総合評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】日常的にクリエイター目線で能動的かつ分析的に音楽作品を聴きこむ。

【事後学修】課題に取り組むことによって技術をしっかりと身に付ける。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【推薦書】いちばんわかりやすいDTMの教科書 松前公高 著 リットーミュージック